

SHARP®

取扱説明書
電子レジスタ
形名 **XE-A250**



エコロジークラスでいきましょう。シャープ。



電子レジスタ XE-A250

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省資源 ロール紙節約機能

レジスタの操作記録を、ジャーナル用紙の代わりに、レジスタのメモリーに記録することができます。(電子ジャーナル機能)
この機能によりロール紙を節約することができます。

省エネ 省電力機能

あらかじめ設定した時間の間レジスタ操作をしないとき、省電力機能によりスリープ状態になります。スリープ状態になると待機時の無駄な消費電力を抑えることができます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

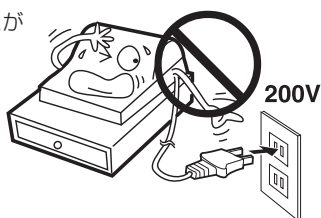
⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。

● 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

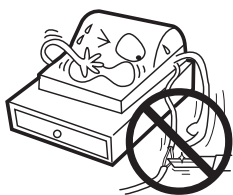
100V以外の電圧で使用しないでください。
またタコ足配線をしないでください。

火災、感電の恐れがあります。



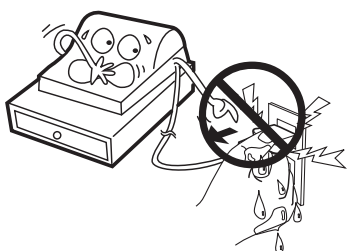
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。

また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電の恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の恐れがあります。



万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。

すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そして販売店またはシャープお客様相談窓口(☎ 127ページ)にご連絡ください。



万一、異物(金属片、水、液体)が機器の内部に入った場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはシャープお客様相談窓口(☎ 127ページ)にご連絡ください。

そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはシャープお客様相談窓口(☎ 127ページ)にご連絡ください。

そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。



お客様による分解や修理・改造はしないでください。

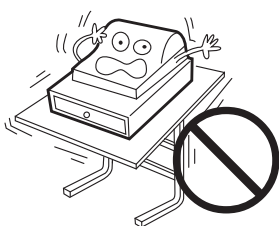
内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。
また、火災の恐れがあります。



⚠ 注意

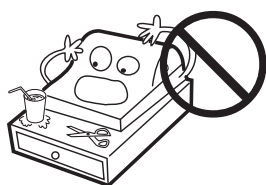
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



この機器の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



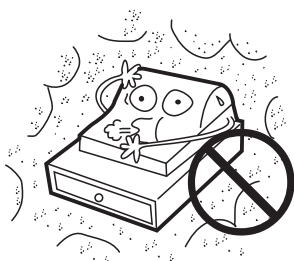
濡れた手でこの機器を使用したり、濡れた物でこの機器をふかないでください。

中に水が入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。また、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。

火災、感電の原因となることがあります。



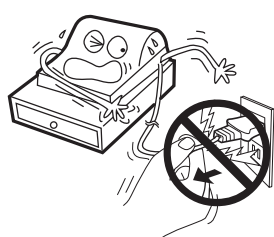
この機器の上に重い物を置かないでください。

置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください（必ずプラグを持って抜いてください）。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



この機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

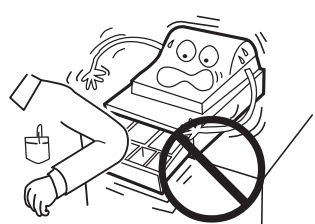


連休等で長期間、この機器を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



引出し（ドロア）が開いている時に、引出し（ドロア）に寄りかからないでください。

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



引出し（ドロア）が開く際、子供の顔等に当たらないよう、ご注意ください。

けがの原因となることがあります。



SDメモリーカードを取り出すときは、カードが出てきてもすぐに指を離さないでください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。SDメモリーカードを装着または取り出すときは、SDカードスロットに顔を近づけないようにしてください。

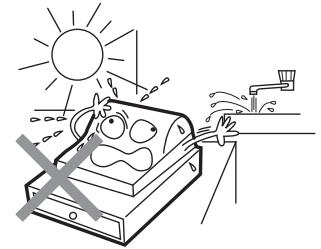
急に指を離すと、SDメモリーカードが飛び出し、けがの原因となることがあります。



■ お願い

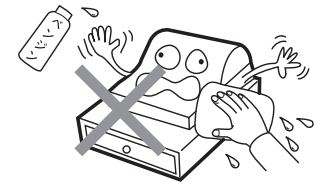
設置上のお願い

この機器を、直射日光があたるところ、湿度が異常に高いところ、水を使うところには設置しないでください。
変色や変形、故障の原因になります。



お手入れの方法

お手入れには乾いた柔らかい布をご使用ください。
揮発性の液体(ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
キャビネットの変色または変質の原因になります。



充電式電池のリサイクルで協力お願い

この商品のバッテリーパックにはニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

- ご使用済みの電池は、「当社は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
 - ・ (+)端子と(-)端子にテープを貼る。
 - ・ 外装カバー(被膜、チューブなど)を剥がさない。
 - ・ 分解しない。

電池仕様 容量:240mAh 定格電圧:3.6V

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、詳しくはもよりの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口(☎127ページ)までご相談ください。

■ はじめに

このたびは、シャープ電子レジスタをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。

なお、取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。



ご使用前のご注意

- ・最初にこの製品をリセットしてください。この製品はご購入後、最初のリセット操作をおこなう必要があります。リセット操作については11ページをお読みください。
- ・はじめてお使いになるときは、メモリ保持用の内蔵電池の充電レベルが低下しています。電源を入れた状態（電源プラグをコンセントに接続し電源スイッチを入れて、機能切りかえスイッチを「停止」以外に合わせた状態）にして、24時間以上充電してください。
- ・電源スイッチを切ったまま放置したり、電源プラグをコンセントから抜いた状態で、長期間使用しなかった場合は、メモリ保持用の内蔵電池の充電レベルが低下しています。ふたたび、ご使用をはじめられるときは、電源を入れた状態（電源プラグをコンセントに接続し電源スイッチを入れて、機能切りかえスイッチを「停止」以外に合わせた状態）にして再充電し、24時間以上経過してからご使用をはじめてください。

プリンタについてのご注意

- ・この製品をご使用になる際には、必ずロール紙をセットしてお使いください。セットせずにご使用になりますと、プリンタ故障の原因となります。
- ・ご使用の際、プリンタアームはしっかり閉じてください。正しく閉じられてないと正常に印字されない場合があります。
- ・プリンタ作動中または作動終了直後は、プリンタヘッドおよびその周辺とモーター表面は高温になっていますので、けっして手を触れないでください。
- ・プリンタアームのレバーは必要時以外、操作しないでください。
プリンタヘッドが損傷する原因になります。
- ・プリンタアームを閉じた状態で、紙を引っ張らないでください。
プリンタヘッドが損傷する原因になります。
- ・次のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 - ・湿気やほこりの多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・鉄など金属の粉末がある場所

お守りください

ロール紙(感熱紙)の取扱いについては、117ページをよくお読みいただき、注意事項を必ずお守りください。

- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することはお断りします。
- 本書の内容および本製品は、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
- 本書および本製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口(127ページ)までご連絡ください。
- お客様または第三者が本製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



SDロゴは商標です。

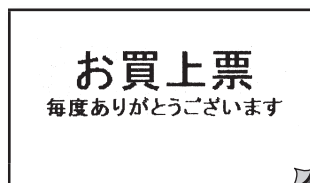
■ レシート用店名ロゴについて

店名ロゴには次の4種類があり、いずれか1つを選択することができます。

標準店名ロゴ

このレジスタに最初から入っているロゴで、「お買上票」と「領収証」の2種類があります。設定方法は「店名ロゴとメッセージ印字様式の設定(ヘッダ/フッタ)」(P.98ページ)を参照してください。ご購入時またはマスタリセット操作後は、「お買上票」が選択されています。

お買上票



領収証



文字設定による店名ロゴ

ご自身で設定したメッセージを店名ロゴとして印字できます。設定方法は「店名・領収証ロゴ/各種メッセージの設定」(P.90ページ)を参照してください。



グラフィック店名ロゴ

お店独自のロゴマークなどを店名ロゴとして使うことができます。同梱の「グラフィック店名ロゴ作成依頼書」で、グラフィック店名ロゴの作成をお申し込みください(有償)。グラフィック店名ロゴのデータはSDメモリーカードに保存してお渡しするので、パソコンを使いレジスタに設定してください。



パソコンによるロゴ作成

レジスタに付属のカスタマサポートツールを使用して、パソコンの画面上で店名ロゴを作成したものを使うことができます。作成した店名ロゴをUSBケーブル経由でレジスタに送信またはSDメモリーカードに保存してレジスタに設定します。詳細は「カスタマサポートツールについて」(P.106ページ)を参照してください。



もくじ

安全にお使いいただくために	1
お願い	3
はじめに	4
レシート用店名ロゴについて	5
もくじ	6

はじめてお使いいただくとき

ポイント

レジスタを取り外すときは	10
営業記録(ジャーナル)について	13

1. はじめてお使いになるとき	10
1. 付属品を確認する	10
2. 設置する	10
3. メモリーに登録された内容を消し初期状態に戻す (マスターリセット)	11
4. ロール紙を取り付ける	12
5. 日付と時刻を合わせる(簡易日付設定)	14
6. 内税/外税/非課税を選択する	15
2. 各部の名前とはたらき	16
3. レジスタの1日の流れ	20

売上登録をするとき

ポイント

レシートの見かた	23
練習データを消去するとき (練習データクリア)	40

1. 基本的な使いかた	22
商品の売上登録をはじめる	22
お買い上げとつり銭の計算	22
レシート発行停止について	24
責任者を指定する	24
同じ商品を2個以上販売する	25
つり銭準備金を入れるとき	26
売上回収金があるとき	26
両替するとき/引出しを開けるとき 両替	26
2. お店にあわせた使いかた	27
値引きする	27
割引・割増をする	28
返品があったとき	29
クレジットカードなどでの支払いがあるとき	30
商品券での支払いがあるとき	30
売上と関係ない現金の出し入れがあるとき	30
領収証を発行する	31
ポイント券付きレシートを発行する	32
予約券を発行する	32
クレジットカードやお客様番号などを印字する	33
単品の現金売りが多いとき	33
PLU(単価読み出し)を使って登録する	34
つけで売るとき(掛け売り)	35
3. 訂正のしかた	36
数字を打ちまちがえたとき	36
登録の直後にまちがいに気付いたとき 直前訂正	36
登録の途中でまちがいに気付いたとき 指定訂正	37
登録した内容を取り消す 全項目取消	38
レシート発行後に取り消す 取引後訂正	39

売上の点検と精算を するとき

ポイント

点検と精算について	43
期間集計の考えかた	47

各種設定をするとき

ポイント

現金単品売りと部門設定の 考えかた	63
部門とPLUの違い	67
消費税の印字の設定	83
レシート印字について	97

1. 営業中の売上の確認	42
営業中に売上を表示で確認する	ワンタッチ点検 42
2. 1日の売上の点検・精算	43
項目別に売上を点検・精算する	日計全項目 点検/精算 44
責任者別に売上を点検・精算する	責任者別 点検/精算 45
部門別に売上を点検する	全部門 点検 45
PLU別に売上を点検・精算する	PLU別 点検/精算 46
時間帯別に売上を点検・精算する	時間帯別 点検/精算 46
3. 期間集計の点検・精算	47
期間集計のしかた	47
期間集計1をする	48
期間集計2をする	48
4. 営業記録の確認	49
営業記録を印字する(電子ジャーナルの発行)	49
1. 設定をする前に	52
設定のための基本操作	52
文字の入力方法	54
設定内容を印字する	59
2. 部門とPLUの設定	62
部門キーへの単価設定	62
部門の詳細設定	63
PLU番号への単価設定	66
PLU番号の詳細設定	68
3. 機能キーの設定	70
 、  、  の設定	70
 、  、  の設定	73
 、  、  の設定	75
ポイント券の設定	77
その他機能名の設定	79
4. 消費税の設定	81
お店に合わせて消費税を設定(変更)する	81
消費税の端数処理の設定	82
レシートへの税関連印字の設定	83
消費税の税率および免税点の設定	85
消費税の自動変更予約機能について	86
5. 責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定	89
責任者名の設定	89
店名・領収証ロゴ/各種メッセージの設定	90
通信タイムアウト時間/プリンタ印字濃度の設定	92
6. その他の設定	93
日付/時刻/レジスタ番号/一連番号の設定	93
登録モード制限の設定	94
登録機能の設定	95
印字形式全般の設定	96
店名ロゴとメッセージ印字様式の設定(ヘッダ/フッタ)	98
売上登録印字形式の設定	100
領収証の設定	101
集計レポート印字の設定	102
電子ジャーナルの設定	102
省電力の設定(スリープモード)	103
全データ自動バックアップの設定	104

知っておいていただきたいこと

ポイント

店名ロゴ・領収証ロゴデータの読み込み 112

1. カスタマサポートツールについて	106
カスタマサポートツールでできること	106
インストール	107
レジスタとのデータのやり取り	108
起 動	108
メインメニュー	108
2. SDメモリーカードについて	109
SDメモリーカードでできること	109
SDメモリーカードの入れかた、出しかた	109
SDメモリーカードのフォーマット	110
設定データの書き込み	110
設定データの読み込み	111
売上データの書き込み	112
電子ジャーナルの書き込み	113
電子ジャーナルの印字	114
全データの書き込み(バックアップ)	114
全データの読み込み(バックアップの復元)	115
3. キーボードの取扱いについて	116
キーラベルを入れるとき	116
キートップが外れてしまったとき	116
4. ロール紙の補充と交換	117
ロール紙について	117
ご注意	117
交換のしかた	118
紙づまりのとき	119
5. 引出しなどの取扱いについて	120
引出しの施錠と開錠のしかた	120
引出しの開けかた(停電時など)	120
金銭収納箱と引出しの外しかた	120
プリンタのお手入れのしかた	121
困ったときは	122
停電のとき	122
印字中に停電になったとき	122
プログラムリセット	122
ピーという警告音が鳴ったときは(エラー処理)	122
故障かなと思ったら	125
アフターサービスについて	126
保証について	126
修理を依頼される時	126
補修用性能部品について	126
別売品について	126
グラフィック店名ロゴ作成ご依頼要領	126
お客様ご相談窓口のご案内	127
付 録	129
仕 様	129
ECR文字コード表	130
区点コード表	131
索 引	146
レシートから見る逆引き検索	149
部門設定用シート	151
PLU設定用シート	151

はじめてお使い いただくとき

ここでは、レジスタの設置や日付の登録など、お使いいただく前の準備作業について説明しています。

1. はじめてお使いになるとき
2. 各部の名前とはたらき
3. レジスタの1日の流れ

売上登録をするとき

ここでは、売上登録のしかたや登録の訂正のしかたなど、レジスタの基本的な操作方法を説明しています。

1. 基本的な使いかた
2. お店にあわせた使いかた
3. 訂正のしかた

売上の点検と精算をするとき

ここでは、売上の点検と精算の種類やその操作方法、営業記録の印字方法などを説明しています。

1. 営業中の売上の確認
2. 1日の売上の点検・精算
3. 期間集計の点検・精算
4. 営業記録の確認

各種設定をするとき

ここでは、レジスタを使ううえで必要な設定内容とその設定方法について説明しています。

1. 設定をする前に
2. 部門とPLUの設定
3. 機能キーの設定
4. 消費税の設定
5. 責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定
6. その他の設定

知っておいて いただきたいこと

ここでは、カスタマサポートツールやレジスタのメンテナンスについて説明しています。

1. カスタマサポートツールについて
2. SDメモリーカードについて
3. キーボードの取扱いについて
4. ロール紙の補充と交換
5. 引出しなどの取扱いについて

困ったときは

アフターサービスについて

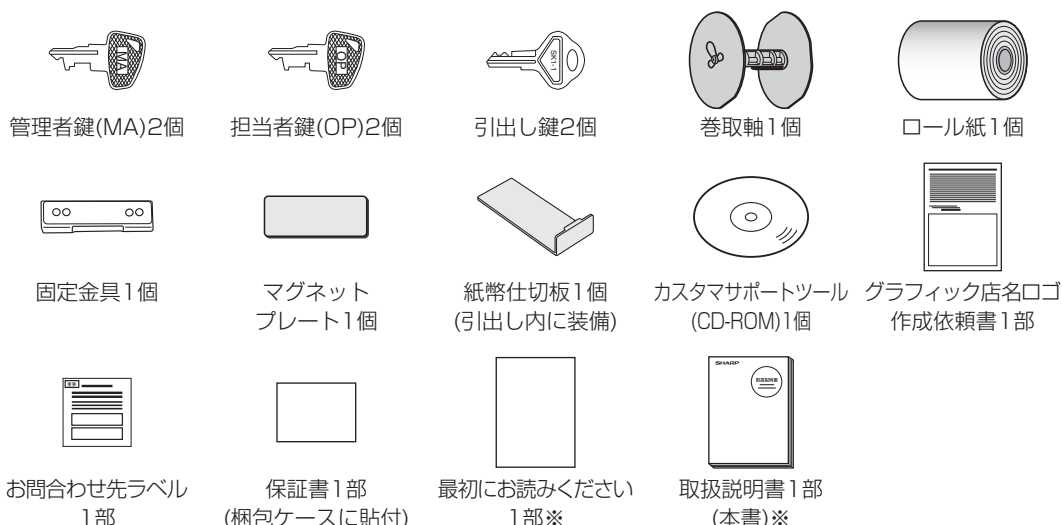
付 録

1. はじめてお使いになるとき

ここでは本レジスタの設置や日付と時刻の設定などはじめてお使いになるときの準備作業について説明しています。

1 付属品を確認する

梱包を解き、付属品がすべてそろっているか確認します。



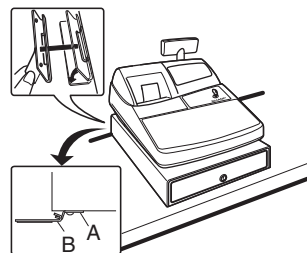
※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

2 設置する

「安全にお使いいただくために」(※1ページ)の注意事項をよくお読みのうえ、安定した台の上などぐらつかない場所にレジスタを設置します。このとき、レジスタが動かないように、付属の固定金具を使ってレジスタを固定します。

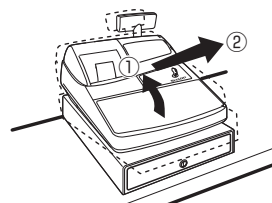
- 1 固定金具を取り付ける設置面をから拭きし、ほこりや汚れを拭きとります。
- 2 引出しの後部底面についている金具(A部)のフックに、固定金具(B部)を引っかけます。
- 3 固定金具裏面の粘着テープの台紙をはがし、固定金具を設置面に貼り付けます。

Memo 確実に固定するために、固定金具の穴2ヶ所をねじ止めることをおすすめします。ねじは市販品をご用意ください。



POINT! レジスタを取り外すときは

図のようにレジスタの手前を持ち上げた状態で、斜め上に引きながら取り外します。



③ メモリーに登録された内容を消し初期状態に戻す (マスターリセット)

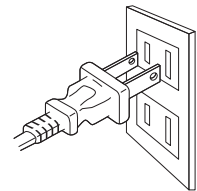
メモリーに登録された内容を消し、初期状態に戻します。はじめてレジスタをご使用になるときにも必ずおこなってください。

ご注意 マスターリセットをおこなうとすべてのデータが消去されてしまいますので本稼働後は、マスターリセットをおこなわないでください。

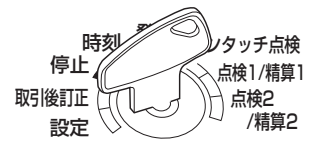
1 電源スイッチを切("○"側)に押します。



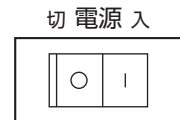
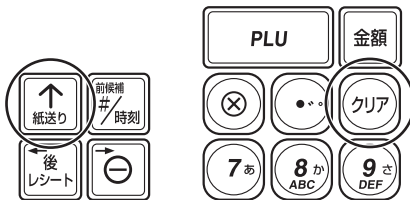
2 電源プラグをコンセントに差し込みます。



3 管理者鍵(MA)を機能切りかえスイッチに差し込み、「設定」の位置に合わせます。



4 と を押しながら、電源スイッチを入("I"側)に押します。



表示部に右のように表示され、レジスタがリセットされます。

マスターリセット中
しばらくお待ち下さい

5 リセットが終了すると、ピーピーピーという音が鳴り、表示部に右のように表示されます。

設定
[変換]で操作メニュー
0

ご注意 はじめてご使用になるときは、メモリー保持用の内蔵電池の充電レベルが低下しているため、24時間以上充電をしてください。電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れ、機能切りかえスイッチを「停止」以外の位置に合わせると自動的に充電されます。

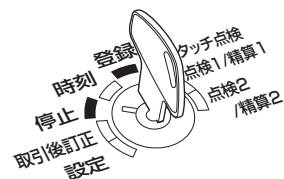
4 ロール紙を取り付ける

お客様にお渡しするレシート、またはお店に残す営業記録(ジャーナル)の印字用としてロール紙を取り付けます。ご購入時、ロール紙は「レシート」として印字されるように設定されています。

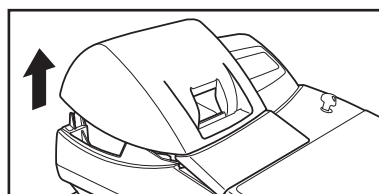
ご注意 ⚠ 当社推奨のロール紙(※P.117ページ)を必ずご使用ください。その他のロール紙をご使用になると、紙づまりを起こすなど故障の原因となります。

▶ レシートとして使用

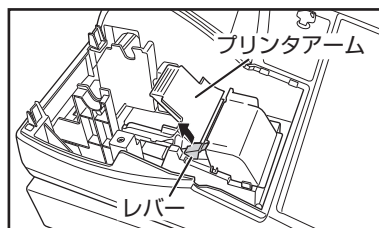
- 1 電源を入れ、機能切りかえスイッチを「登録」の位置に合わせます。



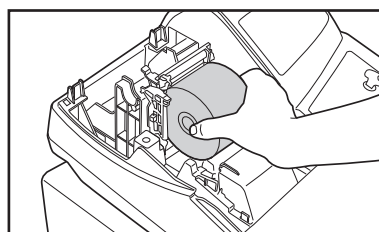
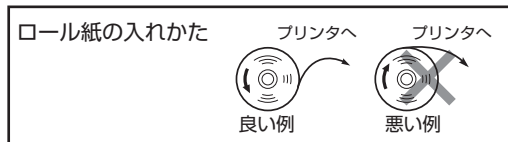
- 2 プリントカバーを取り外します。



- 3 プリンタアームのレバーを矢印の方向へ押して、プリンタアームを上げます。

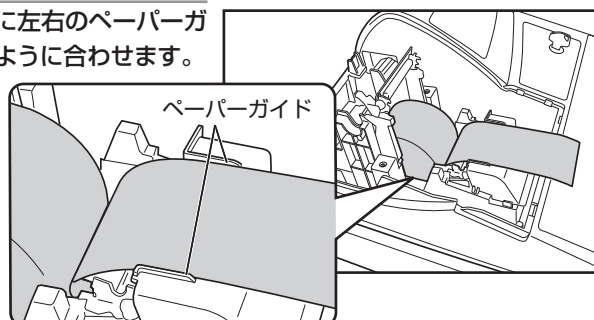


- 4 紙の方向に注意して、ロール紙をロール収納部に落とし込みます。



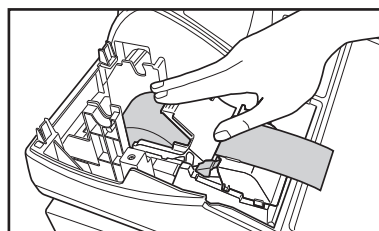
ご注意 ⚠ ロール紙収納部にロール紙をおさめる際、テープ(または糊)の接着していた部分は切り捨ててください。

- 5 ロール紙の先端を引き出して、図のように左右のペーパーガイドの間にロール紙がきっちりおさまるように合わせます。

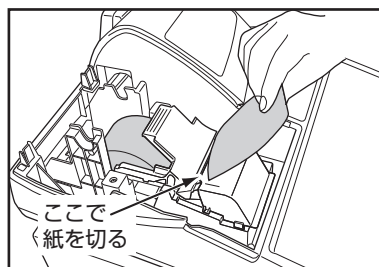


- 6** ロール紙を押さえながらプリンタアームの図の位置を手でしっかりと押し下げます。カチッと音がしてプリンタアームが確実に閉じると、ロール紙が送り出されます。

ご注意  プリンタアームが確実に閉じていないと、正常に印字されないことがあります。そのような場合は、もう1度プリンタアームを閉めなおしてください。



- 7** 右図のように余分な紙を切り取ります。うまく切り取れないときは、 を押して、紙を余分に送り出してから切り取ってください。



- 8** プリンタカバーを取り付けます。

POINT! 営業記録(ジャーナル)について

レシートとして使用した場合、営業記録はレジスタ内のメモリーに記憶されます。この記憶された営業記録は電子ジャーナルといい、電子ジャーナルの内容は必要に応じてロール紙に印刷することができます。電子ジャーナルについての詳細は「営業記録の確認」(P.49ページ)を参照してください。

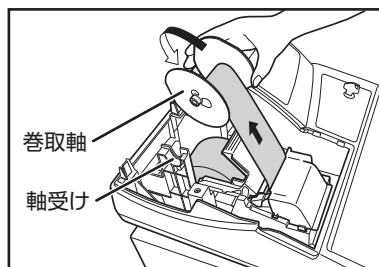
▶ 営業記録紙として使用

- 1** 「レシートとして使用」(P.12ページ)の手順1～6をおこないます。

- 2**  を押して、必要な長さを送り出します。

- 3** ロール紙の先端を巻取軸の切り込み部に差し込み、2～3回巻き付けてから巻取軸を軸受けに取り付けます。

- 4** ロール紙のたるみをなくし、プリンタカバーを取り付けます。



ご注意  ご購入時、本レジスタの設定はロール紙にレシートとして印字されるよう設定されていますので、巻取軸はロール紙を巻き取りません。「印字形式全般の設定」(P.96ページ)で「通常印字形式」の設定を「営業記録(ジャーナル)」に変更してから営業記録の印字をおこなってください。

5 日付と時刻を合わせる(簡易日付設定)

簡易日付設定機能を使い、レジスタの日付と時刻を設定します。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「設定」の位置に合わせます。



- 2 年月日をキーボードから入力して[時刻]を押します。
設定した日付が印字されます。

例 2006年1月15日に合わせるとき
 (2) (00) (6) (0) (1) (1) (5) [時刻]
 (年:4桁、月:2桁、日:2桁)

Memo 数字を打ちまちがえたときは[クリア]を押して入力しなおしてください。

日付 2006年 1月15日

- 3 時刻をキーボードから入力して[時刻]を押します。
設定した時刻が印字されます。

例 15時(午後3時)5分に合わせるとき
 (1) (5) (0) (5) [時刻]

Memo 数字を打ちまちがえたときは[クリア]を押して入力しなおしてください。

時刻 15:05

▶ 日付と時刻を確認する

機能切りかえスイッチを「時刻」の位置に合わせると、現在の日付と時刻が表示されます。

「登録」または「取引後訂正」の位置で日付と時刻を表示したいときは、取引操作が終了しているときに、[時刻]を押します。表示を消すときは、[クリア]を押します。

オペレータ側画面

日付 2006年 1月15日(日)
 時刻 15:05
 (24時間制)

1秒刻みで点滅

客側表示

時刻のみ表示 (24時間制) 15-05

6 内税/外税/非課税を選択する

部門ごとに消費税の課税方法(外税/内税/非課税)を設定します。ご購入時、消費税は次のように設定されています。

- ・消費税率 : 5%
- ・課税方法 : すべての部門に対して内税課税
- ・内税の端数処理 : 1円未満を切り捨て

●内税商品のみ扱うお店 → このまま使えます

ご購入時は、~のすべての部門に内税が設定されています。

●外税商品または非課税商品があるお店 → 設定を変更してください

◆課税方法の設定

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



部門番号	01
数字[確定]	0

3 部門番号を入力します。



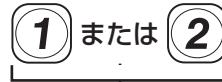
部門番号	01
数字[確定]	3

4 消費税の設定画面を表示します。



課税方法	内税
[1]非課税[2]外税[3]内税	
部03	

5 課税方法を選択します。



を押すときは、
で前の画面を表示できます。

非課税	1
外税	2

課税方法	非課税
[1]非課税[2]外税[3]内税	
部03	

設定内容を確定します。



6 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

続けて他の部門を設定するときは、
だけを押し手順3の部門番号の入力操作からくりかえします。
を押した時点で、その部門の設定が完了し、設定内容が印字されます。

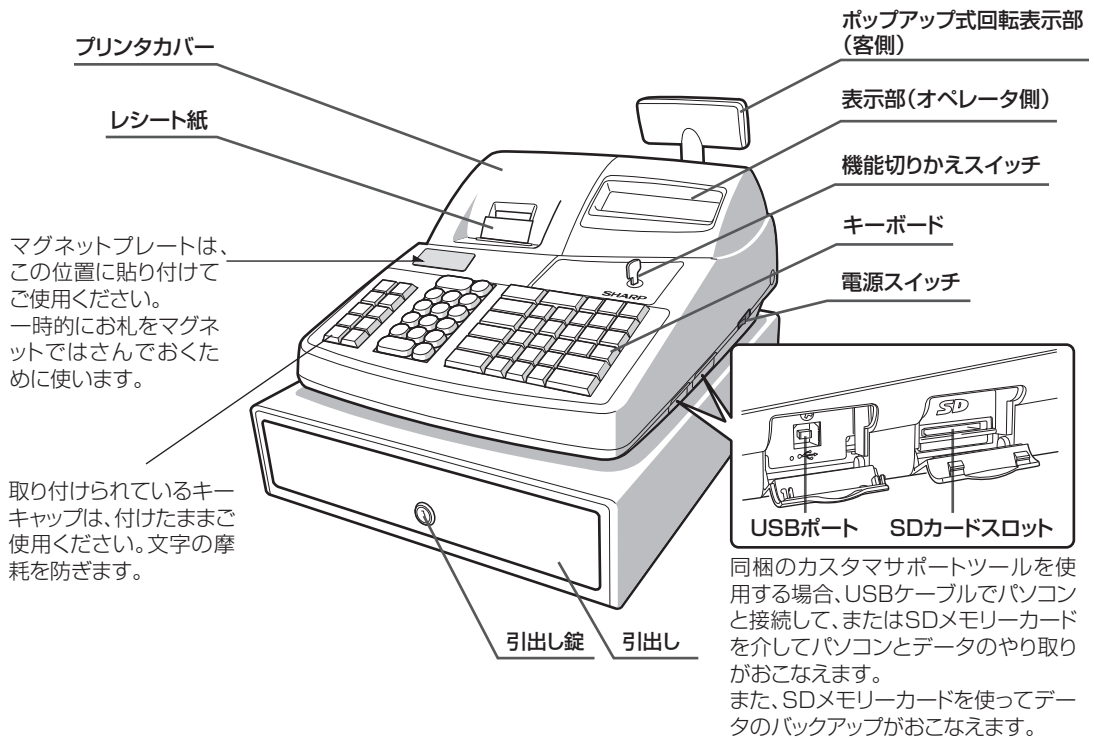


- ・消費税率を変更したいときは、「消費税の税率および免税点の設定」(P85ページ)を参照してください。
- ・消費税の円未満の端数処理を変更したいときは、「消費税の端数処理の設定」(P82ページ)を参照してください。

2. 各部の名前とはたらき

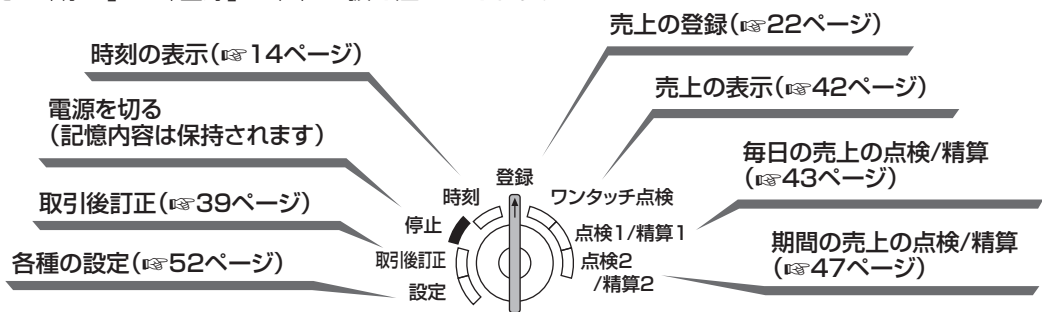
はじめてお使いいただくとき

本体外観

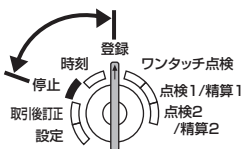
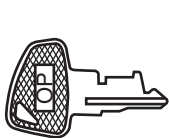


機能切りかえスイッチ

- ・ 管理者鍵 (MA) または担当者鍵 (OP) を差し込んで回し、スイッチを切りかえます。
- ・ 鍵は「停止」か「登録」の位置で抜き差しできます。

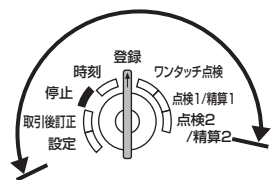
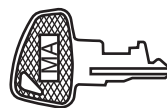


担当者鍵(OP)



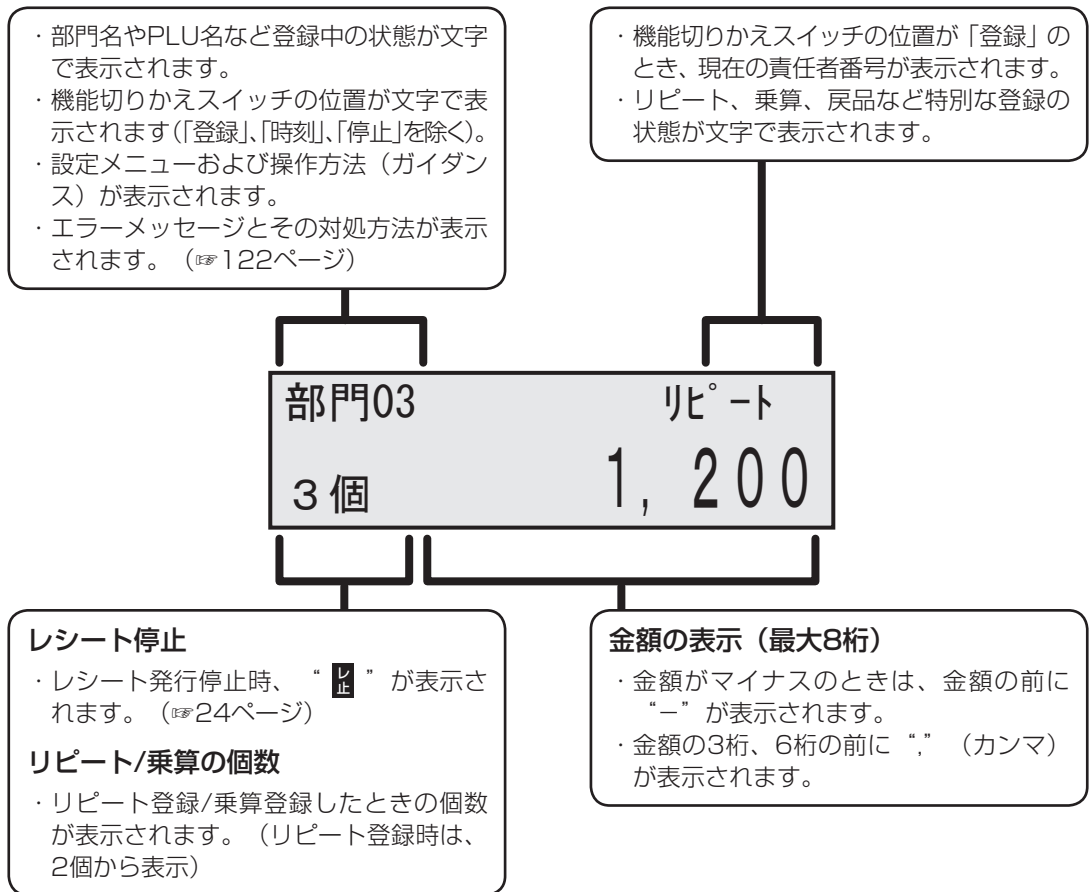
担当者鍵(OP)ではこの範囲しか回せません。

管理者鍵(MA)



管理者鍵(MA)ではどの位置にも回せます。

オペレータ側表示部



無操作状態が一定時間以上続くと省電力機能がはたらいてスリープモードに入ります(表示部のバックライトが消えます)。スリープモードを解除するには、キー入力あるいは機能切りかえスイッチの位置の変更をおこなってください。また電源が入った状態のパソコンと接続したときも、スリープモードが解除されます。

客側表示部：金額のみ表示(最大7桁)



キーの名前とはたらき



Memo

- ・キー左上の文字と置数キーのまわりのひらがなや英文字は、設定の入力のときに使います（[52](#)、[54](#)ページ）。
- ・キーに部門名などを記入したキーラベルが入れられます（[116](#)ページ）。

	紙送りキー ロール紙の紙送りに使います。
	後レシートキー レシート発行を停止している状態で、取引が終了した分のレシート発行させたいときに使います。
	戻品キー 戻品（返品）登録に使います。
	訂正キー 直前訂正・指定訂正、全項目の取り消しをおこなうときに使います。
	支払いキー 支払登録のときに使います。
	不加算登録／時刻・日付表示キー 不加算コード番号の印字をおこなうときに使います。 時刻・日付を表示するときに使います。
	値引キー 個々の売上商品や小計金額に対して、値引登録をおこなうときに使います。
	パーセントキー 個々の売上商品や小計金額に対して、割引または割増登録をおこなうときに使います。
	入金キー 掛け売りの入金のときに使います。

	PLUキー PLU番号による登録（プライス・ルック・アップ）に使います。
	金額キー PLUのオープン登録（金額を置数して登録する場合）に使います。
	乗算キー 乗算登録に使います。
	小数点キー 個数または割引率に小数点を含むときに使います。
	クリアキー 数字を押しまちがえたときの消去や、エラー状態の解除に使います。
	置数キー 単価や数量を打ち込むときに使います。 ②②を押すと、“0”を一度に2桁打ち込めます。

部門1 部門20	部門キー 個々の商品の売上を登録するときに使います。商品によって押す部門キーを使い分け、部門別の商品管理ができます。 現金単品売りをするときに使います（部門キーを現金単品売りの設定にした場合）。
--------------------------------	--

万円	万札キー 万円札を預ったときに使います。 （現金の預り登録、入金、支払いの登録に有効です。）
領収証	領収証発行キー 領収証を発行するときに使います。
予約券	予約券キー 次回の予約日時を印字するときに使います。
責任者	責任者キー 責任者番号の入力に使います。
売上回収金	売上回収金キー 必要以上に多くなった引出し内の現金を回収するときに使います。
券売	券売キー 商品券、図書券などで支払いがあったときに使います。
掛売	掛け売りキー つけ（掛け売り）で売るときに使います。
小計	小計キー 小計金額（税込み）の算出に使います。
現金/預り	現金/預りキー 現金売り、預り登録（つり銭計算）をおこなうときに使います。
強制解除	解除キー (F7)を押してもエラー状態が解除できないときに使います。
釣銭準備金	釣銭準備金キー 引出しにつり銭用の現金を入れるときに使います。
両替	両替キー 両替をおこなうときに使います。
信用	信用売りキー クレジットカード、小切手などで支払いがあったときに使います。

3. レジスタの1日の流れ

はじめてお使いいただくとき

開店前は



電源プラグが外れていないか確認し、電源スイッチを入（「I」側）にする



ロール紙が十分にあるか確認
(※118 ページ)

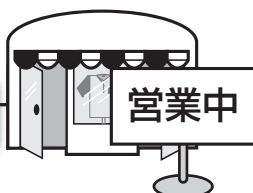


日付・時刻の確認
(※14 ページ)



つり銭用の現金を引出しに入れる
(※26 ページ)

営業時間中は



商品の割引
(※28 ページ)
商品の値引
(※27 ページ)



クレジットカード
商品券での支払い
(※30 ページ)



商品の現金販売
(※22 ページ)



番号の印字
(※33 ページ)



つけ売り (掛け売り)
(※35 ページ)



両替 (※26 ページ)



領収証の発行
(※31 ページ)



返品 (※29 ページ)



登録の取り消し
(※36 ページ)



売上と関係しない
現金の出し入れ
(※30 ページ)
売上金の回収
(※26 ページ)

閉店後は



1 日の売上の精算
(※43 ページ)



引出しの中の現金
を別の場所に保管



時刻
停止
取引後訂正
設定
登録
ワンタッチ点検
点検1/精算1
点検2/精算2

機能切りかえスイッチを“停止”にして、電源スイッチを切（“O”側）にする

はじめてお使い いただくとき

ここでは、レジスタの設置や日付の登録など、お使いいただく前の準備作業について説明しています。

1. はじめてお使いになるとき
2. 各部の名前とはたらき
3. レジスタの1日の流れ

売上登録をするとき

ここでは、売上登録のしかたや登録の訂正のしかたなど、レジスタの基本的な操作方法を説明しています。

1. 基本的な使いかた
2. お店にあわせた使いかた
3. 訂正のしかた

売上の点検と精算をするとき

ここでは、売上の点検と精算の種類やその操作方法、営業記録の印字方法などを説明しています。

1. 営業中の売上の確認
2. 1日の売上の点検・精算
3. 期間集計の点検・精算
4. 営業記録の確認

各種設定をするとき

ここでは、レジスタを使ううえで必要な設定内容とその設定方法について説明しています。

1. 設定をする前に
2. 部門とPLUの設定
3. 機能キーの設定
4. 消費税の設定
5. 責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定
6. その他の設定

知っておいて いただきたいこと

ここでは、カスタマサポートツールやレジスタのメンテナンスについて説明しています。

1. カスタマサポートツールについて
2. SDメモリーカードについて
3. キーボードの取扱いについて
4. ロール紙の補充と交換
5. 引出しなどの取扱いについて

困ったときは

アフターサービスについて

付 録

1

売上登録をするとき

．基本的な使いかた

ここでは、お買い上げとつり銭の計算、レシートの発行停止、売上登録以外での引出しの開けかたなど、本レジスタの基本的な使いかたを説明しています。

■ 商品の売上登録をはじめる

登録とは、売上商品の金額や部門、預り金額などを入れ、レジスタに記憶させることです。

売上商品の金額や部門、PLUなどを登録するときは、機能切りかえスイッチを「登録」の位置に合わせます。



■ お買い上げとつり銭の計算

お買い上げ商品とお預り金額の登録方法を説明しています。操作をまちがえて、ピーという音が鳴ったときは「ピーという警告音が鳴ったときは(エラー処理)」(P.122ページ)を参照してください。また、まちがえて登録したときは、「訂正のしかた」(P.36ページ)を参照してください。

例

3,800円（部門1、消費税内税対象）と、1,200円（部門2、消費税外税対象）の商品を売り、10,000円を預かったとき(責任者番号1を指定した場合の表示例)

機能切りかえスイッチを「登録」に合わせます。



商品の単価と部門を登録します。



部門01	3,800
------	-------

次の商品の単価と部門を登録します。



部門02	1,200
------	-------

お買い上げ合計を表示します。



**小計	5,060
------	-------

預り金額を入れます。



	10000
--	-------

登録を終了します。



おつり	責任1
	4,940

引出しが開きます。

Memo

- ・合計金額と預り金額が同額のと看(売上とちよどの金額を受け取ったとき)は、預り金額を入力せず、**[現金/預り]**のみを押して、取引操作を終了できます。
- ・**[小計]**を押すと、その時点での合計額が表示されます。押しても売上には影響しないため、登録途中に何回でも押すことができます。また、合計額を表示する必要がないときは、押す必要はありません。
- ・**[万円]**を使ってお預り金額を入力すると、レジスタが1万円札の枚数を数え、点検・精算レポートにその枚数が印字されます(☞44ページ)。1万円札を2枚お預りした場合は**(2)** **[万円]**と入力します。ただし、**(2)** **(00)** **(00)**などと入力しても、1万円札が2枚とは数えられません。
- ・あらかじめ単価を部門キーに設定しておく、部門キーを押すだけで単価を登録できます(プリセット登録) (☞62ページ)。
- ・PLU(単価読み出し)を使って売上登録することもできます(☞34ページ)。

ご注意



売上金額より、預り金額が小さかったときは、**[現金/預り]**を押しても引出しは開きません。表示部に「残額」と不足額が表示されます。もう一度、**[現金/預り]**を押して登録を終了するか、不足額より大きな預り金額を入れ、**[現金/預り]**を押して登録を終了させてください。

残額

1, 000

POINT! レシートの見かた

お買上票		店名ロゴ
毎度ありがとうございます		
またの御来店を お待ちしております		コマーシャルメッセージ
ありがとうございました		
日付	2006年 1月15日 9:22 1	責任者番号
レジスタ番号/一連番号	000123#0033 田中	時刻
		責任者名
部門名	部門01 内¥3,800	単価
	部門02 ¥1,200	
	**小計 ¥5,000	商品合計額
	外税小計 ¥1,200	外税対象額
	外税 ¥60	外税額
	(内税) ¥180	内税額(3,800×5/105、端数切り捨て)
	個数 2個	お買い上げ点数
	**合計 ¥5,060	税込み売上金額
	現金 ¥10,000	預り金額
	おつり ¥4,940	つり銭金額

Memo

- ・消費税の処理は、事前に設定した内容でレジスタが自動的におこないます(☞81ページ)。
- ・店名ロゴは次の4つから選択できます。
 - ・「お買上票」か「領収証」のどちらかを選択(☞98ページ)
 - ・店名ロゴの文字を設定して使用(☞90ページ)
 - ・カスタマサポートツールを使い、グラフィックロゴを作成して使用(☞106ページ)
 - ・グラフィックロゴを作成依頼(同梱の用紙)

■ レシート発行停止について

レシートの発行を止めることができます。

発行を止めているときに直前の取引のレシート発行、また登録中の営業記録を印字することができます。この機能は、「印字形式全般の設定」(P.96ページ)で「通常印字形式」の設定が「レシート」に選択されているときのみ使用できます。

▶ レシート発行停止を設定する

レシートの発行を停止に設定します。

1 機能切りかえスイッチを「時刻」の位置に合わせます。



2 を押すごとに、レシートの発行/停止が切りかえられます。 レシート発行停止中は、表示部にが表示されます。



ご注意  レシートの発行を停止できるのは、機能切りかえスイッチを「登録」の位置に合わせておこなった操作に限ります。

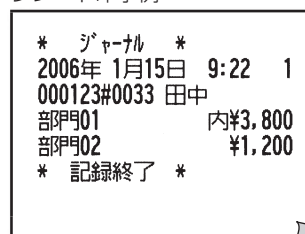
▶ レシートを発行する(後レシート)

レシート発行停止が設定されているとき、1つの取引が終わったすぐ後でを押すと、その取引についてのみレシート(後レシート)を発行することができます。

ご注意  1つの取引が200商品を超えたときは、明細が印字されず合計金額のみが印字されます。

▶ 登録途中の営業記録を印字する

レシート発行停止が設定されているとき、登録途中にを押すと、レシート印字例
登録中の営業記録を印字することができます。



■ 責任者を指定する

登録を担当する責任者を4人(責任者番号1~4)まで、区別して使い分けることができます。責任者が交代するときに、責任者番号を指定します。登録中に責任者を変更することはできません。取引を終了させてから、次の責任者を指定します。ご購入時は、責任者番号1が選択されています。

例

責任者番号2を指定するとき



Memo  ・機能切りかえスイッチが「取引後訂正」の位置でも、責任者を指定することができます。
・を押すと、指定中の責任者番号が表示されます。責任者名を設定している場合(P.89ページ)は、その文字列が表示されます。

■ 同じ商品を2個以上販売する

同じ商品を複数個販売するときの登録方法には、個数の少ないときに使うと便利な「リピート登録」と、個数の多いときに使うと便利な「乗算登録」の2種類があります。
また **PLU** (単価読み出し) を使って、登録することもできます(※34ページ)。

▶ 個数の少ないとき … リピート登録

「単価」を入力して、「部門キー」を個数分くり返し押します。

例 350円の商品(部門1、消費税内税対象)を3個売るとき

登録	3	5	0	部門1	部門01	350
(350円、部門1)						
部門1	部門1				部門01	リピート
(くり返し)					3 個	350
小計	現金/預り				現金	責任 1
(登録の終了)						1,050

レシート印字例

部門01	内¥350
部門01	内¥350
部門01	内¥350
**小計	¥1,050
(内税)	¥50
個数	3個
現金	¥1,050

▶ 個数の多いとき … 乗算登録

「単価」×「個数」で登録します。

例 350円の商品(部門1、消費税内税対象)を8個売るとき

登録	3	5	0	×	8	350 × 8
(350円 × 個数)						
部門1					部門01	乗算
(部門1)					8 個	2,800
小計	現金/預り				現金	責任 1
(登録の終了)						2,800

レシート印字例

	350 × 8
部門01	内¥2,800
**小計	¥2,800
(内税)	¥133
個数	8個
現金	¥2,800

Memo

- ・部門キーに単価設定をしている場合(※62ページ)は、「個数」×「部門キー」で登録できます。
- ・「登録機能の設定」で小数入力を「可能」に設定している場合(※95ページ)は、個数を小数点以下第3位まで登録できます。**⊙**を押してから小数部を入力します。

■ つり銭準備金を入れるとき

営業前につり銭用の現金を引出しに入れるとき、その金額を登録して^④を押します。

例

引出しに、千円札や硬貨でつり銭準備金を25,000円入れるとき



釣銭準備金	責任 1
25, 000	

レシート印字例

釣銭準備金	¥25,000
-------	---------

■ 売上回収金があるとき

営業中に引出しにたまった現金(売上金)を午前や午後に分けて回収するときなど、その金額を登録して^④を押します。引出しに入っている1万円札の枚数を管理したいときは、^⑤を使って回収操作をしてください。

つけの入金があったときは、この^④のキー操作ではなく「売上と関係がない現金の出し入れがあるとき」(P.30ページ)の操作をおこないます。

例

引出しから、千円札を20枚(20,000円)回収するとき



売上回収金	責任 1
20, 000	

レシート印字例

売上回収金	¥20,000
-------	---------

■ 両替するとき/引出しを開けるときの… 両替

取引が終了しているときに^④を押します。

レシート印字例

両替

引出しに入っている1万円札の枚数を管理したいときは、次のように^⑤を使って両替操作をしてください。

例

1万円札を1枚受け取り、両替するとき
(引出しに1万円札が入る両替)



万券←両替	責任 1
10, 000	

レシート印字例

万券←両替

例

引出しから1万円札を2枚出して、千円札を20枚入れるとき
(引出しから1万円札が出る両替)



万券→両替	責任 1
20, 000	

レシート印字例

万券→両替



^⑤を使った両替を取り消すときは、おこなった操作と反対の両替操作をおこない、1万円札の枚数を相殺してください。

2.

売上登録をするとき

2. お店にあわせた使いかた

ここでは、値引きや割引、クレジットカードでの支払い、領収証の発行など、それぞれのお店によって使用の有無や頻度が異なる機能について説明しています。

「2.お店にあわせた使いかた」はすべて売上登録の操作ですので、機能切りかえスイッチを「登録」の位置に合わせます。



■ 値引きする

値引きには、個々の商品から値引きする方法と小計額から値引きする方法の2種類の値引き方法があります。

▶ 個々の商品から値引きする

部門キーを押した直後に、値引額を入力して $\ominus$ を押します。

PLUを使った登録のときは、 $\boxed{PLU}$ を押した直後に、値引額を入力して $\ominus$ を押します。

例 250円の商品（部門1、消費税内税対象）を30円引きで、また300円の商品（部門2、消費税内税）を50円引きで売るとき

登録 $\boxed{2}$ $\boxed{5}$ $\boxed{0}$ $\boxed{\text{部門1}}$	部門01	250
$\boxed{3}$ $\boxed{0}$ $\ominus$	(-)	-30
(30円、値引き)		
$\boxed{3}$ $\boxed{00}$ $\boxed{\text{部門2}}$	部門02	300
$\boxed{5}$ $\boxed{0}$ $\ominus$	(-)	-50
(50円、値引き)		
$\boxed{\text{小計}}$ $\boxed{\text{現金/預り}}$	現金	責任 1
(登録の終了)		470

レシート印字例

部門01	内¥250
(-)	内-30
部門02	内¥300
(-)	内-50
**小計	¥470
(内税)	¥22
個数	2個
現金	¥470

売上登録をするとき

▶ 小計額から値引きする

小計を押したあと、値引き額を入力して $\ominus$ を押します。

例 570円の商品（部門1、消費税内税対象）と900円の商品（部門2、消費税内税対象）を売り、小計額から70円を値引きするとき

登録	5	7	0	部門1	部門01	570
	9	00	部門2	部門02	900	
小計	(小計の計算)				**小計	1,470
7	0	$\ominus$	(70円、値引き)		(-)	-70
小計	現金/預り	現金		責任1	1,400	

レシート印字例

部門01	内¥570
部門02	内¥900
**小計	¥1,470
(-)	-70
**小計	¥1,400
(内税)	¥66
個数	2個
現金	¥1,400

- Memo**
- ・ 外税課税後の合計から端数金額を値引きするときは、 $\ominus$ の課税方法を「内税&外税」から「非課税」に変更しておきます(※70ページ)。
 - ・ あらかじめ $\ominus$ に値引額を設定しておく、 $\ominus$ を押すだけで値引きできます(※70ページ)。
 - ・ $\ominus$ に値引額を設定していても、入力した値引き額が優先されます。

■ 割引・割増をする

割引・割増には個々の商品に割引・割増をする方法と小計額に割引・割増をする方法の2種類があります。 $\%1$ $\%2$ はそれぞれ割引か割増のどちらかに割り当てて使用できます。初期値はどちらのキーも割引が割り当てられています。

▶ 個々の商品に割引・割増をする

部門キーを押した直後に、割引率を入力して $\%1$ または $\%2$ を押します。
PLUを使った登録のときは、PLUを押した直後に、割引率を入力して $\%1$ または $\%2$ を押します。また、割増のときは、割引率のかわりに割増率を入れます。

例 5,600円の商品（部門1、消費税内税対象）を、10%割引（ $\%1$ ）で売るとき

登録	5	6	00	部門1	部門01	5,600
1	0	変換 $\%1$	(割引率10%、割引)		% 1	-560
小計	現金/預り	現金		責任1	5,040	

レシート印字例

部門01	内¥5,600
	-10%
% 1	内-560
**小計	¥5,040
(内税)	¥240
個数	1個
現金	¥5,040

▶ 小計額に割引・割増する

小計を押したあと、割引率を入力して $\left[\frac{\text{割引}}{\%}\right]$ または $\left[\frac{\text{割増}}{\%}\right]$ を押します。
また、割増のときは、割引率のかわりに割増率を入れます。

例

300円の商品（部門1、消費税内税対象）と、900円の商品（部門2、消費税内税対象）を売り、小計額から5%割引く $\left[\frac{\text{割引}}{\%}\right]$ とき

登録	3	00	部門1	部門01	300
	9	00	部門2	部門02	900
小計				**小計	1,200
5	$\left[\frac{\text{割引}}{\%}\right]$	$\left[\frac{\text{割増}}{\%}\right]$		% 2	-60
(割引率5%、割引)					
小計	現金/預り			現金	責任1 1,140

レシート印字例

部門01	内	¥300
部門02	内	¥900
**小計		¥1,200
		-5%
% 2		-60
**小計		¥1,140
(内税)		¥54
個数		2個
現金		¥1,140

Memo

- ・ $\left[\frac{\text{割引}}{\%}\right]$ 、 $\left[\frac{\text{割増}}{\%}\right]$ に、あらかじめ割引率や割増率を設定しておくことができます(70ページ)。
- ・ $\left[\frac{\text{割引}}{\%}\right]$ 、 $\left[\frac{\text{割増}}{\%}\right]$ に、割引・割増率を設定していても、割引・割増率を入力した場合はその率が優先されます。
- ・ $\left[\frac{\text{割引}}{\%}\right]$ 、 $\left[\frac{\text{割増}}{\%}\right]$ を割増にするときは、設定を変更してください(70ページ)。
- ・割引/割増率は小数点第2位(0.01~100.00%)まで入力できます。小数部を入力するときは、 $\odot$ を押してから入力してください。
- ・小計がゼロまたはマイナスのとき、小計からの割引・割増はできません。

■ 返品があったとき

返品があったときは、部門キーの前に $\left[\text{返品}\right]$ を押します。PLUを使った登録のときは、 $\left[\text{PLU}\right]$ の前に $\left[\text{返品}\right]$ を押します。

例

780円の商品（部門5、消費税内税対象）の返品があったとき

登録	7	8	0	返品	部門5	部門05	戻品	-780
(780円、部門5、返品)								
小計	現金/預り				おつり	責任1	780	
(現金の返金)								

レシート印字例

部門05	内戻	-780
**小計		-780
(内税)		-37
個数		0個
おつり		¥780

■ クレジットカードなどでの支払いがあるとき

クレジットカードや小切手などの支払いでは、現金/預りのかわりに信用を押します。現金での支払いとは別に集計されます。

例 4,000円の商品（部門1、消費税内税対象）を売り、支払いがクレジットカードのとき

登録 4 0 00 部門1	部門01	
		4, 000
小計 信用	信用	責任 1
(信用売り)		4, 000

レシート印字例

部門01	内	¥4,000
**小計		¥4,000
(内税)		¥190
個数		1個
信用		¥4,000

■ 商品券での支払いがあるとき

図書券やビール券、商品券などの支払いでは、現金/預りのかわりに券売を押します。現金での支払いとは別に集計されます。

例 6,000円の商品（部門1、消費税内税対象）を売り、商品券3,000円と現金3,000円を受け取るとき

登録 6 0 00 部門1	部門01	
		6, 000
小計	**小計	
		6, 000
3 0 00 券売	残額	
(3,000円券売り)		3, 000
3 0 00 現金/預り	おつり	責任 1
(3,000円現金売り)		0

レシート印字例

部門01	内	¥6,000
**小計		¥6,000
(内税)		¥285
個数		1個
**合計		¥6,000
券		¥3,000
現金		¥3,000
おつり		¥0

■ 売上と関係ない現金の出し入れがあるとき

つけの入金があったときなど売上と関係ない現金を入れるときは、金額の後に入金を押します。新聞代などの出金があったときは、金額の後に支払を押します。万円を使用すると1万円札の枚数を管理できます。

例 つけの入金があったため、現金3,000円を引出しに入れるとき

登録 3 0 00 入金	入金	責任 1
(3,000円、入金)		3, 000

レシート印字例

入金	¥3,000
----	--------

■ 領収証を発行する

ひとつの取引が終わったすぐ後で **領収証** を押すと、その取引の領収証を発行することができます。
領収金額を入力してから **領収証** を押すと、入力した金額の領収証を発行することができます。この場合、消費税額と日付は印字されません。

例

直前の取引（税込合計50,000円）の領収証を発行するとき

 **現金/預り**
(登録の終了)

現金	責任 1
50,000	

領収証
(領収証の印字)

現金	責任 1
50,000	

レシート印字例

* 領収証控 *

No. 0002

様

¥50,000

(税抜金額 ¥47,620)
(消費税等 ¥2,380)
但し

領 収 証

No. 0002

2006年 1月15日

様

金50,000円

但し

上記正に領収致しました
(税抜金額 ¥47,620)
(消費税等 ¥2,380)
大阪市阿倍区長池町
和菓子店

収 入
印 紙

印

領収証一連番号

領収証控え
領収証と切り離
して店用の控え
にします。

きりとり線
はさみ等で切り
離してください。

領収証一連番号

日付
領収金額

領収証ロゴ
設定した内容を
印字します
(※90ページ)
レシートと同じロ
ゴ(店名ロゴ)を
印字するように
も設定できます
(※101ページ)。

収入印紙貼付枠
収入印紙の貼付
が必要な金額以
上のに印字
します
(※101ページ)

Memo

- ・直前の取引の領収証は1回に限り発行できます。
- ・領収証控えを発行したくないときは、「領収証の設定」で設定を変更してください(※101ページ)。
- ・領収金額を入力して領収証を発行したときは、入力した金額(領収金額)を税抜き金額と仮定して収入印紙貼付枠が印字されます。手書きで書き込んだ税抜き金額に応じて収入印紙を貼付してください。
- ・領収金額を入力して領収証を発行するとき、領収金額を内税対象とみなして内税の消費税額を計算して印字するように設定できます。「領収証の設定」で設定変更してください(※101ページ)。

■ ポイント券付きレシートを発行する

景品や値引き用のポイントとしてご使用いただけるポイント券を、レシートの下に付けて発行することができます。

取引終了時、設定した条件に応じて自動的にポイント券を印字します。初期設定ではポイント券は印字しません。

ポイントは税込み合計金額に対して計算されます。

例 3,000円の商品（部門1、消費税内税対象）を販売したとき
（最低購入金額を3,000円、1,000円ごとに10ポイント発行する設定の場合）

登録	部門01	3,000
3 0 00 部門1	現金	責任 1 3,000
現金/預り		

レシート印字例

部門01	内	¥3,000
**小計		¥3,000
(内税)		¥142
個数		1個
現金	¥3,000	
ポイント	30	
1ポイント1円で値引します。 次回レシートから切り離さずにお出してください。		

ポイント点数
ポイント券メッセージ
設定した内容を印字します（※90ページ）。

- Memo**
- ・購入金額に対するポイント点数は「ポイント券の設定」（※77ページ）で設定してください。
 - ・ポイント券メッセージは「店名・領収証ロゴ/各種メッセージの設定」（※90ページ）で設定してください。

■ 予約券を発行する

取引が終了しているときに、次の来店や診療などの予約日時を印字した予約券を発行することができます。予約券の曜日は自動的に印字されますが、年は印字されません。

例 9月1日11時の予約券を発行するとき

登録	予約券	日付と時間
0 9 0 1	1 1 00	09011100
(月:2桁、日:2桁、時間:4桁)		
予約券	予約券	責任 1 0
(予約券発行)		

レシート印字例

* 予約券 *
様 次回のご予約は下記の日時 となっております。
9月 1日 (水) 11時00分

予約券メッセージ
設定した内容を印字します（※90ページ）。

- Memo**
- ・予約券メッセージは「店名・領収証ロゴ/各種メッセージの設定」（※90ページ）で設定してください。

■ クレジットカードやお客様番号などを印字する

クレジットカードの番号やお客様の顧客番号などを印字できます(不加算コード)。番号は16桁まで入力できます。

例 顧客番号123のお客様に9,800円の商品(部門1、消費税内税対象)を売るとき

登録	1	2	3	#時刻	#00000000000000123	0
(顧客番号、番号印字)						
9	8	00	部門1	部門01	9,800	
小計	現金/預り	現金	責任1	9,800		

レシート印字例

#00000000000000123	
部門01	内¥9,800
**小計	¥9,800
(内税)	¥466
個数	1個
現金	¥9,800

■ 単品の現金売りが多いとき

単品で売ることが多い商品の部門を、現金単品売りに設定しておくことで、現金/預りを押す操作が省略できます。たとえば、部門1に現金単品売りを設定しておくことで、金額を入力して現金/預りを押すだけで登録を終了できます。また、単価を部門キーに設定しておくことで、部門キーひとつで登録が終了します。

例 350円の商品(部門1、消費税内税対象)を売るとき

登録	3	5	0	部門1	現金	責任1
(350円、部門1、登録の終了)						350

レシート印字例

部門01	内¥350
**小計	¥350
(内税)	¥16
個数	1個
現金	¥350



- ・現金単品売りの設定および単価の設定は、「部門の詳細設定」(E63ページ)を参照してください。
- ・他の商品登録をした後に、現金単品売りを設定した部門キーを使用する場合、通常の売上登録と同様現金/預りを省略することはできません。
- ・PLUの所属部門を現金単品売りに設定された部門に設定しておくことで、PLUを押した時点で、登録が終了します。

■ PLU(単価読み出し)を使って登録する

PLUを使って登録することで、部門よりもさらに細分化した商品管理をおこなうことができます。
PLUを使った登録には次の2種類があります。

- ・ PLU番号を入力すると、自動的に単価が読み出され商品登録ができる
- ・ 金額を入力して、部門キーのかわりにPLU番号を使い登録する

プリセット登録

オープン登録



- ・ **PLU** を使用するには、「PLU番号への単価設定」(P66ページ)や「PLU番号の詳細設定」(P68ページ)で単価や所属部門が必要です。
- ・ PLUの所属部門に現金単品売りが設定されているとき(P68ページ)は、**PLU** を押した時点で現金単品売りとなり、取引が終了します。

▶ 設定単価を読み出して登録する(プリセット登録)

例

PLU番号1の商品(単価300円に設定)を1個売るとき

登録 1 PLU	PLU0001	300
(PLU1)		
小計	現金/預り	現金 責任1 300

レシート印字例

PLU0001	内¥300
**小計	¥300
(内税)	¥14
個数	1個
現金	¥300

例

PLU番号1の商品(単価300円に設定)を3個と、PLU番号2(単価250に設定)を8個売るとき

登録 1 PLU PLU PLU	PLU0001	リピート
(リピート登録)		
2 × 8 PLU	PLU0002	乗算
(PLU2×8個、(乗算登録))		
小計	現金/預り	現金 責任1 2,900

レシート印字例

PLU0001	内¥300
PLU0001	内¥300
PLU0001	内¥300
	250×8
PLU0002	内¥2,000
**小計	¥2,900
(内税)	¥138
個数	11個
現金	¥2,900

▶ 金額を入力して登録する(オープン登録)

例

PLU番号101に分類する商品(単価200円)を1個売るとき

登録 2 00 金額	200 金額
(200円)	

1 0 1 PLU	PLU0101	200
(PLU101)		
小計	現金/預り	現金 責任 1 200

レシート印字例

PLU0101	内¥200
**小計	¥200
(内税)	¥9
個数	1個
現金	¥200

例 PLU番号101に分類する商品（単価200円）を2個と、PLU番号102に分類する商品（単価300円）を10個売るとき

登録 2 00 金額	200 金額
1 0 1 PLU PLU	PLU0101 リピート 2 個 200
(リピート登録)	
3 00 ⊗ 1 0 金額	300 × 10 金額
(乗算登録)	
1 0 2 PLU	PLU0102 乗算 10個 3,000
小計	現金/預り
	現金 責任 1 3,400

レシート印字例

PLU0101	内¥200
PLU0101	内¥200
	300 × 10
PLU0102	内¥3,000
**小計	¥3,400
(内税)	¥161
個数	12個
現金	¥3,400

売上登録をするとき

■ つけで売るとき(掛け売り)

つけで売るときは、**現金/預り**のかわりに**掛売**を押します。売上をすべてつけで売るときは、預り操作はおこなわずに**掛売**を押します。
現金での支払いとは別に集計されます。

例 1,200円の商品（部門1、消費税内税対象）を売り、現金で1,000円受け取り、残りをつけにすると

登録 1 2 00 部門1	部門01	1,200
1 0 00 現金/預り	残額	200
(1,000円預り)		
掛売	掛	責任 1 200
(つけ(掛け)売り)		

レシート印字例

部門01	内¥1,200
**小計	¥1,200
(内税)	¥57
個数	1個
**合計	¥1,200
現金	¥1,000
掛	¥200

3. 訂正のしかた

売上登録をするとき

ここでは、まちがった売上登録をしてしまったときの訂正の操作方法を説明しています。訂正のタイミングによって次のように操作が異なります。

レシート印字例

部門01	内¥1,000
部門02	内¥2,000
部門03	非¥1,000
部門02	内¥2,500
**小計	¥6,500
(内税)	¥261
個数	4個
現金	¥6,500

数字を打ちまちがえたときは  を押します。

部門キーなどを押して、すぐに気付いたときは、  を押して取り消します。 **直前訂正**

登録の途中でまちがいに気付いたときは、取り消したい金額、 、部門キーを順に押して登録を相殺します。

指定訂正

現金/預りを押す前に、すべての内容を訂正するときは、  を押してから  を押します。 **全項目取消**

現金/預りを押してしまった後の訂正は、機能切りかえスイッチの位置を変更し、間違った登録をおこなって相殺します。 **取引後訂正**

数字を打ちまちがえたとき

 で数字を消し、正しい数字を入力しなおします。

登録の直後にまちがいに気付いたとき… **直前訂正**

部門キー、 、 、 、  を押してすぐに、その金額や部門、割引率、割増率、値引額などのまちがいに気付いたときは、  を押します。  を押す直前の登録が取り消されます。

例

1,250円の商品（部門1、消費税内税対象）を、誤って1,280円と登録したとき

     	部門01
(誤った登録)	1,280
	部門01 訂正
	-1,280
    	部門01
(正しい登録)	1,250
 	現金 責任1
	1,250

レシート印字例

部門01	内¥1,280
部門01	内訂-1,280
部門01	内¥1,250
**小計	¥1,250
(内税)	¥59
個数	1個
現金	¥1,250

登録の途中でまちがいに気付いたとき・・・ 指定訂正

部門の登録を訂正する

現金/預り 信用 券売 掛売 を押す前に金額や部門をまちがって登録したときは、取り消したい金額、、取り消したい部門キーと打ちなおしたあと、正しい登録をします。

例

1,250円の商品（部門1、消費税内税対象）と、800円の商品（部門1、消費税内税対象）を登録したあと、最初の登録を1,280円に訂正するとき

 1 2 5 0  部門01
1, 250

(誤った登録)

8 00  部門01
800

1 2 5 0   部門01 訂正
-1, 250

(誤った登録の訂正)

1 2 8 0  部門01
1, 280

(正しい登録)

小計 現金/預り 現金 責任1
2, 080

レシート印字例

部門01	内¥1,250
部門01	内¥800
部門01	内訂-1,250
部門01	内¥1,280
**小計	¥2,080
(内税)	¥99
個数	2個
現金	¥2,080

 Memo

返品登録途中でまちがいに気付いたときは、取り消したい金額、、、取り消したい部門の順に打ちなおしてください。

売上登録をするとき

PLUの登録を訂正する

プリセット登録のときは、PLU番号、、の順に打ちなおしてください。

オープン登録のときは、取り消したい金額、、PLU番号、、の順に打ちなおしてください。

例 PLU番号1（単価300円に設定）の商品とPLU番号71（単価500円に設定）の商品を登録したあと、最初の登録をPLU番号2（単価250円に設定）の商品に訂正するとき

			PLU0001	300
(誤った登録)				
			PLU0071	500
			PLU0001	訂正 -300
(誤った登録の訂正)				
			PLU0002	250
(正しい登録)				
			現金	責任 1 750

レシート印字例

PLU0001	内¥300
PLU0071	内¥500
PLU0001	内訂-300
PLU0002	内¥250
**小計	¥750
(内税)	¥35
個数	2個
現金	¥750

Memo PLUの返品登録を訂正するときは

・プリセット登録：PLU番号、、、の順に打ちなおしてください。

・オープン登録：取り消したい金額、、PLU番号、、、の順に打ちなおしてください。

登録した内容を取り消す…全項目取消

登録している内容をすべて取り消すときは、 を押して取引を終了させる前に、 を押してから を押します。

例 1,000円の商品（部門1）と、2,000円の商品（部門2）を登録したあと、すぐに取り消すとき

					部門01	1,000
					部門02	2,000
					**小計	3,000
					全て取消しました。責任 1	0
(訂正)						

レシート印字例

部門01	内¥1,000
部門02	内¥2,000
**小計	¥3,000
取消	-3,000
**合計	¥0

ご注意 1回の取引で200商品を超えて登録した場合は、取り消しできません。一度 を押して取引を終了させて、次項の「レシート発行後に取り消す」を参照して取り消してください。

■ レシート発行後に取り消す・・・取引後訂正

レシート発行後に登録を取り消すには、管理者鍵（MA）で機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置に合わせ、誤った内容を登録（登録を取り消）して、正しい登録を最初からやりなおします。

例

780円の商品（部門1）と、220円の商品（部門2）を登録しレシートを発行したあとに、登録を取り消すとき

- 1** 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置に合わせます。



表示部に「取引後訂正」と表示されます。

取引後訂正
0

- 2** 誤ったレシートの通りに打ち込みます。 誤ったレシート

部門01	内¥780	7	8	0	部門1
部門02	内¥220	2	2	0	部門2
**小計	¥1,000				
(内税)	¥47				
個数	2個				
現金	¥1,000	現金/預り			

取り消し後のレシートが印字されます。

機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置に合わせて登録したときに印字されます。

取り消し後のレシート

* 取引後訂正 *	
部門01	内¥780
部門02	内¥220
**小計	¥1,000
(内税)	¥47
個数	2個
現金	¥1,000

- 3** 機能切りかえスイッチを「登録」の位置に合わせます。



- 4** 正しい登録を最初からやりなおします。

Memo

- ・ 誤ったレシートと取り消し後のレシートは、取り消しの証拠になりますので、必ず保管しておき、点検・精算時のチェックに反映させてください。
- ・ レシート発行停止中の場合は、を押して誤ったレシートを発行しておくことで取り消しの確認ができます。

ご注意

機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置に合わせて登録をおこなうと、「登録」の位置での登録とは逆に、取り消しの操作になります。

POINT! 練習データを消去するとき(練習データクリア)

実際の登録の前に、レジスタの練習をおこなっている場合は、練習データをすべて消去することができます。



実際の売上データが消去されてしまいますので、登録を開始した後は、練習データクリアを絶対におこなわないでください。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「設定」の位置に合わせます。



- 2 ④ の順にキーを押します。
表示部に右のように表示されます。

全売上データがクリアされます
[確定]で実行[クリア]で中止

- 3 を押します。
全売上データが消去されます。

はじめてお使い いただくとき

ここでは、レジスタの設置や日付の登録など、お使いいただく前の準備作業について説明しています。

1. はじめてお使いになるとき
2. 各部の名前とはたらき
3. レジスタの1日の流れ

売上登録をするとき

ここでは、売上登録のしかたや登録の訂正のしかたなど、レジスタの基本的な操作方法を説明しています。

1. 基本的な使いかた
2. お店にあわせた使いかた
3. 訂正のしかた

売上の点検と精算を するとき

ここでは、売上の点検と精算の種類やその操作方法、営業記録の印字方法などを説明しています。

1. 営業中の売上の確認
2. 1日の売上の点検・精算
3. 期間集計の点検・精算
4. 営業記録の確認

各種設定をするとき

ここでは、レジスタを使ううえで必要な設定内容とその設定方法について説明しています。

1. 設定をする前に
2. 部門とPLUの設定
3. 機能キーの設定
4. 消費税の設定
5. 責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定
6. その他の設定

知っておいて いただきたいこと

ここでは、カスタマサポートツールやレジスタのメンテナンスについて説明しています。

1. カスタマサポートツールについて
2. SDメモリーカードについて
3. キーボードの取扱いについて
4. ロール紙の補充と交換
5. 引出しなどの取扱いについて

困ったときは

アフターサービスについて

付 録

1

売上の点検と精算をするとき

1. 営業中の売上の確認

ここでは、営業中の売上金額と目標金額の達成度をワンタッチで表示して確認する方法について説明しています。

営業中に売上を表示で確認する・・・ワンタッチ点検

営業中に、部門ごとの売上、総売上合計、引出し内の金額をワンタッチで表示できます。印字はされません。また、部門ごとの売上と総売上合計に目標金額を入力しておく、達成度グラフと目標達成率を表示させることができます。ワンタッチ点検をおこなっても設定内容や登録内容は変わりませんので、必要に応じて何回でも操作できます。

売上を確認する

部門ごとの売上、総売上合計、引出し内の金額を表示します。

1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「ワンタッチ点検」の位置に合わせます。



2 売上を確認します。

●総売上合計を確認する場合

小計

**総合計
127数 105,620
もう一度押すと達成度グラフ

●部門ごとの売上を確認する場合

部門1

～

部門20

部門01
36数 26,530
もう一度押すと達成度グラフ

●引出し内の金額を確認する場合

現金/預り

現金在高
138,620
[クリア]で終了

Memo 表示を元に戻すときは、[クリア]を押します。

3 [小計]または部門キーを押します。
達成度が表示されます。

達成度 現在 105,620
目標 0
[.]で変更 [クリア]で終了

Memo 目標金額がすでに設定されている場合は、手順3の手前で達成度がグラフで表示されます。

達成度 70%
もう一度押すと目標金額

4 [目標金額]の順にキーを押し、目標金額を設定します。

(例)150,000円に設定するとき

[.] [1] [5] [00] [00] [.]

**総合計
目標金額 0
数字[.]で変更

5 [クリア]を押して、終了します。

達成度 現在 105,620
目標 150,000
[.]で変更 [クリア]で終了

2.

売上の点検と精算をするとき

1日の売上の点検・精算

ここでは、1日の売上の点検・精算の操作方を説明しています。点検・精算の方法として次のものがありますが、**日計全項目 点検/精算**は1日の終わりに必ず実行して精算してください。精算をおこなわないと、次の日の売上に混ざってしまいます。

責任者別、全部門、PLU別、時間帯別の点検・精算は必要に応じて精算が必要な場合のみおこなってください。ただし必要と決めた場合は、それぞれの項目ごとに1日の終わりに必ず実行して精算してください。**日計全項目 点検/精算**を実行しても、その他の集計は自動的に精算されません。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ・項目別に売上を点検・精算する | 日計全項目 点検/精算 (必須) |
| ・責任者別に売上を点検・精算する | 責任者別 点検/精算 |
| ・部門別に売上を点検する | 全部門 点検 |
| ・PLU別に売上を点検・精算する | PLU別 点検/精算 |
| ・時間帯別に売上を点検・精算する | 時間帯別 点検/精算 |

POINT! 点検と精算について

点検とは

店の売上を集計して表示や点検レポート（印字）で確認することを点検と呼びます。点検は当日の精算をおこなうまで1日に何回でもできます。たとえば、12時に点検をおこなえば午前中の売上が確認できます。また、閉店後、精算する前に点検レポートで売上にまちがいがいなか確認することができます。

精算とは

毎日の閉店後にその日の取引がすべて終了したら、精算をおこないます。精算は1日に1回しかできません。精算をおこなうと、精算レポートを印字したあと、レジスタに記憶されている当日の取引内容を消去してゼロにします。ただし、累計と精算回数はクリアされません。

ご注意 ⚠ 1日の終わりには、必ず精算をしてください。1日の売上の精算は、「日計全項目」の精算でおこないます。精算をしないと、次の日の売上に混ざってしまいます。

Memo

- ・PLU別の点検/精算レポートの印字中に機能切りかえスイッチを「ワンタッチ点検」の位置に合わせると印字を止めることができます。精算時に印字を中断したとき、売上は消去されずメモリーに残ります。
- ・連続して長い行数を印字すると、途中で数秒間印字が停止することがあります。印字停止中は、「印字処理中」と「→」が表示され、その後印字が再開します。
- ・点検レポート印字中は「点検中」、精算レポート印字中は「精算中」と表示部に表示されます。
- ・レポート印字操作のキーを押すと、引出しが開きます。

項目別に売上を点検・精算する…

日計全項目 点検/精算

部門や項目別に登録内容を集計してレポートで確認できます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検1/精算1」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

●点検レポートを印字する場合 ☐ 現金/預り (引出しが開きます。)

●精算レポートを印字する場合 ☒ 現金/預り (引出しが開きます。)

レポート印字例

精算1		点検のときは「点検1」と印字
Z1 0002		精算回数 点検では
累計 ¥0,000,000,373,672		累計合計 印字しません
* 部 門 *		
部01	40数	
部門01	¥90,050	
部02	25数	
部門02	¥74,170	
部03	8数	
部門03	¥25,700	
部04	4数	
部門04	¥45,100	
部05	1数	
部門05	¥50,000	
部06	1数	
部門06	¥5,600	
部07	2数	
部門07	¥42,550	
部08	1数	
部門08	¥2,000	
部09	1数	
部門09	¥35,000	
*部門計	83数	
	¥370,170	①プラス部門合計
部10	1数	
部門10	-1,000	
一部門計	1数	
	-1,000	②マイナス部門合計
* 取 引 *		
(-)	1数	③小計値引の回数と合計金額
%1	-300	④小計割引/割増の回数と合計金額
%2	-250	⑤小計割引/割増の回数と合計金額
	2数	
	-1,500	
**売上計		⑥売上小計
¥367,120		①+②+③+④+⑤
外税小計	¥91,460	⑦外税1課税売上合計
外税	¥4,572	⑧外税額1合計
内税小計	¥247,060	⑨内税1課税売上合計
(内税)	¥11,750	⑩内税額1合計
消費税計	¥17,130	⑪消費税額合計
非課税計	¥16,700	⑧+⑩+(⑫+⑬)
端数丸め	¥11	⑬消費税非課税売上合計
**純計	¥355,042	⑭端数調整額合計
売上点数	84数	⑮税抜き純売上合計
**総合計	¥372,172	⑥-⑩-(⑬+⑭)
平均単価	¥4,431	⑯総売上点数
		⑰総売上合計
		⑥+⑧+(⑫+⑬)
		⑱平均売上単価
(一)		
2数	⑳個々の商品に対する値引の回数と合計金額	
-90		
%1	2数	㉑個々の商品に対する割引/割増の回数と合計金額
-230	1数	
%2	-40	㉒個々の商品に対する割引/割増の回数と合計金額
戻品	1数	
訂正	¥780	㉓返品登録の回数と合計金額
	4数	
取引後訂正	¥41,800	㉔直前訂正、指定訂正の回数と合計金額
取消	¥3,000	
	1数	
	¥6,030	㉕取引後訂正の回数と合計金額
入金	1数	㉖全項目取消回数と合計金額
釣銭準備金	¥3,000	
支払	1数	㉗入金の回数と合計金額
売上回収金	¥30,000	㉘釣り銭準備金の回数と合計金額
	1数	
	¥5,500	㉙支払の回数と合計金額
	1数	
	¥100,000	㉚売上回収金の回数と合計金額
現金	35数	㉛現金売りの回数と合計金額
券	¥354,322	㉜券売りの回数と合計金額
信用	3数	㉝信用売りの回数と合計金額
掛	¥10,500	
	2数	
	¥6,050	㉞つけ売り(掛け売り)の回数と合計金額
	3数	
	¥3,300	㉟領収証の発行回数と発行合計金額
領収証	3数	
印紙領収	¥88,500	㊱収入印紙貼付の領収証発行回数と発行合計金額
	2数	
	¥85,000	
両替	1数	㊲両替の回数
万券	6数	㊳1万円札の枚数
取引数	42数	㊴取引件数
現金在高	¥279,822	㊵現金在高
券在高	¥10,500	㊶券在高
信/掛 在高	¥9,350	㊷信用在高+掛在高
信/券 釣	¥2,000	㊸信用/掛け売りによるつり銭の合計金額
*消費税2を使用しているとき印字されます		
外2小計	¥6,700	㊹外税2課税売上合計
外税2	¥469	㊺外税額2合計
内2小計	¥5,200	㊻内税2課税売上合計
(内税2)	¥339	㊼内税額2合計

■ 責任者別に売上を点検・精算する…

責任者別 点検/精算

責任者別に登録内容を集計してレポートで確認できます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検1/精算1」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

- 点検レポートを印字する場合

 (引出しが開きます。)

- 精算レポートを印字する場合

  (引出しが開きます。)

 責任者の登録内容を個別に印字する
任意の責任者番号(1～4)を入力してから、該当のキーを押します。
(例)  () 

レポート印字例

精算1		
* 責任者 *		
責任1	田中	責任者名
売上点数	295数	売上点数
取引数	50数	取引件数
**総合計	¥260,163	売上合計
責任2		責任者番号
売上点数	10数	
取引数	2数	
**総合計	¥5,800	

**合計		
売上点数	819数	全責任者の合計
取引数	59数	
**総合計	¥272,163	

■ 部門別に売上を点検する…

全部門 点検

部門別に登録内容を集計してレポートで確認できます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検1/精算1」の位置に合わせます。



- 2 レポートを印字します。

- 点検レポートを印字する場合

 (引出しが開きます。)

レポート印字例

点検1		
* 部 門 *		
部01	251数	部門番号
部門01	¥111,822	部門名
部02	7数	売上点数
部門02	¥48,850	売上金額
部03	11数	
部門03	¥39,220	

部07	6数	
部門07	¥4,800	
*部門計	277数	プラス部門合計
	¥253,052	

部08	3数	
部門08	-1,500	
-部門計	3数	マイナス部門合計
	-1,500	

PLU別に売上を点検・精算する…

PLU別 点検/精算

PLU別に登録内容を集計してレポートで確認できます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検1/精算1」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

- 点検レポートを印字する場合

(引出しが開きます。)

- 精算レポートを印字する場合

(引出しが開きます。)

Memo 範囲を指定してPLUの点検/精算をする
任意のPLU開始番号を入力し(⊙)を押して、任意のPLU終了番号を入力し、該当の操作キーを押します。

(例)

1つのPLUの点検/精算をする

任意のPLU番号を入力し(⊙)を押して、該当の操作キーを押します。

(例)

レポート印字例

精算1		点検のときは「点検1」と印字
* PLU *	0001-1000	PLUの点検/精算範囲
P0001	23数	PLU番号
PLU0001	¥6,900	PLU名
P0002	1数	売上点数
PLU0002	¥250	売上金額
P0003	7数	
PLU0003	¥3,272	
P0004	1数	
PLU0004	¥720	
P0005	6数	
PLU0005	¥6,000	
**合計		
	80数	
	¥36,942	PLU売上合計

時間帯別に売上を点検・精算する…

時間帯別 点検/精算

前回、時間帯別売上高を精算してからの1時間ごとの売上集計を、レポートで確認できます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検1/精算1」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

- 点検レポートを印字する場合

(引出しが開きます。)

- 精算レポートを印字する場合

(引出しが開きます。)

ご注意 ・時間帯別 点検/精算レポートには、「取引後訂正」(E39ページ)で登録した内容は減算されません。
・前回、時間帯別売上高の精算をおこなってから24時間以上経過しているときは、時間帯別 点検レポートには、前日の同じ時間帯の売上が加算されます。

レポート印字例

精算1		点検のときは「点検1」と印字
* 時間帯 *		時間帯
10:00	5数	取引件数
売上点数	11数	売上点数
**総合計	¥4,140	売上金額
平均客単価	¥828	平均売上金額
11:00	7数	
売上点数	16数	
**総合計	¥6,370	
平均客単価	¥910	
18:00		
売上点数	6数	
**総合計	¥4,520	
平均客単価	¥753	

3. 期間集計の点検・精算

売上の点検と精算をするとき

ここでは、2種類の期間集計の点検と精算について説明しています。

■ 期間集計のしかた

1日の売上の点検・精算とは別に、1週間や1カ月といった期間の売上を集計して点検・精算レポートで確認することができます。期間集計の点検・精算レポートは、期間集計の精算から次の精算までの期間が売上集計の対象になります。期間集計のレポートには大きく分けて次の2種類があります。

- ・ 期間集計1：毎日の売上の点検・精算レポートと同じ印字形式で、ある期間（たとえば1週間）の売上高を集計したレポート
- ・ 期間集計2：毎日の売上の点検・精算レポートと同じ印字形式で、期間集計1とは異なる期間（たとえば1カ月）の売上高を集計したレポート

POINT! 期間集計の考えかた

お店に合わせて、集計の期間を決めます。たとえば、期間集計1は1カ月の売上高を集計、期間集計2は1週間の売上高を集計したレポートとします。

期間集計をするには、毎日、売上精算をしてください。たとえば、4月1日から4月30日までの売上高を集計したいときは、毎日、売上の精算をおこない、最終日の30日に期間集計をおこないます。

	30 土	31 日	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	...	...	...	31 水
日計全項目(毎日)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	...	...	...	実施
期間集計1(1週間)	→	実施	←						実施	←		←	実施	←
期間集計2(1カ月)	→	実施	←											



30日に期間集計をするとした場合、30日は1日の売上の精算を終えた後に期間集計を実行します。1日の売上の精算をおこなわなければ、30日の売上加算されません。



- ・ 期間集計1、2の点検レポートは、何度でも印字して確認できます。
- ・ 集計期間を印字するには、「集計レポート印字の設定」(P.102ページ)で設定を変更してください。
- ・ 点検または精算をおこなうと引出しが開きます。
- ・ 印字中は、「点検中」または「精算中」と表示されます。
- ・ 全項目精算以外のレポートの期間集計をするときも、上記例と同じようにおこないます。

■ 期間集計1をする

前回、期間集計1の精算をおこなってから、今回操作するまでの集計（ある期間分の登録の明細）がレポートで印字されます。集計期間は、「集計レポート印字の設定」（P102ページ）で集計期間印字をするにした場合に印字されます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検2/精算2」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

- 部門別点検レポートを印字する場合



- PLU別点検レポートを印字する場合



- PLU別精算レポートを印字する場合



46ページと同じ操作方法で範囲指定ができます。

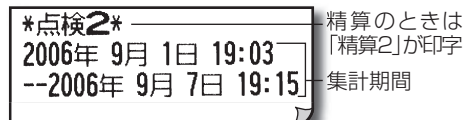
- 全項目点検レポートを印字する場合



- 全項目精算レポートを印字する場合

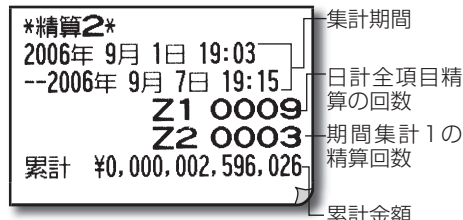


全項目精算レポート以外のレポート



これ以降のレポートの内容は、毎日の売上の点検/精算レポートと同じです。（P44～46ページ）

全項目精算レポート



これ以降のレポートの内容は、日計全項目のレポートと同じです。（P44ページ）

■ 期間集計2をする

前回、期間集計2の全項目精算をおこなってから、今回操作するまでの集計がレポートで印字されます。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検2/精算2」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

- 部門別点検レポートを印字する場合



- 全項目点検レポートを印字する場合



- 全項目精算レポートを印字する場合

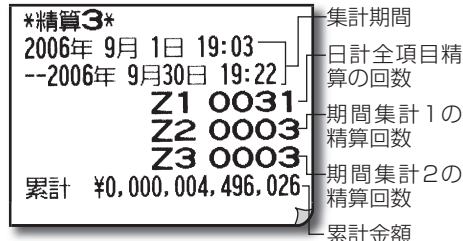


全項目精算レポート以外のレポート



これ以降のレポートの内容は、毎日の売上の点検/精算レポートと同じです。（P44～45ページ）

全項目精算レポート



これ以降のレポートの内容は、日計全項目のレポートと同じです。（P44ページ）

4. 営業記録の確認

売上の点検と精算をするとき

営業記録はジャーナルとも呼ばれ、レジスタ内のメモリーに5000行分まで記憶され、後で印字することができます（電子ジャーナルの発行）。

■ 営業記録を印字する(電子ジャーナルの発行)

営業記録の点検をおこなってもメモリー内の記録は残るため、レポートをくりかえし印字することができます。

精算をおこなうと、営業記録はメモリーから消去されます。通常、1日の売上を精算した後、あわせて営業記録も精算してメモリーから消去してください。

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを「点検1/精算1」または「時刻」の位置に合わせます。



- 2 任意のレポートを印字します。

- 営業記録の点検レポートを印字する場合

⑦ ②② ⊗ 現金/預り

- 最後から10取引分の点検レポートを印字する場合

⑦ ① 0 ⊗ 現金/預り

- 日付を指定して営業記録の点検レポートを印字する場合

⑦ ② 0 ⊗ ② ②② ⑥ ① ① ⑤

現金/預り

年(4桁) 月(2桁) 日(2桁)



ご注意 精算をおこないメモリーから消去されている日付の営業記録は、「日付を指定して営業記録の点検レポートを印字する場合」の操作をおこなっても印字されません。

- 営業記録の精算レポートを印字する場合

⑦ ②② ⊙ ⊗ 現金/預り

ジャーナル印字例

```
*点検 *
* ジャーナル *
2006年 1月15日 16:49 1
000123#0145 田中
PLU0001 内¥300
PLU0002 内¥250
部門01 内¥800
**小計 ¥1,350
(内税) ¥64
個数 3個
現金 ¥1,350
```

```
2006年 1月15日 16:54 1
000123#0148 田中
300x 5
PLU0001 内¥1,500
部門07 内¥800
部門07 内¥800
**小計 ¥3,100
(一) -100
**小計 ¥3,000
(内税) ¥142
個数 7個
現金 ¥3,000
* 記録終了 *
```

印字行数+1
行(管理行)



- ・メモリーでは1件の取引ごとに、実際の印字行数+1行(管理行)を使用します。
- ・印字中に機能切りかえスイッチを「ワンタッチ点検」の位置に合わせると印字を止めることができます。
- ・精算時に印字を中断したときは、営業記録は消去されずメモリーに残ります。
- ・連続して長い行数を印字すると、途中で数秒間印字が停止することがあります。印字停止中は「印字処理中」と「→」が表示され、その後印字が再開します。
- ・点検レポート印字中は「点検中」、集計レポート印字中は「精算中」と表示されます。
- ・売上の点検・精算レポートの、レポートのタイトルのみ印字します。

売上の点検と精算をするとき

▶ メモリーに保存しきれなくなった時の動作について

メモリーに保存しきれなくなったとき(メモリーフル時)の動作は、以下の3種類から選ぶことができます。設定方法については「電子ジャーナルの設定」(P.102ページ)を参照してください。

- ・ 無視する :メモリーの残りがなくなると、古いデータから削除します。警告表示はしません。
- ・ 警告のみ :メモリーの残りが10%以下になると、「電子ジャーナル残り少」を表示します。メモリーの残りがなくなると、「電子ジャーナル残なし」を表示します。その後の登録は可能です。
- ・ ロック :メモリーの残りが10%以下になると、「電子ジャーナル残り少」を表示します。メモリーの残りがなくなると、エラーとなり「電子ジャーナル残なし」を表示します。続けて登録ができなくなりますので、丁度締めか取消の操作をおこなった後、営業記録を精算してください。

はじめてお使い いただくとき

ここでは、レジスタの設置や日付の登録など、お使いいただく前の準備作業について説明しています。

1. はじめてお使いになるとき
2. 各部の名前とはたらき
3. レジスタの1日の流れ

売上登録をするとき

ここでは、売上登録のしかたや登録の訂正のしかたなど、レジスタの基本的な操作方法を説明しています。

1. 基本的な使いかた
2. お店にあわせた使いかた
3. 訂正のしかた

売上の点検と精算をするとき

ここでは、売上の点検と精算の種類やその操作方法、営業記録の印字方法などを説明しています。

1. 営業中の売上の確認
2. 1日の売上の点検・精算
3. 期間集計の点検・精算
4. 営業記録の確認

各種設定をするとき

ここでは、レジスタを使ううえで必要な設定内容とその設定方法について説明しています。

1. 設定をする前に
2. 部門とPLUの設定
3. 機能キーの設定
4. 消費税の設定
5. 責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定
6. その他の設定

知っておいて いただきたいこと

ここでは、カスタマサポートツールやレジスタのメンテナンスについて説明しています。

1. カスタマサポートツールについて
2. SDメモリーカードについて
3. キーボードの取扱いについて
4. ロール紙の補充と交換
5. 引出しなどの取扱いについて

困ったときは

アフターサービスについて

付 録

1. 設定をする前に

ここでは、各種設定をする設定モードで使用するキーの確認と、操作メニューについて説明しています。

■ 設定のための基本操作

本書では、ご購入時の設定内容(初期値)に□をつけて説明しています。このままの設定でご使用になる場合は、設定しなおす必要はありません。

例

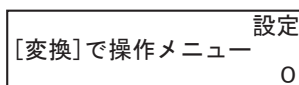
10 課税方法を設定します。

	1	確定 入金
初期値	非課税	1
	外税	2
	内税	3

各種設定をするときは、機能切りかえスイッチを「設定」の位置に合わせます。



表示部に「設定」と表示され設定モードに入ったことがわかります。



設定モードでは、操作メニューを使って設定操作や設定内容印字をおこないます。



ご注意 設定を終了せずに、機能切りかえスイッチを「設定」以外の位置に合わせても、キー操作・表示ともに設定中の状態のままです。機能切りかえスイッチを「設定」に戻して、設定を終了させてから次の操作をおこなってください。



Memo はじめに設定内容を印字（[P.59](#)ページ）すると、現在の設定内容を確認してから各種設定をおこなうことができます。

▶ 設定モードで使用するキーについて

設定モードではキーの左上に印刷されている文字のキーとして機能します。

設定モードでのキーのはたらき（文字設定中を除く）

- :メニュー画面を次の画面に切りかえます。
- :メニュー画面を前の画面に戻します。
- :表示されているメニュー画面の設定に入るとき、設定内容を確定させるときに使います。
- :最初の画面に戻ります。

▶ 設定モードの操作 (操作メニューの切りかえ)

設定モードの操作メニューは、下の例のようにおもに $\boxed{\text{変換}}\%$ $\boxed{\text{入金}}\%$ のキーを使って操作します。このキー操作によるメニューの移動については下記の「操作メニューの構成」を参照してください。

例

「部門設定メニュー」を表示する

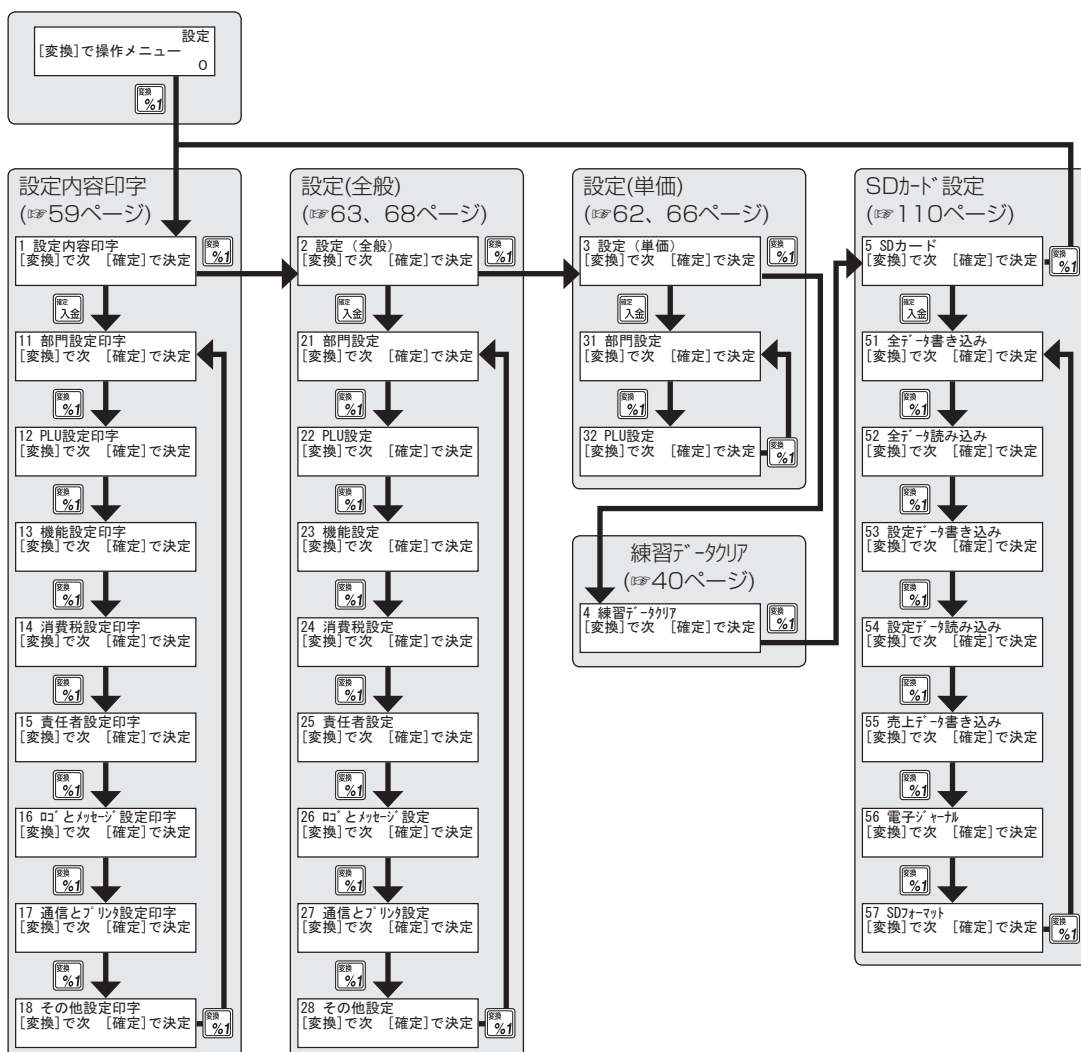
- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチの位置を「設定」に合わせます。
設定モードの最初のメニューが表示されます。

設定
[変換]で操作メニュー
0

- 2 $\boxed{\text{変換}}\%$ $\boxed{\text{入金}}\%$ の順にキーを押します。
部門設定メニューが表示されます。

21 部門設定
[変換]で次 [確定]で決定

▶ 操作メニューの構成



- ・ $\boxed{\text{変換}}\%$ を押すと次の画面へ進み、 $\boxed{\text{戻り}}\%$ を押すと前の画面へ戻ります。
- ・メニュー画面を移動している間は、 $\boxed{\text{リターン}}\%$ で設定モードの最初のメニュー画面へ戻ります。
- ・ $\boxed{\text{リターン}}\%$ が使えない場合は、 $\boxed{\text{強制解除}}\%$ を押して設定を中止してください。

▶ 各設定へのショートカットについて

設定番号を直接入力して、各メニュー設定操作画面へ進むこともできます。部門設定では、項目名の前に付いている「21」が設定番号になります。本書では、おもにこの設定番号を使った操作のしかたで説明しています。

例 「部門設定メニュー」を表示する

- 1 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチの位置を「設定」に合わせます。
設定モードの最初のメニューが表示されます。

設定
[変換]で操作メニュー
0

- 2 ② ① ②%の順にキーを押します。
部門設定メニューが表示されます。

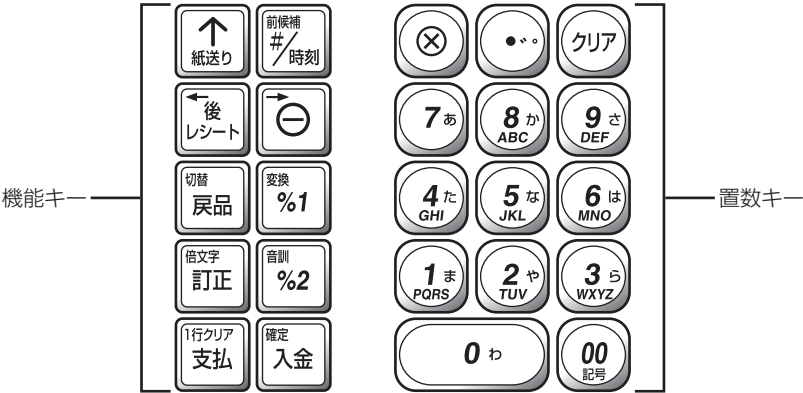
21 部門設定
[変換]で次 [確定]で決定

■ 文字の入力方法

部門名やコマーシャルメッセージなどの設定には、レジスタのキーを組み合わせせて文字を入力します。ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号は、キーボードから直接、入力できます。漢字については、かな漢字変換機能を使って入力する方法と、区点コードを置数して入力する方法があります。

▶ 文字入力用キーについて

おもにキーボードの置数キーを使って文字を入力します。1つのキーを繰り返し押すことで、文字を切りかえる携帯電話の文字入力に似た方式で入力します。入力文字の切替や、漢字変換、確定などは機能キーを使って行います。



▶ 文字入力に使う機能キーについて

キー左上の名称のキーとなります。

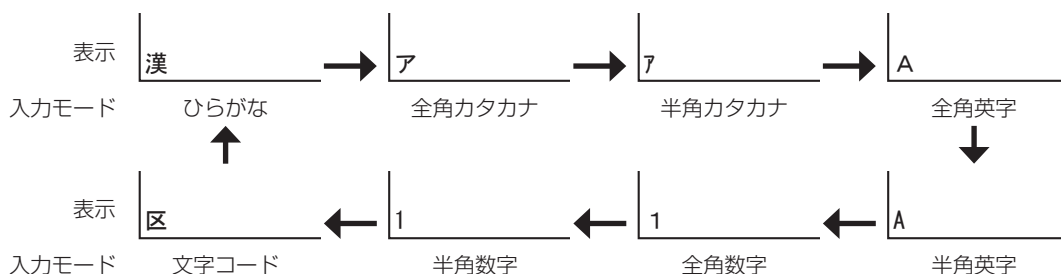
機能キー	名称	キーのはたらき
	切替キー	入力できる文字を切りかえます。 押すごとに、ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナ→全角英字→半角英字→全角数字→半角数字→文字コード、と入力モードが切りかわります。
	倍文字キー	文字幅を2倍にします。 キーを押すたびに、倍文字入力状態と通常入力状態が切りかえられます。倍文字入力状態のときは、入力モード表示の文字幅が2倍で表示されます。

機能キー	名称	キーのはたらき
	1行クリアキー	入力中および確定後の文字列すべてを削除します
	クリアキー	現在カーソルがある文字を削除します。 変換候補表示中は、変換前の状態に戻ります。 カーソルが文字列の最後にあるときは、文字列の最後の文字を削除します。
	カーソルキー	カーソルを一文字前後に移動します。 カーソルが文字列の最後にあるときは、でスペース入力になります。
	変換キー	熟語や文節をまとめて変換できます（かな漢字変換）。 変換候補表示中に押すと、次候補を表示します。 かな漢字変換で候補に表示されない漢字は、音訓変換を使用してください。
	音訓キー	漢字一文字の音読みまたは訓読みから変換候補を表示します（音訓変換）（単漢字変換）。 変換候補表示中に押すと、次候補を表示します。 かな漢字変換よりも変換できる漢字の候補が増えます。
	前候補キー	変換候補表示中に、前の候補を表示します。
	確定キー	入力内容や変換結果を確定します。

▶ 入力できる文字の切りかえ

キーを押すごとに、入力できる文字の種類が順番に切りかえられます。左下に現在選択されている入力モードが表示されます。

部門01
文字[変換][確定]
漢



▶ 文字入力のしかた

それぞれの入力モードで、該当するキーを押すたびに下表の順に文字を表示します。

	入力モード		
	ひらがな・カタカナ	英字	数字
	あいうえおあいうえお	(スペース)	7
	かきくけこカケ (カケ:全角カタカナモード時のみ)	ABCabc	8
	さしすせそ	DEFdef	9
	たちつてとっ	GHIghi	4
	なにぬねの	JKLjkl	5
	はひふへほ	MNOmno	6

	入力モード		
	ひらがな・カタカナ	英字	数字
	まみむめも	PQRSpqrs	1
	やゆよやゆよ	TUVtuv	2
	らりるれろ	WXYZwxy	3
	わをんー、。	..	0
	(全角) ！？／：；～・＆％￥\$＊＃-+=()「」□<>@_〒、。．． (スペース) (半角) !?/:.-&%¥\$*#-+=()「」□<>@_〒、。.. (スペース)		
	。 。	(スペース)	(スペース)

濁音、半濁音の入力

文字を入力したあとに「 ° | キーを押します。

例

「ぐ」を入力するとき



表示 か き く く

長音（一）の入力

「わ」キーを押して入力します。

例

「一」を入力するとき



表示 わ を ん —

数字の入力

キーを押して数字入力モードに切りかえてから、**0** ~ **9**の置数キーを押します。

文字幅を2倍にするとき（倍文字）

を押してから、該当する文字を入力します。もう一度を押すまで続けて入力できます。

同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するとき

を押して、カーソルを1文字右へ移動させてから、次の文字を入力します。

例

「あい」を入力するとき



表示 あ あ い

文字の修正

すでに設定している文字を修正するときは、次のキーを使って変更します。

- ・新しい文字に変更するとき: で前の文字を消してから入力してください。
- ・設定中に入力した文字を修正するとき: でカーソル位置の文字を1文字ずつ消してから、入力しなおしてください。
- ・最後にカーソル位置があるとき: カーソル位置の前の文字が消去されます。 (カーソルキー) でカーソル位置を移動してから、 で消すこともできます。
- ・設定中に取り消したいとき: を2回押してください。

ECR文字コード・区点コードでの文字入力

漢字変換で変換されない漢字や特殊な記号などは3桁のECR文字コードまたは4桁の区点コードを置数キーとを使って入力します。を使って区点コード入力モードに切り替えてからコードを入力してください。倍文字モードのときは、それぞれの文字サイズが横に2倍になります。入力できる文字については、「ECR文字コード表」(P130ページ)・「区点コード表」(P131ページ)を参照してください。

ECR文字コードの入力：(半角文字サイズ)

例

「A」を入力するとき

(ECR文字コード「A」)

区点コードの入力：(全角文字サイズ)

例

「菓」を入力するとき

(区点コード「菓」)

文字の設定例

例

部門3の部門名を「鉛筆B」に変更するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定モードを選択します。

21 部門設定
[変換]で次 [確定]で決定

で次の画面へ

3 部門番号を入力します。

部門番号	01
数字[確定]	3

部門番号:1~20

で次の画面へ

4	1行目の文字(初期値)をすべて消します。 「部門03」が消去されます。	1行クリア 支払	部03 文字[変換][確定] 漢
5	「えんぴつ」と入力します。	え: 7あ 7あ 7あ 7あ ん: 0ろ 0ろ 0ろ ひ: 6は 6は MNO MNO °: ・ ・ ・ ・ つ: 4た 4た 4た GHI GHI GHI	部03 文字[変換][確定] 漢 えんぴつ
6	漢字に変換します。	変換 %1	部03 文字[変換][確定] 漢 鉛筆
7	変換した文字を確定します。 文字が1行目に表示されます。	確定 入金	部03 鉛筆 文字[変換][確定] 漢
8	入力モードを変更します。 全角英文字に切りかわります。	切替 戻品 切替 戻品 切替 戻品	部03 鉛筆 文字[変換][確定] A
9	「B」と入力します。	8か ABC 8か ABC	部03 鉛筆 文字[変換][確定] A B
10	入力した文字を確定します。 文字が1行目に表示されます。	確定 入金	部03 鉛筆B 文字[変換][確定] A
	「鉛筆B」を確定します。 次の設定項目である「符号」が表示 されます。	確定 入金	符号 プラス [1]プラス[2]マイナス 部03
11	設定を終了します。 設定した内容を印字したレシートが 出て、設定モードの最初の画面に戻 ります。	小計 現金/預り	設定 [変換]で操作メニュー 0

■ 設定内容を印字する

設定内容を印字するには、メニューから選択して印字する方法と、項目番号を指定して印字する方法の2種類があります。



- ・ PLU設定の印字は印字中に機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置に合わせると印字を止めることができます。
- ・ 連続して長い行数を印字すると、途中で数秒間印字が停止することがあります。印字停止中は、表示部に「印字処理中」と「→」が表示され、その後印字が再開します。

▶ メニューから選択して印字する

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定内容印字の画面を表示します。



1 設定内容印字
[変換]で次 [確定]で決定



で次の画面へ

3 印字する項目を選択します。

を押すごとに、下記の印字項目が順に表示されます。



(任意の回数)

- ・ 11 部門設定印字(※60ページ)
- ・ 12 PLU設定印字(※60ページ)
- ・ 13 機能設定印字(※60ページ)
- ・ 14 消費税設定印字(※61ページ)
- ・ 15 責任者設定印字(※61ページ)
- ・ 16 ログとメッセージ設定印字
(※61ページ)
- ・ 17 通信とプリンタ設定印字
(※61ページ)
- ・ 18 その他設定印字(※61ページ)

11 部門設定印字
[変換]で次 [確定]で決定

⋮

18 その他設定印字
[変換]で次 [確定]で決定

4 印字を開始します。



- ・ 「12 PLU設定印字」をおこなうときは、を押した後、「開始PLU番号」「終了PLU番号」のキー操作が必要となります。
- ・ 項目番号を入力し、印字することも可能です。次ページからは、この方法での設定内容の印字を説明しています。

●部門設定の印字例



* 設定 *		部門番号
11 部門設定印字		
部門	部門01	部門名
符号	7*7	
単価	0	
税種	消費税1	
課税方法	内税	
登録方法	7*7	
桁数制限	7桁	
現金単品売り	しない	
部02 部門02		
符号	7*7	
単価	0	
税種	消費税1	
課税方法	内税	
登録方法	7*7	
桁数制限	7桁	
現金単品売り	しない	
部03 部門03		

●PLU設定の印字例



* 設定 *		PLUの指定範囲
12 PLU設定印字		
PLU	0001-0020	
PLU0001	01	PLU名
所属部門	300	PLU番号
単価	7*7	
登録方法	7*7	
P0002 PLU0002		
所属部門	01	
単価	250	
登録方法	7*7	
P0003 PLU0003		
所属部門	01	
単価	0	
登録方法	7*7	
P0004 PLU0004		

●機能設定の印字例



* 設定 *		機能名	機能番号
13 機能設定印字			
F01	(-)		
符号	7*7		
値引額	-0		
課税対象	消費税1&2		
課税方法	内税&外税		
単品に対して	可能		
小計に対して	可能		
桁数制限	7桁		
F02	%1		
符号	7*7		
割引/割増率	-0.00%		
課税対象	消費税1&2		
課税方法	内税&外税		
単品に対して	可能		
小計に対して	可能		
%率制限	100.00%		
F03	%2		
符号	7*7		
割引/割増率	-0.00%		
課税対象	消費税1&2		
課税方法	内税&外税		
単品に対して	可能		
小計に対して	可能		
%率制限	100.00%		
F04	入金		
桁数制限	8桁		
F05	釣銭準備金		
桁数制限	8桁		
F06	支払		
桁数制限	8桁		
F07	売上回収金		
桁数制限	8桁		
F08	現金		
預かり入力	非強制		
7*7印字	なし		
桁数制限	8桁		
F09	券		
預かり入力	非強制		
7*7印字	なし		
桁数制限	8桁		
F10	信用		
預かり入力	非強制		
7*7印字	なし		
桁数制限	8桁		
F11	掛		
預かり入力	禁止		
7*7印字	なし		
桁数制限	8桁		
F12	ポイント		
単位金額	0		
ポイント数	0		
最低購入金額	0		

F13 **売上計
F14 外税小計
F15 外税
F16 内税小計
F17 (内税)
F18 外2小計
F19 外税2
F20 内2小計
F21 (内税2)
F22 消費税計
F23 非課税計
F24 端数丸め
F25 **純計
F26 売上点数
F27 **総合計
F28 平均単価
F29 良品
F30 訂正
F31 取引後訂正
F32 取消
F33 領収証
F34 印紙領収
F35 両替
F36 万券→両替
F37 万券←両替
F38 万券
F39 取引数
F40 現金在高
F41 券在高
F42 信/掛 在高
F43 信/券 約
F44 *部門計
F45 一部門計
F46 平均客単価
F47 数
F48 **小計
F49 **合計
F50 おつり
F51 残額
F52 個数
F53 個
F54 日付と時間
F55 予約券
F56 予約券
F57 取引後訂正
F58 コピー
F59 領収証控
F60 部 門
F61 P L U
F62 取 引
F63 責任者
F64 時間帯
F65 ジャーナル
F66 記録終了

●消費税設定の印字例

1 4 変換 %1 確定 入金

* 設定 *

14 消費税設定印字

端数処理

内税 切り捨て

外税 切り捨て

登録印字

外税記号印字 しない

内税記号印字 する

非課税記号印字 する

外課税小計印字 する

内課税小計印字 しない

内税額印字 する

消費税1

税率 5.0000%

免税点 0

消費税2

税率 0.0000%

免税点 0

更新予約

日付 0000年 0月 0日

タイミング 日付更新後

更新消費税1

税率 0.0000%

免税点 0

更新消費税2

税率 0.0000%

免税点 0

●ロゴとメッセージ設定の印字例

1 6 変換 %1 確定 入金

* 設定 *

16 ロゴとメッセージ設定印字

店名ロゴ

お買上票

毎度ありがとうございます

メッセージ1

またの御来店を
お待ちしております

ありがとうございます

メッセージ2

領収証ロゴ

大阪市阿倍野区長池町
和菓子のお店

予約券メッセージ

様

次回のご予約は下記の日時
となっております。

ギフト券メッセージ

1ギフト1円で値引します。
次回レジから切り離さず
にお出ください。

●その他設定の印字例

1 8 変換 %1 確定 入金

* 設定 *

18 その他設定印字

日付時刻と番号

日付 2006年 1月15日

時刻 12:32

レジ番号 000123

一連番号 0036

登録モード制限

直前訂正 可能

指定訂正 可能

全項目取消 可能

良品登録 可能

入金/釣銭準備金 可能

支払/売上回収金 可能

両替 可能

登録機能

小数数量 なし

100円未満処理 0000

印字形式全般

通常印字形式 レシート

登録/訂正モード 通常

設定/点検/精算 通常

日付印字 する

時刻印字 する

一連番号印字 する

レジ/レジ

レジ/レジ 全レシート

レジ印字 全レシート

店名ロゴ選択 お買上票

店名ロゴ印字 レジ

メッセージ1印字 レジ

メッセージ2印字 なし

登録印字形式

登録レシート印字 明細

事後レシート 明細

現金単品売り 明細

単価0のPLU 残高のみ

小計キーで印字 しない

売上点数印字 する

合計前紙送り しない

印紙貼付け しない

印紙金額 30,000

領収証

領収証ロゴ 領収証ロゴ

領収証控え あり

任意額内税印字 しない

領収証番号 0000

印紙金額 30,000

集計レシート印字

PLUオフスキップ する

レジオフスキップ する

集計期間印字 しない

電子ジャーナル

印字形式 通常

7/8時の動作 無視

省電力

省電力時間 30分

時計表示中 有効

SDカード

自動バックアップ しない

●責任者設定の印字例

1 5 変換 %1 確定 入金

* 設定 *

15 責任者設定印字

責任1 田中

責任2

責任3

責任4

責任者名

責任者番号

●通信とプリンタ設定の印字例

1 7 変換 %1 確定 入金

* 設定 *

17 通信とプリンタ設定印字

通信

タイムアウト 7秒

プリンタ

濃度 50

プリンタ

10 : 0123456789AB

20 : 0123456789AB

30 : 0123456789AB

40 : 0123456789AB

50 : 0123456789AB

60 : 0123456789AB

70 : 0123456789AB

80 : 0123456789AB

90 : 0123456789AB

現在の印字濃度設定

印字濃度の見本

標準印字濃度

2. 部門とPLUの設定

各種設定をするとき

■ 部門キーへの単価設定【設定番号31】

部門キーに単価を設定すると、部門キーを押すだけでその単価の商品を登録できます（プリセット登録）。売れ筋商品の単価などを設定しておく、金額の入力を省略できて便利です。
同時に単価以外の設定もおこなうときは、「部門の詳細設定」（P63ページ）を参照してください。

Memo

例の手順4のキー操作について

- ・ を押す前の数値訂正をするとき： で消去後、再入力します。
- ・ 設定を途中で中止するとき： を押します。

このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・ 最後の設定項目で を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容は印字されないためレシートは出ません。

例

部門3に単価300円を設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。

Memo

3回、 で表示させることもできます。

31 部門設定
[変換]で次 [確定]で決定

で次の画面へ

3 部門番号を入力します。

部門番号	01
数字[確定]	3

で次の画面へ

4 単価を入力します。

最大6桁：初期値「0」円

単価	0
数字[確定]	
部03	300

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次部門の設定画面が表示されます。

別の部門の設定を続けておこなう場合は、手順3～4をおこなってください。

部門番号	04
数字[確定]	0

5 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

POINT! 現金単品売りと部門設定の考えかた

部門キーに単価を割り当てると、部門キーを押すだけでその単価の商品を売上登録できます。さらに単価設定した部門キーに対して、「部門の詳細設定」(P.63ページ)で「現金単品売り」を「する」に設定すると、部門キーを押すだけで「現金/預り」の操作を省略できます。特売会場など、1人1点買いの販売などに便利な機能です。



■ 部門の詳細設定【設定番号21】

部門ごとに次の項目を設定することができます。

- ・ 部門名 (文字設定)
- ・ 符号のプラス/マイナス
- ・ 単価
- ・ 消費税の種類
- ・ 課税方法
- ・ 単価の登録方法
- ・ 登録単価の桁数制限
- ・ 現金単品売り



例の手順4～11のキー操作について

- ・ **【現金】**を押す前の数値訂正をするとき : **【クリア】**で消去後、再入力します。
- ・ 設定を変更せず次の項目へ進むとき : **【現金】**を押します。ただし手順11では、次の部門の設定へ進みます。
- ・ 別の部門番号の設定に移るとき : **【小計】**を押して手順3へ戻り、任意の部門番号を入力します。
- ・ 設定を途中で終了するとき : **【小計】** **【現金/預り】**を押します。
このキー操作をおこなわないと、機能切り替えスイッチを「設定」以外の位置に合わせても、表示画面、キー操作ともに設定モードの状態のままとなります。
- ・ 設定を途中で中止するとき : **【強制解除】** **【強制解除】**を押します。
このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・ 途中で **【小計】**を押したとき、または最後の設定項目で **【現金】**を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容は印字されないためレシートは出ません。

例

部門3に次の内容を設定するとき
 プラス符号(プラス部門)、単価300円、消費税1、内税、オープン登録のみ、登録単価
 の制限桁数5桁(99,999円まで)、現金単品売りしない

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



21 部門設定
 [変換]で次 [確定]で決定

Memo 2回、で表示させる
 こともできます。



で次の画面へ

3 部門番号を入力します。



部門番号	01
数字[確定]	3



で次の画面へ

◆部門名の設定

それぞれの部門について、文字(部門名)を半角サイズで最大16文字まで設定できます。初期値は、部門番号3の場合「部門03」です。

4 部門名を入力します。

(文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示は部門名を「果物」に変更したときの例です。

部03	果物
文字[変換]	[確定]
漢	



で次の画面へ

◆符号のプラス/マイナス

通常の売上を登録するプラス部門、または支払い金額を登録するマイナス部門を設定します。

5 符号のプラス/マイナスを設定します。



プラス符号	1
マイナス符号	2

符号	プラス
[1]プラス[2]マイナス	
部03	

現在の設定



で次の画面へ

◆単価の設定

単価のみを設定(または変更)するときは、「部門キーへの単価設定」(P62ページ)を参照してください。

6 単価を入力します。



単価	0
数字[確定]	300
部03	

最大6桁：初期値「0」円



で次の画面へ

◆消費税の種類の設定

消費税1/消費税2を設定します。消費税の設定内容についての詳細は「お店に合わせて消費税を設定(変更)する」(P81ページ)を参照してください。

消費税1：課税商品の消費税がすべて5%のときに選択します。外税/内税/非課税の設定には関係ありません。

消費税2：課税商品の消費税の種類が複数あるときに選択します。

7 消費税の種類を設定します。

消費税1	1
消費税2	2

税種 消費税1
[1]消費税1 [2]消費税2
部03



で次の画面へ

◆課税方法の設定

それぞれの部門で、登録する商品の課税方法を内税/外税/非課税から選択します。

8 課税方法を設定します。

非課税	1
外税	2
内税	3

課税方法 内税
[1]非課税 [2]外税 [3]内税
部03



で次の画面へ

◆単価の登録方法の設定

それぞれの部門について単価の登録方法を選択します。

オープン登録：置数キーによって単価を打ち込む登録方法です。

プリセット登録：あらかじめ設定されている単価（プリセット単価）を使用する登録方法です。

9 登録方法を設定します。

登録禁止	1
オープン登録のみ	2
プリセット登録のみ	3
オープン登録およびプリセット登録	4

登録方法 オープン
[1]禁止 [2]オ [3]プ [4]オ&プ
部03



で次の画面へ

◆登録単価の桁数制限の設定

登録金額の誤りを防ぐために、登録単価の桁数を0～7桁に制限できます。7桁に設定すると9,999,999円まで登録ができます。

10 登録単価の桁数制限数を入力します。

制限桁数: 0～7(桁)

桁数制限 7桁
数字[確定]
部03 5



で次の画面へ

◆現金単品売りの設定

単品で現金売りするとき用いると便利な機能です。現金単品売り指定の部門へ登録をおこなうと、自動的に現金売りとして取引を終了します。ただし、通常の部門登録後、現金単品売りの部門を登録しても、取引は終了せず登録を続けることができます。

11 現金単品売りの設定をします。

①

現金単品売り	しない
[1] しない [2] する	
部門03	

現金単品売りしない	1
現金単品売りする	2

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次部門の設定画面が表示されます。

別の部門の設定を続けておこなう場合は、手順3～11をおこなってください。

確定
入金

部門番号	04
数字 [確定]	0

12 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

■ PLU番号への単価設定【設定番号32】

PLU番号に単価を設定すると、PLU番号を入力するだけでその単価の商品を登録できます。同時に単価以外の設定もおこなうときは、「PLU番号の詳細設定」(P68ページ)を参照してください。



例の手順4のキー操作について

- ・ を押す前の数値訂正をするとき : で消去後、再入力します。
- ・ 設定を途中で中止するとき : を押します。

このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・ 最後の設定項目で を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容の印字はされないためレシートは出ません。

例

PLU番号5に単価500円を設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定番号を選択します。



3回、、 で表示させることもできます。

3	2	変換 %1
---	---	-------

確定
入金

で次の画面へ



32 PLU設定	
[変換] で次	[確定] で決定

3 PLU番号を入力します。

5

PLU番号	01
数字[確定]	5

確定
入金

で次の画面へ

4 単価を入力します。

5 00

単価	0
数字[確定]	
P 0005	5 0 0

最大6桁：初期値「0」円

設定内容を確認します。

設定した内容が印字され、次のPLU
番号の設定画面が表示されます。

別のPLUの設定を続けておこなう場
合は、手順3～4をおこなってくだ
さい。

確定
入金確定
入金

PLU番号	0006
数字[確定]	0

5 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが
出ます。

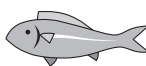
現金/預り

POINT! 部門とPLUの違い

PLUを使うと部門よりも細分化された商品管理ができます。

部門を使う場合は食品、衣類、書籍などの大まかな分類でしか分けられませんが、PLUを使うと肉類、魚介類や男物、女物、子供服や一般書籍、雑誌などにPLU番号を割り当て、精算レポートの際にPLU番号の範囲を指定することでどの分類が一番売れ筋なのかをみることができます。

部門01



PLU0001



PLU0002

部門02



PLU0101



PLU0102

部門03



PLU0201



PLU0202

PLU番号の詳細設定【設定番号22】

PLU番号ごとに次の項目を設定することができます。

- ・商品名(文字設定)
- ・所属部門
- ・単価
- ・単価の登録方法

Memo 例の手順4～7のキー操作について

- ・ **入金**を押す前の数値訂正をするとき : **クリア**で消去後、再入力します。
- ・ 設定を変更せず次の項目へ進むとき : **入金**を押します。ただし手順7では、次のPLUの設定へ進みます。
- ・ 別のPLU番号の設定に移るとき : **小計**を押して手順3へ戻り、任意のPLU番号を入力します。
- ・ 設定を途中で終了するとき : **小計** **現金/預り**を押します。
このキー操作をおこなわないと、機能切りかえスイッチを「設定」以外の位置に合わせても、表示画面、キー操作ともに設定モードの状態のままとなります。
- ・ 設定を途中で中止するとき : **強制解除** **強制解除**を押します。
このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・ 途中で **小計**を押したとき、または最後の設定項目で **入金**を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容の印字はされないためレシートは出ません。

例 PLU5に所属部門3、単価500円、オープン登録のみを設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



22 PLU設定
[変換]で次 [確定]で決定

Memo **変換 %1** 2回、**入金**、**変換 %1**で表示させることもできます。



3 PLU番号を入力します。



PLU番号	01
数字[確定]	5



◆商品名の設定

それぞれのPLUについて、文字（商品名）を半角サイズで最大16文字まで設定できます。初期値は、PLU番号5の場合「PLU0005」です。

4 PLU名を入力します。 (文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示は商品名を「メロン」に変更したときの例です。

P 0005	メロン
文字[変換]	[確定]
漢	



で次の画面へ

◆所属部門の設定

符号のプラス/マイナス、消費税に対する属性、現金単品売りの指定、登録単価の制限桁数は、所属する部門の設定内容にしたがいます。

5 所属部門を入力します。

3

所属部門	01
数字[確定]	
P 0005	3



で次の画面へ

◆単価の設定

単価のみを設定（または変更）するときは、「PLU番号への単価設定」(P66ページ)を参照してください。単価を「0円」にするとサービス品(無料奉仕品)などの登録ができます。

6 単価を入力します。

5 00

最大6桁：初期値「0」円

単価	0
数字[確定]	
P 0005	5 0 0



で次の画面へ

◆単価の登録方法の設定

それぞれのPLUについて単価の登録方法を選択します。

オープン登録：置数キーによって単価を打ち込む登録方法です。

プリセット登録：あらかじめ設定されている単価（プリセット単価）を使用する登録方法です。

7 登録方法を設定します。

1



PLU登録を禁止したいときや、不要になったPLU番号は、削除してください。

オープン登録のみ	1
プリセット登録のみ	2
削除	3

登録方法	プリセット
[1]オープン[2]プリセット[3]削除	
P 0005	

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次のPLUの設定画面が表示されます。別のPLU番号の設定を続けておこなう場合は、手順3～7をおこなってください。



PLU番号	0006
数字[確定]	
	0

8 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

3. 機能キーの設定

各種設定をするとき

■ 、、の設定【設定番号23】

、、のキーごとに次の項目を設定することができます。

- ・機能名(文字設定)
- ・符号のプラス/マイナス
- ・値引額/割引額
- ・消費税の種類
- ・課税方法
- ・値引き/割引の対象
- ・値引額/値引額の桁数制限



例の手順4～11のキー操作について

- ・を押す前の数値訂正をするとき : で消去後、再入力します。
- ・設定を変更せず次の項目へ進むとき : を押します。ただし手順11では、次の機能キーの設定へ進みます。
- ・別の機能キー番号の設定に移るとき : を押して手順3へ戻り、任意の機能キー番号を入力します。
- ・設定を途中で終了するとき :  を押します。
このキー操作をおこなわないと、機能切りかえスイッチを「設定」以外の位置に合わせても、表示画面、キー操作ともに設定モードの状態のままとなります。
- ・設定を途中で中止するとき :  を押します。
このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・途中で を押したとき、または最後の設定項目で を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・設定を変更しなかったときは、設定内容の印字はされないためレシートは出ません。

例

に次の内容を設定するとき

マイナス符号(値引き)、値引額30円、消費税1および消費税2、内税および外税対象、単品および小計からの値引き、値引き制限桁数5桁(99,999円)

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



23 機能設定
[変換]で次 [確定]で決定



2回、2回で表示させることもできます。



で次の画面へ

3 機能キー番号を入力します。

1

	1
	2
	3

機能キー番号	01
数字[確定]	1



で次の画面へ

◆機能名の設定

登録、点検、精算時に表示または印字される機能名を、半角サイズで最大12文字まで設定できます。初期値は:(-)、:%1、:%2、です。

4 機能名を入力します。

(文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示はの機能名を「値引」に変更したときの例です。

F01	値引
文字[変換]	[確定]
漢	



で次の画面へ

◆符号のプラス/マイナスの設定

符号を「プラス」に設定すると、値増し(プレミア)/割増しとしてはたります。「マイナス」に設定すると値引き/割引としてはたります。

5 符号のプラス/マイナスを設定します。

2

プラス符号	1
マイナス符号	2

符号	マイナス
[1]プラス[2]マイナス	
F01	



で次の画面へ

◆値引額/割引(増)率の設定

に値引額を設定しておく、を押すだけで、その値引額を登録できます。

、に割引(増)率を設定しておく、、を押すだけで、その割引(増)率が登録できます。

6 のときは値引額を入力します。 、のときは割引(増)率を入力します。

表示はの設定例です。

3 0

値引額	1~999,999(円):初期値「0」円
、割引(増)率	0.01~100.00(%):初期値「0」%

値引額	-0
数字[確定]	
F01	3 0



小数値を入力するとき
は、を使って小数点を入力してください。



で次の画面へ

◆消費税の種類の設定

消費税1/消費税2を設定します。消費税2は、消費税が複数になったときに設定します。

7 消費税の種類を設定します。

3

課税対象 消費税 1 & 2
[1] 税 1 [2] 税 2 [3] 税 1&2
F 01

消費税1 課税対象	1
消費税2 課税対象	2
消費税1 および 2 課税対象	3

確定
入金

で次の画面へ

◆課税方法の設定

値引額/割引額の課税方法を内税・外税課税/内税のみ課税/外税のみ課税/非課税から選択します。

8 課税方法を設定します。

4

課税方法 内税&外税
[1] 非 [2] 外 [3] 内 [4] 内&外
F 01

非課税	1
外税	2
内税	3
内税および外税	4

確定
入金

で次の画面へ

◆値引き/割引の対象(単品)の設定

個々の商品からの値引き/割引を禁止にすることができます。

9 値引き/割引の対象(単品)を設定します。

1

単品に対して 可能
[1] 可能 [2] 禁止
F 01

単品に対しての値引き/ 割引が可能	1
単品に対しての値引き/ 割引を禁止	2

確定
入金

で次の画面へ

◆値引き/割引(小計)の対象

小計からの値引き/割引を禁止にすることができます。

10 値引き/割引の対象(小計)を設定します。

1

小計に対して 可能
[1] 可能 [2] 禁止
F 01

小計に対しての値引き/ 割引が可能	1
小計に対しての値引き/ 割引を禁止	2

確定
入金

で次の画面へ

◆値引額の桁数制限/割引率の制限

登録金額の誤りを防ぐために、値引額/割引(増)率の制限を設定できます。

- 11 のときは制限桁数を入力します。
 のときは制限率を入力します。
 表示は の設定例です。

Memo 小数値を入力するとき
 は、 を使って小数点を
 入力してください。

制限桁数	
0~7(桁):初期値「7」桁	
パーセント制限	
0.01~100.00(%)	
:初期値「100」%	

桁数制限 数字[確定] F01	7桁 5
-----------------------	---------

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次の機能
 キーの設定画面が表示されます。

別の機能キーの設定を続けておこな
 う場合は、手順3~11をおこなって
 ください。

確定 入金	確定 入金
----------	----------

機能キー番号 数字[確定]	02 0
------------------	---------

12 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが
 出ます。

現金/預り

■ 、、、 の設定【設定番号23】

、、、 のキーごとに次の項目を設定することができます。

- ・機能名(文字設定)
- ・取引限度額(制限桁数)

Memo 例の手順4~5のキー操作について

- ・ を押す前の数値訂正をするとき : で消去後、再入力します。
- ・ 設定を変更せず次の項目へ進むとき : を押します。ただし手順5では、次の機能
 キーの設定へ進みます。
- ・ 別の機能キー番号の設定に移るとき : を押して手順3へ戻り、任意の機能キー番
 号を入力します。
- ・ 設定を途中で終了するとき : を押します。
 このキー操作をおこなわないと、機能切りかえ
 スイッチを「設定」以外の位置に合わせても、
 表示画面、キー操作ともに設定モードの状態の
 ままとなります。
- ・ 設定を途中で中止するとき : を押します。
 このとき、すでに設定した内容については、レ
 シートに印字されていますので、設定内容を確認
 してください。

設定内容を印字について

- ・ 途中で を押したとき、または最後の設定項目で を押すと、設定内容が印字され
 ます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了する
 までレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容の印字はされないためレシートは出ません。

例

に取引限度額の制限桁数6桁(999,999円まで)を設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



23 機能設定
[変換]で次 [確定]で決定

  2回、、 2回で表示させることもできます。



で次の画面へ

3 機能キー番号を入力します。

4

	4
	5
	6
	7

機能キー番号	01
数字[確定]	4



で次の画面へ

◆機能名の設定

登録、点検、精算時に表示または印字される機能名を、半角サイズで最大12文字まで設定できます。初期値は:入金、:釣銭準備金、:支払、:売上回収金、です。

4 機能名を入力します。

(文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示はの機能名を「入金登録」に変更したときの例です。

F04	入金登録
文字[変換][確定]	漢



で次の画面へ

◆取引限度額の桁数制限の設定

取引限度額の制限桁数が設定できます。「0」に設定すると登録が禁止されます。

5 桁数制限数を入力します。

6

制限桁数0~8(桁)初期値:8桁

桁数制限	8桁
数字[確定]	6
F04	

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次の機能キーの設定画面が表示されます。別の機能キーの設定を続けておこなう場合は、手順3~5をおこなってください。



機能キー番号	05
数字[確定]	0

- 6** 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが
出ます。

現金/預り

現金/預り、信用、券売、掛売の設定【設定番号23】

現金/預り、信用、券売、掛売のキーごとに次の項目を設定することができます。

- ・機能名(文字設定)
- ・預り入力の強制/非強制
- ・フッタ印字
- ・取引限度額(制限桁数)

Memo 例の手順4～7のキー操作について

- ・ を押す前の数値訂正をするとき : で消去後、再入力します。
- ・ 設定を変更せず次の項目へ進むとき : を押します。ただし手順7では、次の機能キーの設定へ進みます。
- ・ 別の機能キー番号の設定に移るとき : を押して手順3へ戻り、任意の機能キー番号を入力します。
- ・ 設定を途中で終了するとき : を押します。
このキー操作をおこなわないと、機能切りかえスイッチを「設定」以外の位置に合わせても、表示画面、キー操作ともに設定モードの状態のままとなります。
- ・ 設定を途中で中止するとき : を押します。
このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・ 途中で を押したとき、または最後の設定項目で を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容の印字はされないためレシートは出ません。

例

に次の内容を設定するとき

預り金額入力の非強制、フッタ印字なし、取引限度額の制限桁数5桁(99,999円まで)

- 1** 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



- 2** 設定番号を選択します。

23 機能設定
[変換]で次 [確定]で決定

Memo 2回、、 2回で表示させることもできます。

で次の画面へ

各種設定をするとき

3 機能キー番号を入力します。

1 0

現金/預り	8
券売	9
信用	10
掛売	11

確定 入金

機能キー番号	01
数字[確定]	1 0

◆機能名の設定

登録、点検、精算時に表示または印字される機能名を、半角サイズで最大12文字まで設定できます。初期値は[現金/預り]:現金、[券売]:券、[信用]:信用、[掛売]:掛、です。

4 機能名を入力します。

(文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示は[信用]の機能名を「信用売り」に変更したときの例です。

F10	信用売り
文字[変換][確定]	漢

確定 入金

◆預り入力の強制/非強制の設定

預り金額の入力強制を設定しておくことができます。

5 預り金額の入力強制を設定します。

1

現金/預り	券売	信用	1
:預り入力非強制			
[掛売]禁止			
預り入力強制			2

確定 入金

預り入力	非強制
[1]非強制[2]強制	
F10	

◆フッタ印字

各キーに対して個別にレシートの下端(フッタ)へメッセージを印字する/しないを設定できます。「フッタ印字あり」に設定したときは、「フッタ印字の選択」(P98ページ)でフッタ印字を「締めキーによる」に設定してください。

6 フッタ印字の設定をします。

1

フッタ印字なし	1
フッタ印字あり	2

確定 入金

フッタ印字	なし
[1]なし[2]あり	
F10	

◆取引限度額の桁数制限の設定

取引限度額の制限桁数が設定できます。「0」に設定すると、そのキーの使用が禁止されます。

7 桁数制限数を入力します。

5

桁数制限 数字[確定]	8桁
F 10	5

制限桁数0～8(桁)初期値:8桁

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次の機能キーの設定画面が表示されます。

別の機能キーの設定を続けておこなう場合は、手順3～7をおこなってください



機能キー番号 数字[確定]	11
	0

8 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが
できます。

現金/預り

■ ポイント券の設定【設定番号23】

単位金額に対して何ポイント発行するかを設定できます。たとえば単位金額を1000円、ポイント数を10ポイントと設定した場合は、1000円～1999円は10ポイント、2000円は20ポイントと計算されます。単位金額を0円、ポイントを0ポイントと設定されている状態では、ポイント券を発行しません。

- ・機能名(文字設定)
- ・単位金額/ポイント
- ・最低購入金額



例の手順4～7のキー操作について

- ・ を押す前の数値訂正をするとき : で消去後、再入力します。
- ・ 設定を変更せず次の項目へ進むとき : を押します。ただし手順7では、次の機能キーの設定へ進みます。
- ・ 設定を途中で終了するとき : を押します。
このキー操作をおこなわないと、機能切りかえスイッチを「設定」以外の位置に合わせても、表示画面、キー操作ともに設定モードの状態のままとなります。
- ・ 設定を途中で中止するとき : を押します。
このとき、すでに設定した内容については、レシートに印字されていますので、設定内容を確認してください。

設定内容の印字について

- ・ 途中で を押したとき、または最後の設定項目で を押すと、設定内容が印字されます。ただし、設定を続けている間は次の設定内容の印字が続くため、設定を終了するまでレシートは最後まで出ません。
- ・ 設定を変更しなかったときは、設定内容の印字はされないためレシートは出ません。

例

単位金額を1000円、ポイント数を10ポイント、最低購入金額を3000円に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。**2** 設定番号を選択します。23 機能設定
[変換]で次 [確定]で決定

Memo 2回、 2回、 2回で表示させることもできます。



で次の画面へ

3 機能キー番号を入力します。機能キー番号 01
数字[確定] 1 2

で次の画面へ

◆機能名の設定

登録時に印字される機能名を、半角サイズで最大12文字まで設定できます。初期値は「ポイント」です。

4 機能名を入力します。

(文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示は機能名を「Point数」に変更したときの例です。

F12 Point数
数字[変換][確定]
漢

で次の画面へ

◆単位金額

単位金額を設定します。

5 単位金額を入力します。

単位金額1～99,999(円):初期値「0」円

単位金額 0
数字[確定] 1 0 0 0
F12

で次の画面へ

◆単位金額に対するポイント数の設定

単位金額に対するポイント数を設定します。

6 ポイント数を入力します。

ポイント数1～99,999ポイント:初期値「0」

ポイント数 0
数字[確定] 1 0
F12

で次の画面へ

◆最低購入金額の設定

ポイント計算の対象となる最低金額を設定できます。

7 金額を入力します。

最低購入金額1～99,999(円):
初期値「0」円

最低購入金額	0
数字[確定]	
F 12	3 0 0 0

設定内容を確認します。

設定した内容が印字され、次の機能
キーの設定画面が表示されます。

機能キー番号	13
数字[確定]	0

8 設定を終了します。

設定した内容が印字されます。

■ その他機能名の設定【設定番号23】

登録、点検、精算時に表示または印字される機能名を半角文字サイズで最大12文字まで設定できます。初期値は機能キー番号表(80ページ)を参照してください。

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



2回、1回、2回で表示させることもできます。

23 機能設定	
[変換]で次	[確定]で決定

で次の画面へ

3 機能キー番号を入力します。

機能キー番号は機能キー番号表(80ページ)を参照してください。

機能キー番号	01
数字[確定]	2 9

で次の画面へ

4 機能名を入力します。

(文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(54ページ)を参照してください。表示は機能名を「返品」に変更したときの例です。

F 29	返品
文字[変換]	[確定]
漢	

設定内容を確認します。

設定した内容が印字され、次の機能
キーの設定画面が表示されます。

別の機能キーの設定を続けておこなう場合は、手順3～4をおこなってください。

機能キー番号	30
数字[確定]	0

5 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

◆機能キー番号表

機能キー番号	機能	初期設定
13	売上小計	**売上計
14	外税1課税小計	外税小計
15	外税1合計	外税
16	内税1課税小計	内税小計
17	内税1合計	(内税)
18	外税2課税小計	外2小計
19	外税2合計	外税2
20	内税2課税小計	内2小計
21	内税2合計	(内税2)
22	消費税合計	消費税計
23	非課税合計	非課税計
24	100円未満の端数処理	端数丸め
25	純売上合計	**純計
26	売上点数	売上点数
27	総売上合計	**総合計
28	平均売上単価	平均単価
29	戻品(返品)	戻品
30	訂正	訂正
31	取引後訂正モード	取引後訂正
32	全項目取消	取消
33	領収証	領収証
34	収入印紙貼付枠付き領収証	印紙領収
35	両替	両替
36	万券出金両替	万券→両替
37	万円入金両替	万円←両替
38	万券	万券
39	取引件数	取引数
40	現金在高	現金在高
41	券在高	券在高
42	信用/掛 在高	信/掛 在高
43	信用/券 釣	信/券 釣
44	プラス部門 合計	*部門計
45	マイナス部門 合計	一部門計
46	平均客単価	平均客単価
47	レポート 数量リスト	数
48	小計	**小計
49	合計	**合計
50	釣銭	おつり
51	預かり不足 支払い残額表示	残額
52	買上点数	個数
53	レポート買上点数リスト	個
54	予約券 入力Xセージ	日付と時間
55	予約券 完了Xセージ	予約券
56	予約券 タイトル	予約券
57	取引後訂正 レポート タイトル	取引後訂正
58	COPY レポート タイトル	コピー
59	領収証控 タイトル	領収証控
60	部門 レポート タイトル	部 門
61	PLU レポート タイトル	P L U
62	取引 レポート タイトル	取 引
63	責任者 レポート タイトル	責任者
64	時間帯 レポート タイトル	時間帯
65	電子ジャーナル タイトル	ジャーナル
66	電子ジャーナル 印字終了タイトル	記録終了

4. 消費税の設定

各種設定をするとき

ここでは消費税の端数処理や税率の設定などについて説明しています。

■ お店に合わせて消費税を設定(変更)する

ご購入時、消費税は次のように設定されています。

- ・ 消費税率 : 5%
- ・ 課税方法 : すべての部門に対して内税課税
- ・ 内税の端数処理 : 1円未満を切り捨て

内税商品のみ扱うお店 → このまま使えます

ご購入時は、~のすべての部門に内税が設定されています。

外税商品または非課税商品があるお店 → 設定を変更してください

外税商品または非課税商品を登録する部門を決めて、部門ごとに「部門の詳細設定」(P63ページ)で設定してください。

(設定例)

- | | | |
|---|---|--------------------------|
|  |  | : 内税商品の登録に使う部門…設定変更なし |
|  |  | : 外税商品の登録に使う部門…外税に設定変更 |
|  |  | : 非課税商品の登録に使う部門…非課税に設定変更 |

消費税の端数処理とお買い上げ合計の丸めの設定について

消費税額の1円未満の端数処理は、ご購入時、外税、内税共に切り捨てに設定されていますが、それぞれの端数処理を変更することができます。(P82ページ)

また、お買い上げ税込合計からの5円丸め、10円丸めといった端数処理を設定することもできます。ご購入時、丸めの端数処理はしない設定になっています。「合計額の丸めの設定」(P95ページ)を参照してください。

ご購入時すでに消費税のしくみが変わっているとき → すぐに消費税を変更してください

現行の税制に合わせて、ご購入時は消費税率は5%に、免税点は0円に設定されています。

レジスタを最初に使われるときから、税制が合わないときは、「消費税の税率および免税点の設定」(P85ページ)で設定を変更してください。

これから消費税が変更になるとき → 消費税の自動変更予約をすることができます

このレジスタは、消費税の自動変更予約機能を備えています。これから税制が変わるときは、新税施行日より以前に税率や変更日を設定しておくと、変更日に自動的に設定を変更します。

消費税の自動変更予約機能を使用するときは、「消費税の自動変更予約機能について」(P86ページ)を参照してください。

消費税の端数処理の設定【設定番号24】

消費税額の1円未満の端数について、切り上げ、切り捨て、四捨五入の処理が選択できます。

例 内税の端数を切り捨て、外税の端数を四捨五入、に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



24 消費税設定
[変換]で次 [確定]で決定

Memo 設定番号2回、設定入金3回で表示させることもできます。



端数処理
[変換]で次 [確定]で決定



で次の画面へ

3 内税の端数処理を設定します。



内税 切り捨て
[1]4捨5入 [2]切上 [3]切捨

四捨五入	1
切り上げ	2
切り捨て	3



で次の画面へ

4 外税の端数処理を設定します。



外税 4捨5入
[1]4捨5入 [2]切上 [3]切捨

四捨五入	1
切り上げ	2
切り捨て	3

設定内容を確認します。
設定内容が印字され、端数処理の設定画面が表示されます。



端数処理
[変換]で次 [確定]で決定

5 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが出ます。



■ レシートへの税関連印字の設定【設定番号24】

レシートに、外税、内税、非課税の記号および外税課税小計、内税課税小計、内税額を印字するか印字しないかを選択できます。

POINT! 消費税の印字の設定

税関連の記号や税額でレシートに、印字する、しないを選択できるものは次の6種類です。

部門01	外	¥1,000	外税の記号
部門02	内	¥2,500	内税の記号
部門03	非	¥1,250	非課税の記号
**小計		¥4,750	
外税小計		¥1,000	外税課税小計
外税		¥50	
内税小計		¥2,500	内税課税小計
(内税)		¥119	内税額
個数		3個	
現金		¥4,800	

例 内税課税小計印字のみしない、に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



24 消費税設定
[変換]で次 [確定]で決定

Memo 設定番号2回、[入金]、設定番号3回で表示させることもできます。



3 登録印字の設定画面を表示します。



登録印字
[変換]で次 [確定]で決定



で次の画面へ

4 外税記号印字を設定します。



外税記号印字 する
[1]しない[2]する

印字しない	1
印字する	2



で次の画面へ

5 内税記号印字を設定します。

②

印字しない	1
印字する	2

内税記号印字 する
[1]しない[2]する



で次の画面へ

6 非課税記号印字を設定します。

②

印字しない	1
印字する	2

非課税記号印字 する
[1]しない[2]する



で次の画面へ

7 外税課税小計印字を設定します。

②

印字しない	1
印字する	2

外税課税小計印字 する
[1]しない[2]する



で次の画面へ

8 内税課税小計印字を設定します。

①

印字しない	1
印字する	2

内税課税小計印字 しない
[1]しない[2]する



で次の画面へ

9 内税額印字を設定します。

②

印字しない	1
印字する	2

内税額印字 する
[1]しない[2]する

設定内容を確定します。

設定内容が印字され、手順3の画面が表示されます。



登録印字
[変換]で次 [確定]で決定

10 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

消費税の税率および免税点の設定【設定番号24】

このレジスタは、消費税の税率が2種類になっても対応できるように消費税1と消費税2で税率を分けて設定できるようになっています。また、消費税1と消費税2それぞれに免税点を設定できます。ご購入時は、消費税1に消費税5%、免税点0円が設定されています（現行の税制では消費税2は使いません）。すでに税制が変わっているときは、ここでの設定を変更してから使いはじめてください。

例

消費税1に税率7%、免税点100円に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



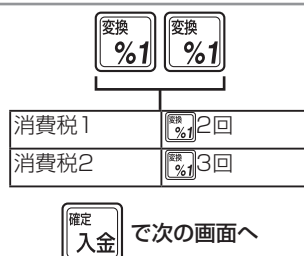
Memo 設定番号2回、[入金] 3回で表示させることもできます。

24 消費税設定
[変換]で次 [確定]で決定



端数処理
[変換]で次 [確定]で決定

3 消費税1の設定画面を表示します。



消費税1
[変換]で次 [確定]で決定

4 税率を入力します。



税率 0.0000~99.9999(%)
初期値 消費税1「5」%
消費税2「0」%

税率 5.0000%
数字[確定]
7

Memo 小数値を入力するときは、を使って小数点を入力してください。



で次の画面へ

5 免税点を入力します。



免税点 0~99,999(円)
初期値「0」円

免税点 0
数字[確定]
100

設定内容を確定します。
設定内容が印字され、手順3の画面が表示されます。



消費税1
[変換]で次 [確定]で決定

6 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

消費税の自動変更予約機能について

消費税が改正される場合、更新日と新しい税率、免税点をまえて設定しておく、指定した更新日に自動的に税率と免税点を更新することができます（消費税の自動変更予約機能）。

また、このレジスタは、商品の種類によって2種類の税率が使われる場合に備えて、消費税1と消費税2を備えています。2種類の税率が施行される場合は、消費税1と消費税2を設定することで使いわげができます。

現行のように商品にかかる一般的な税率が1種類しかなく、そのまま税率が変わるだけという改正の場合は、現在使っている消費税1の税率を変更するだけでよいことになります。

消費税の自動変更予約機能の設定は、必ず、次の順番でおこなってください。

- (1) 更新年月日とタイミングを設定します（☞86ページ）。
- (2) 更新消費税1および更新消費税2に、新しい税率と免税点を設定します（☞87ページ）。

ご注意 ⚠️ すでに消費税率等が変わっている場合は、この機能は使えません。前ページの「消費税の税率および免税点の設定」を使って設定してください。

消費税の自動変更予約機能を設定すると、新税率施行日に自動変更機能がはたらき、設定されていた新税率および免税点になり、税率更新の確認用レシートが発行されます。

税率更新の確認用レシート例

税率を変更しました。	
更新消費税1	
税率	7.0000%
免税点	0
更新消費税2	
税率	10.0000%
免税点	0

- Memo**
- ・更新タイミングは初期設定（更新日に任意のキーを押したときに更新）になります。
 - ・更新日付はクリアされて、「0000年00月00日」になります。
 - ・更新用消費税1の設定はクリアされて、「0%、免税点0」になります。
 - ・更新用消費税2の設定はクリアされて、「0%、免税点0」になります。

更新日とタイミングの設定

…【設定番号24】

消費税が改正されるとき、更新のタイミングをお店に合わせて次の2種類から選択できます。

- ・日付更新後：指定した更新日以降に任意のキーを押したときに更新する
- ・日計精算後：指定した更新日以降に日計全項目精算をおこなった後で更新する

ご購入時の設定のままでよければ、この設定を変更する必要はありません。

税率更新のタイミングを「設定更新日以降に任意のキーを押したとき」に設定する場合、更新日の前日中に登録した取引と登録中に更新日になった取引には、更新前の税率が適用されます。

更新日を設定したときは、必ず新しい税率と免税点を更新消費税1および更新消費税2に正しく設定してください。

例

更新予約に2007年10月1日、日付更新後を設定するとき

- 1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。

Memo 2回、 2回、 3回で表示させることもできます。

2 **4** 変換 %1

24 消費税設定
[変換]で次 [確定]で決定

確定
入金

端数処理
[変換]で次 [確定]で決定

3 更新予約の設定画面を表示します。

変換 %1 4回

更新予約
[変換]で次 [確定]で決定

確定
入金

で次の画面へ

4 日付を8桁(年:4桁、月:2桁、日:2桁)で入力します。

2 **00** **7** **1** **00** **1**

日付 0000年 0月 0日
数字[確定]
20071001

初期値 0000年00月00日
(更新予約なし)

確定
入金

確定
入金

で次の画面へ

5 税率更新のタイミングを設定します。

1

タイミング 日付更新後
[1]日付更新[2]日計精算

日付更新後	1
日計精算後	2

設定内容が確定されます。
設定内容が印字され、手順3の画面が表示されます。

確定
入金

更新予約
[変換]で次 [確定]で決定

6 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

▶ 更新する税率と免税点の設定 … 【設定番号24】

消費税1を更新するときは、更新消費税1に、新しい税率と免税点を設定します。
消費税2を更新するときは、更新消費税2に、新しい税率と免税点を設定します。



消費税の自動変更予約機能を実行するときは、更新消費税1と更新消費税2の両方を必ず設定してください。更新消費税1と更新消費税2は、更新日に同時に更新されますので、ご注意ください。たとえば、消費税2に変更があり、消費税1に変更がない場合でも、更新消費税1に現在の消費税1と同じ設定をしておかないと、更新日に消費税1の設定が消えてしまいます。

例

更新消費税1に税率5%、免税点100円に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。

 戻り [%] 2回、確定 入金、戻り [%] 3回で表示させることもできます。

24 消費税設定
[変換]で次 [確定]で決定



端数処理
[変換]で次 [確定]で決定

3 更新消費税1の設定画面を表示します。

 5回

消費税1	
消費税2	



で次の画面へ

更新消費税 1
[変換]で次 [確定]で決定

4 税率を入力します。

 小数値を入力するときは、を使って小数点を入力してください。



税率 0.0000~99.9999(%)
初期値 更新消費税1「0」%
更新消費税2「0」%





で次の画面へ

税率 0.0000%
数字[確定] 5

5 更新免税点を入力します。

免税点 0~99,999(円)
初期値「0」円

設定内容を確認します。
設定内容が印字され、手順3の画面が表示されます。



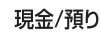


免税点 0
数字[確定] 100

更新消費税 1
[変換]で次 [確定]で決定

6 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。



5

各種設定をするとき

責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定

■ 責任者名の設定【設定番号25】

1～4の責任者番号に対して、責任者名を半角文字サイズで最大12文字まで設定できます。

例

責任者番号2に責任者名「田中」を設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。
責任者番号選択の画面が表示されます。



責任者番号	1
数字[確定]	0

3 責任者番号を入力します。



責任者番号	1
数字[確定]	2



で次の画面へ

4 責任者名を入力します。
文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示は責任者名を「田中」に変更したときの例です。

(文字入力)

責任者 2	田中
文字[変換][確定]	漢

設定内容を確定します。

設定した内容が印字され、次の責任者番号の設定画面が表示されます。
別の責任者番号の設定を続けておこなう場合は、手順3～4を繰り返してください。



責任者番号	3
数字[確定]	0

5 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

各種設定をするとき

■ 店名・領収証ロゴ/各種メッセージの設定 [設定番号26]

次の項目を設定することができます。

◆店名ロゴの設定

店名ロゴを、最大4行、各行半角文字サイズで24文字まで設定することができます。領収証ロゴに店名ロゴを使うに設定している場合は、ここで設定された内容が領収証にも印字されます（※101ページ）。

◆コマーシャルメッセージの設定（メッセージ1、メッセージ2）

レシートにお店からのお知らせとして、コマーシャルメッセージを印字することができます。メッセージはメッセージ1とメッセージ2の2種類を、それぞれ最大3行、各行半角文字サイズで24文字まで設定できます。メッセージ1の初期値は、「またの御来店を(1行目)お待ちしております(2行目)ありがとうございました(3行目)」が中央揃えで設定されています。コマーシャルメッセージの印字位置は、レシートのヘッダ(上部)またはフッタ(下端)のどちらかを選択して印字することができます。（※98ページ）

◆領収証ロゴの設定

領収証に印字される領収証ロゴを最大6行、各行半角文字サイズで24文字まで設定することができます。領収証の設定で店名ロゴを使う設定にしている場合は、領収証には店名ロゴが印字され、ここでの設定は無効になります（※101ページ）。

◆予約券メッセージの設定

予約券に印字されるメッセージを最大3行、各行半角文字サイズで24文字まで設定することができます。

◆ポイント券メッセージの設定

ポイント券に印字されるメッセージを最大3行、各行半角文字サイズで24文字まで設定することができます。

The diagram illustrates the layout of receipts and coupons, with labels indicating where specific settings are applied:

- お買上票 (Receipt Header):**
 - 店名ロゴ (Store Name Logo): Located at the top left.
 - コマーシャルメッセージ (Commercial Message): Located below the store name logo.
- * 予約券 * (Reservation Coupon):**
 - 予約券メッセージ (Reservation Message): Located in the center.
- ポイント券 (Points Coupon):**
 - ポイント券メッセージ (Points Message): Located at the bottom.
- 領収証 (Receipt):**
 - 領収証ロゴ (Receipt Logo): Located at the bottom right.

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定番号を選択します。



26 ロゴとメッセージ設定
[変換]で次 [確定]で決定



で次の画面へ

3 設定する項目を選択します。



(任意の回数)

を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

- ・店名ロゴ
- ・コマーシャルメッセージ1
- ・コマーシャルメッセージ2
- ・領収証ロゴ
- ・予約券メッセージ
- ・ポイント券メッセージ

店名ロゴ
[変換]で次 [確定]で決定

メッセージ1
[変換]で次 [確定]で決定

メッセージ2
[変換]で次 [確定]で決定

領収証ロゴ
[変換]で次 [確定]で決定

予約券メッセージ
[変換]で次 [確定]で決定

ポイント券メッセージ
[変換]で次 [確定]で決定



で次の画面へ

4 1行目の文字を入力します。 (文字入力)

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P54ページ)を参照してください。表示は1行目の文字を「シャープ」に変更したときの例です。

シャープ
文字[変換][確定]
ア

5 1行目と同じ方法で、2行目以降の文字を入力します。

入力をしないときはを押して、次の行に進みます。

店名ロゴは4行分、コマーシャルメッセージ1・2は3行分、領収証ロゴは6行分、予約券メッセージは3行分、ポイント券メッセージは3行分入力できます。

6 すべての行の入力が終わると、手順3の画面が表示されます。

別項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

7 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが
でます。

現金/預り

■ 通信タイムアウト時間/プリンタ印字濃度の設定 [設定番号27]

ここではパソコン接続時の通信のタイムアウト時間と、プリンタの印字濃度の設定ができます。

例

タイムアウト時間を10秒、印字濃度を60%に設定するとき

1 機能切り替えスイッチを「設定」に合わせます。



2 通信の設定画面を表示します。



通信
[変換] で次 [確定] で決定



で次の画面へ

◆ パソコン接続時の通信タイムアウト時間の設定

カスタマサポートツールを使用して、USBケーブル経由でレジスタからパソコンへデータ通信をおこなうときのタイムアウト時間を設定します。

3 タイムアウト時間を入力します。



1～255秒:初期値「7」秒

タイムアウト
数字[確定] 7秒
1 0

設定内容を確定します。

設定した内容が印字されます。



通信
[変換] で次 [確定] で決定

4 プリンタ印字濃度の設定画面を表示します。



プリンタ
[変換] で次 [確定] で決定



で次の画面へ

◆ プリンタ印字濃度の設定

プリンタの印字濃度を設定します。「通信とプリンタ設定の印字」をおこなうと、現在の設定値と印字濃度10～90の印字見本を見ることができます。(P59、61ページ)。

5 印字濃度を入力します。



印字濃度 00～99:初期値50
濃度の目安:00=標準の70%
50=標準の濃度
99=標準の130%

濃度
数字[確定] 50
6 0

設定内容を確定します。



プリンタ
[変換] で次 [確定] で決定

6 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

6. その他の設定

各種設定をするとき

■ 日付/時刻/レジスタ番号/一連番号の設定【設定番号28】

次の項目を設定することができます。

- ・日付
- ・時刻
- ・レジスタ番号
- ・一連番号

日付と時刻は「日付と時刻を合わせる(簡易日付設定)」(P14ページ)で設定することもできます。

例

2006年1月15日、15(午後3時)時5分、レジスタ番号3、一連番号5を設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。



日付時刻と番号
[変換]で次 [確定]で決定
0



で次の画面へ

◆日付の設定

日付の設定をおこないます。

3 日付を8桁(年:4桁、月:2桁、日:2桁)で入力します。



で次の画面へ

日付 2000年 1月 1日
数字[確定]
20060115

◆時刻の設定

時刻の設定をおこないます。

4 時刻を4桁で入力します。



で次の画面へ

時刻 15:05
数字[確定]
1505

◆レジスタ番号の設定

レジスタが複数あるとき、区別するためにレジスタ番号を設定します。

5 レジスタ番号を入力します。



で次の画面へ

レジスタ番号 000000
数字[確定]
3

各種設定をするとき

◆一連番号の設定

レシートに印字する取引番号の開始番号を設定します。精算をおこなっても自動的に開始番号に戻らないため、毎日同じ番号から始めたい場合は、開店前に開始番号を設定してください。

6 一連番号を入力します。

5

設定内容を確認します。
設定した内容が印字されます。

確定 入金 確定 入金

一連番号 0000
数字[確定] 5

日付時刻と番号
[変換]で次 [確定]で決定 0

7 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが
出ます。

現金/預り

■登録モード制限の設定【設定番号28】

登録モードでの各種機能の登録禁止が設定できます。

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。

2 8 変換 %1 確定 入金 変換 %1

登録モード制限
[変換]で次 [確定]で決定

3 設定する項目を選択します。

確定 入金

(任意の回数)

を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

・直前訂正	1:可能	2:禁止
・指定訂正	1:可能	2:禁止
・全項目取消	1:可能	2:禁止
・戻品登録	1:可能	2:禁止
・入金/釣銭準備金登録	1:可能	2:禁止
・支払/売上回収金登録	1:可能	2:禁止
・両替	1:可能	2:禁止

直前訂正 可能
[1]可能[2]禁止

両替 可能
[1]可能[2]禁止

ご注意 入金登録と釣銭準備金登録は共通設定のため一方のみに可能または禁止を設定することはできません。たとえば、入金登録を禁止に設定すると、釣銭準備金登録も禁止となります。また同様に、支払登録と売上回収金登録も一方のみに可能または禁止を設定することはできません。

4 上記一覧を参考に設定番号を入力 ① または ②、

小計

設定内容が印字されます。
別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

5 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが
出ます。

現金/預り

登録機能の設定【設定番号28】

登録モードでの次の項目の登録禁止が設定できます。

- ・小数数量の設定
- ・100円未満の端数処理（合計額の丸め）の設定

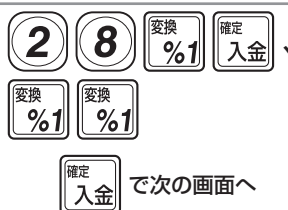
例

小数数量あり、1円～99円を100円に切り上げ、に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。

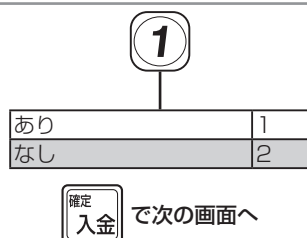


登録機能
[変換]で次 [確定]で決定

◆小数数量の設定

商品個数の小数入力を可能にするか設定できます。小数入力を「可能」に設定すると、売上個数の小数入力（小数点以下第3位まで）ができます。

3 小数数量の設定をします。



小数数量
[1]あり[2]なし

◆100円未満の端数処理（合計額の丸め）の設定

5円丸め10円丸めといったお買い上げ合計額の端数（1円～99円）の丸めの処理が設定できます。「100円未満の端数処理」（※96ページ）の表を参照してnnmmの数値を入力して設定します。

4 端数処理を4桁の数値で設定します。



100円未満処理
数字[確定] 0000
1001

設定内容を確認します。
設定内容が印字されます。



登録機能
[変換]で次 [確定]で決定

5 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが
出ます。



100円未満の端数処理

nn捨mm入		処理内容	処理例	入力例
nn	mm			
00	00	端数処理しない		0000
09	09	9円以下切り捨て	:1~9円→0円	0909
99	99	99円以下切り捨て	:1~99円→0円	9999
00	01	1円~9円を10円に切り上げ	:1~9円→10円	0001
10	01	1円~99円を100円に切り上げ	:1~99円→100円	1001
09	10	9捨10入	9捨10入:1~9円→0円、10~99円→100円	0910
0n	0m	n捨m入(n:1~4,m:5~9)	2捨8入:1~2円→0円、3~7円→5円、8~9円→10円	0208
0n	0m	n捨m入(n+1=m)	4捨5入:1~4円→0円、5~9円→10円	0405
nn	mm	nn捨mm入(nn:1~49,mm:50~99)	20捨80入:1~20円→0円、21~79円→50円、80~99円→100円	2080
nn	mm	nn捨mm入(nn+1=mm)	49捨50入:1~49円→0円、50~99円→100円	4950
nn	00	n捨0入(n:1~4)	4捨0入:1~4円→0円、5~9円→5円	0400
nn	00	nn捨00入(nn:1~49)	49捨00入:1~49円→0円、50~99円→50円	4900

■ 印字形式全般の設定【設定番号28】

営業記録（ジャーナル）をロール紙に印字する設定や営業記録の印字を圧縮印字に変更する設定があります。また、設定日付、時刻、一連番号を印字しないように設定することができます。

圧縮印字例(営業記録)

2006年 8月23日 11:14	1
000000#0007	日中
品別#01	内¥2,500
***小計	¥2,500
(内税分)	¥119
個数	1個
現金	¥2,500
2006年 8月23日 11:14	1
000000#0008	日中
品別#04	内¥3,000
品別#05	内¥2,200
***小計	¥5,200
(内税分)	¥247
個数	2個
備付	¥5,200

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。



印字形式全般
[変換]で次 [確定]で決定

3 設定する項目を選択します。

確定
入金

通常印字形式 レシート
[1]ジャーナル[2]レシート

(任意の回数)

を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

- | | | |
|-----------|---------------|--------|
| ・通常印字形式 | 1:営業記録(ジャーナル) | 2:レシート |
| ・登録/訂正モード | 1:通常 | 2:圧縮 |
| ・設定/点検/精算 | 1:通常 | 2:圧縮 |
| ・日付印字 | 1:する | 2:しない |
| ・時刻印字 | 1:する | 2:しない |
| ・一連番号印字 | 1:する | 2:しない |

一連番号印字 する
[1]する[2]しない

4 上記一覧を参考に設定番号を入力 ① または ②、 します。

設定内容が印字されます。

別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

5 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

POINT! レシート印字について

レシートに印字する/しないを選択できるものは、日付・時刻・一連番号・小計キーの押下・買上点数印字の5種類です。また、合計金額印字の上にスペースを空けるように設定できます。ただし印字例のように買上点数を印字するように設定している場合は、買上点数の上にスペースが空きます。

2006年 1月15日	14:13	1	日付印字(※96ページ)
000123#0037	田中		時刻印字(※96ページ)
			一連番号印字(※96ページ)
部門01	内¥1,000		
部門02	内¥250		
**小計	¥1,250		
部門01	内¥300		
部門02	内¥350		
**小計	¥1,900		小計キーで印字(※100ページ)
部門01	内¥1,250		
**小計	¥3,150		
(内税)	¥150		
個数	5個		合計前紙送り(※100ページ)
現金	¥3,150		買上点数印字(※100ページ)

■ 店名ロゴとメッセージ印字様式の設定 (ヘッダ/フッタ) 【設定番号28】

次の項目の印字様式を設定できます。

- ・メッセージ (ヘッダ/フッタ) の印字選択
- ・フッタ印字の選択
- ・店名ロゴの選択
- ・メッセージ1印字、メッセージ2印字の選択

例

ヘッダ/フッタを登録のみ、フッタ印字を全レシート、店名ロゴをお買上票、店名ロゴ印字をヘッダ印字、メッセージ1をヘッダ印字、メッセージ2を印字しない、に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。

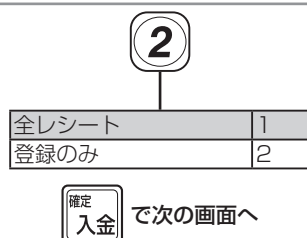


ヘッダ/フッタ
[変換]で次 [確定]で決定

◆メッセージ (ヘッダ/フッタ) の印字選択

店名ロゴの下 (ヘッダ) のメッセージとレシートの下端 (フッタ) のメッセージを売上登録時に発行するレシートの上に印字するように設定できます。プリンタの構造上、登録のみに印字する設定にしても、登録以外のモードで店名ロゴやメッセージの一部が印字される場合があります。

3 ヘッダ/フッタを設定します。

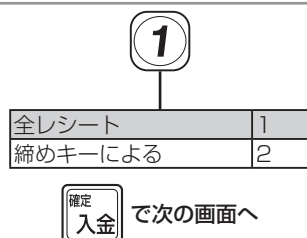


ヘッダ/フッタ 全レシート
[1]全レシート[2]登録のみ

◆フッタ印字の選択

レシートの下端 (フッタ) に印字されるメッセージを取引締めキー (現金/預り、信用、券売、掛売) 使用時のみ印字するように設定できます。この設定にしたときは、「現金/預り、信用、券売、掛売の設定」 (P.75 ページ) で各キーに対して個別に、「フッタ印字なし/あり」を設定してください。

4 フッタ印字を設定します。

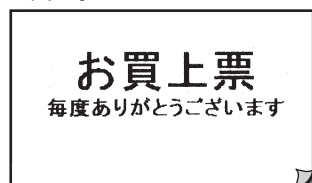


フッタ印字 全レシート
[1]全レシート[2]締めキーによる

◆店名ロゴの選択

店名ロゴの印字を、次の2つの標準ロゴから選択できます。

お買上票



領収証



5 店名ロゴを設定します。

1

店名ロゴ選択 お買上票
[1] 買上 [2] 領収 [3] その他

お買上票	1
領収証	2
その他	3



で次の画面へ



「3その他」は店名ロゴに、お店独自の店名グラフィックロゴ、または文字設定による店名ロゴを使われているとき、現在の設定として表示されますが、ここでは選択できません。



グラフィック店名ロゴをご使用になっている場合、または文字設定による店名ロゴを設定している(※90ページ)場合に、この設定をおこなうと店名ロゴが上記の標準ロゴに変更され、グラフィック店名ロゴのデータは消去されますのでご注意ください。

6 店名ロゴ印字を設定します。

1

店名ロゴ印字 ヘッダ
[1] ヘッダ [2] なし

ヘッダ印字	1
印字しない	2



で次の画面へ

◆メッセージ1印字、メッセージ2印字の選択

コマーシャルメッセージの設定(※90ページ)で設定したメッセージ1、メッセージ2をヘッダまたはフッタに印字するかしないかを設定できます。メッセージ1とメッセージ2をヘッダ(フッタ)に印字する設定にした場合は、ヘッダ(フッタ)にメッセージ1に続いてメッセージ2が印字されます。

7 メッセージ1の印字を設定します。

1

メッセージ1印字 ヘッダ
[1] ヘッダ [2] フッタ [3] なし

ヘッダ印字	1
フッタ印字	2
印字しない	3



で次の画面へ

8 メッセージ2の印字を設定します。

3

ヘッダ印字	1
フッタ印字	2
印字しない	3

設定内容を確認します。
設定した内容が印字されます。

確定
入金

メッセージ2印字 なし
[1]ヘッダ [2]フッタ [3]なし

ヘッダ / フッタ
[変換]で次 [確定]で決定

9 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが
出ます。

現金/預り

■ 売上登録印字形式の設定【設定番号28】

売上登録時のレシートへの印字形式を各種設定することができます。
印紙貼付けの設定を「金額による」に設定しておくこと、「印紙金額」
で設定された金額以上のレシートを発行する際に、自動的に収入印紙
用の余白を作成して印字します。

部門01 内¥36,000
**小計 ¥36,000
(内税) ¥1,714
個数 1個
現金 ¥36,000

収入印紙用余白

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。

2 8 変換 %1 確定 入金、
変換 %1 5回

登録印字形式
[変換]で次 [確定]で決定

3 設定する項目を選択します。

確定
入金

登録レシート印字 明細
[1]合計 [2]明細

(任意の回数)

- を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。
- 登録レシート印字 1:合計のみ印字 2:明細印字
 - 事後・コピーレシート 1:合計のみ印字 2:明細印字
 - 現金単品売り 1:明細印字 2:合計のみ印字
 - 単価0のPLU 1:PLU名のみ印字 2:通常印字
 - 小計キーで印字 (小計キーを押すごとに小計を印字)
1:しない 2:する
 - 買上点数印字 1:する 2:しない
 - 合計前紙送り 1:しない 2:する
 - 印紙貼付け 1:なし 2:金額による
 - 印紙金額 0~99999999(初期値:30000)

印紙金額 30,000
数字[確定] 0

4 上記一覧を参考に設定番号を入力 **①** または **②**、 小計 します。

Memo 「印紙金額」設定の場合は、数値を入力して 入金 を2回押してください。

設定内容が印字されます。
別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

5 設定を終了します。 現金/預り

■ 領収証の設定【設定番号28】

領収証に印字する領収証ロゴと店名ロゴの切りかえができます。また、領収証に印字する一連番号を何番からスタートさせるかを設定します。領収証控え発行の有無や、収入印紙枠を印字する金額を設定します。

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。 ② ⑧ 変換 %1 確定 入金、
変換 %1 6回

領収証
[変換]で次 [確定]で決定

3 設定する項目を選択します。 確定 入金
(任意の回数)

領収証ロゴ* 領収証ロゴ*
[1] 領収証ロゴ* [2] 店名ロゴ*

入金を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

- ・領収証ロゴ 1: 領収証ロゴ 2: 店名ロゴ
- ・領収証控え 1: 控えなし 2: 控えあり
- ・任意額内税印字 1: しない 2: する
- ・領収証番号 0～9999 (初期値: 0)
- ・印紙金額 0～99999999 (初期値: 30000)

印紙金額 30,000
数字[確定] 0

4 上記一覧を参考に設定番号を入力 **①** または **②**、 小計 します。

Memo 「領収証番号」と「印紙金額」設定の場合は、数値を入力して 入金 を2回押してください。

設定内容が印字されます。
別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

- 5** 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが
出ます。

現金/預り

■ 集計レポート印字の設定【設定番号28】

点検・精算レポートの印字の時に、レポート数がゼロの時に印字をするかしないか、また集計期間を印字するかしないかを選択できます。

- 1** 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



- 2** 設定画面を表示します。



集計レポート印字
[変換]で次 [確定]で決定

- 3** 設定する項目を選択します。



(任意の回数)

を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

- ・ PLUレポ0スキップ (PLUレポート) 1: しない 2: **する**
- ・ レポートゼロスキップ (PLUレポート以外) 1: しない 2: **する**
- ・ 集計期間印字 1: しない 2: **する**

PLUレポ0スキップ する
[1]しない[2]する

集計期間印字 しない
[1]しない[2]する

- 4** 上記一覧を参考に設定番号を入力 **①** または **②**、

小計

設定内容が印字されます。
別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

- 5** 設定を終了します。
設定した内容を印字したレシートが
出ます。

現金/預り

■ 電子ジャーナルの設定【設定番号28】

電子ジャーナルを圧縮印字にすることができます。電子ジャーナルのメモリーフル時の動作を設定します。

メモリーフル時の動作

無視する:メモリーの残りがなくなると、古いデータから削除します。警告表示はしません。

警告のみ:メモリーの残りが10%以下になると、「電子ジャーナル残り少」を表示します。メモリーの残りがなくなると、「電子ジャーナル残なし」を表示します。その後の登録は可能です。

ロック:メモリーの残りが10%以下になると、「電子ジャーナル残り少」を表示します。メモリーの残りがなくなると、エラーとなり「電子ジャーナル残なし」を表示します。続けて登録ができなくなりますので、丁度締めか取消の操作をおこなった後、営業記録を精算してください。

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。



電子ジャーナル
[変換]で次 [確定]で決定

3 設定する項目を選択します。



(任意の回数)

[RE 入金]を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

- ・印字形式 1:通常印字 2:圧縮印字
- ・フル時の動作 1:無視 2:警告のみ 3:ロック

印字形式 通常
[1]通常[2]圧縮

フル時の動作 無視
[1]無視[2]警告のみ[3]ロック

4 上記一覧を参考に設定番号を入力①、②または③、

小計

設定した内容が印字されます。
別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

5 設定を終了します。

設定した内容を印字したレシートが出ます。

現金/預り

■ 省電力の設定(スリープモード)【設定番号28】

スリープモードに入る時間を設定します。また、表示部に時刻が表示されている間はスリープモードに入らないようにすることができます。スリープモードに入ると、オペレータ側表示部のバックライトが消え、客側表示部は消灯します。

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



2 設定画面を表示します。



省電力
[変換]で次 [確定]で決定

3 設定する項目を選択します。



(任意の回数)

[RE 入金]を押すごとに、下記の設定項目が順に表示されます。

- ・省電力時間 1～254(分)(初期値:30分)
- ・時計表示中 1:有効 2:無効

省電力時間 30分
数字[確定]

時計表示中 有効
[1]有効[2]無効

4 上記一覧を参考に設定番号を入力 **①** または **②**、 小計

Memo 「省電力時間」を設定する場合は、数値を入力して 入金 を2回押します。

設定内容が印字されます。
別の設定項目を続けて設定する場合は、手順3～4をおこなってください。

5 設定を終了します。 現金/預り
設定した内容を印字したレシートが出ます。

■ 全データ自動バックアップの設定【設定番号28】

全項目精算時、SDメモリーカードに設定や売上の全データを自動的にバックアップ(データ保存)するように設定できます。

例 全項目精算時に自動バックアップする、に設定するとき

1 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定画面を表示します。 ② ⑧ 変換 %1 確定 入金、
変換 %1 10回
確定 入金 で次の画面へ

SDカード
[変換]で次 [確定]で決定

3 自動バックアップの設定をします。

ご注意 「する」に設定した場合、精算時にSDメモリーカードがカードスロットに入っていないとエラーになり「SDカードエラー カードが見つかりません」と表示されます。

	②
しない	1
する	2

自動バックアップ する
[1]しない[2]する

設定内容を確定します。
設定内容が印字されます。

確定 入金

SDカード
[変換]で次 [確定]で決定

4 設定を終了します。 現金/預り
設定した内容を印字したレシートが出ます。

はじめてお使い いただくとき

ここでは、レジスタの設置や日付の登録など、お使いいただく前の準備作業について説明しています。

1. はじめてお使いになるとき
2. 各部の名前とはたらき
3. レジスタの1日の流れ

売上登録をするとき

ここでは、売上登録のしかたや登録の訂正のしかたなど、レジスタの基本的な操作方法を説明しています。

1. 基本的な使いかた
2. お店にあわせた使いかた
3. 訂正のしかた

売上の点検と精算をするとき

ここでは、売上の点検と精算の種類やその操作方法、営業記録の印字方法などを説明しています。

1. 営業中の売上の確認
2. 1日の売上の点検・精算
3. 期間集計の点検・精算
4. 営業記録の確認

各種設定をするとき

ここでは、レジスタを使ううえで必要な設定内容とその設定方法について説明しています。

1. 設定をする前に
2. 部門とPLUの設定
3. 機能キーの設定
4. 消費税の設定
5. 責任者名、ロゴ、メッセージ、プリンタと通信の設定
6. その他の設定

知っておいて いただきたいこと

ここでは、カスタマサポートツールやレジスタのメンテナンスについて説明しています。

1. カスタマサポートツールについて
2. SDメモリーカードについて
3. キーボードの取扱いについて
4. ロール紙の補充と交換
5. 引出しなどの取扱いについて

困ったときは

アフターサービスについて

付 録

1

知っておいていただきたいこと

．カスタマサポートツールについて

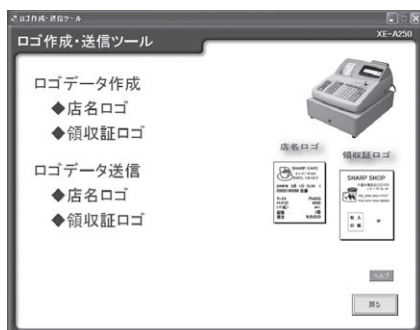
ここでは、カスタマサポートツールを使ってできること、インストールから起動までの流れを説明しています。カスタマサポートツールの操作方法については、メインメニューの右下にある「PDFマニュアル」をクリックして、表示されるPDFファイルをごらんください。

■ カスタマサポートツールでできること

カスタマサポートツールは以下のツールで構成されています。

▶ ログ作成・送信ツール

パソコンでこのツールを使って店名ロゴ、領収証ロゴを作成することができます。また、USBケーブルで接続したレジスタへは直接送信できます。あるいは、SDメモリーカードに保存し、それを使ってレジスタにデータを読み込むことができます。メインメニューで「ログ作成・送信ツール」を選択すると、「ログ作成・送信ツール」のメニューが表示されます。



店名ロゴまたは領収証ロゴの作成(店名ロゴ作成の場合)



店名ロゴまたは領収証ロゴの送信(領収証ロゴ作成の場合)



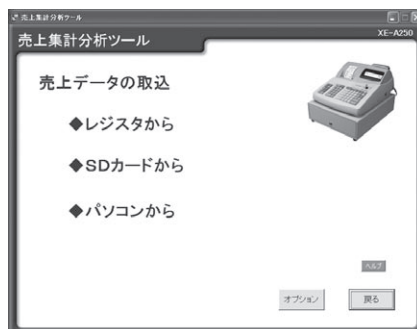
▶ 簡単設定ツール

レジスタ用のさまざまな設定をパソコンで行うことができます。USBケーブルで接続したレジスタへは、直接送信できます。SDメモリーカードを使用する場合は、それに保存してレジスタにデータを読み込むことができます。メインメニューで「簡単設定ツール」を選択すると、「簡単設定ツール」のメニューが表示されます。



▶ 売上集計分析ツール

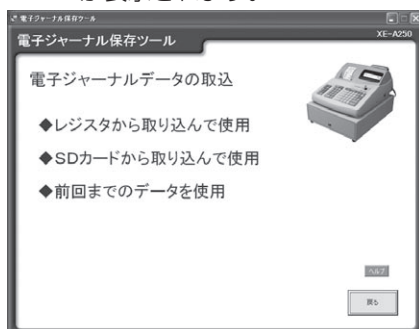
レジスタまたはSDメモリーカードから売上データをパソコンに取り込み、売上の集計と分析(グラフ表示)ができます。また、日報をパソコンで簡単に印刷できます。さらに、CSVファイルとして保存することもでき、Microsoft Excelなどの表計算ソフトで使用できます。メインメニューで「売上集計分析ツール」を選択すると、「売上集計分析ツール」のメニューが表示されます。



▶ 電子ジャーナル保存ツール

レジスタまたはSDメモリーカードから電子ジャーナルデータをパソコンに取り込み、データを保存することができます。USBケーブルでレジスタと接続した場合は、パソコンに読み込んだ電子ジャーナルをレジスタのプリンタで印字することや、レジスタの電子ジャーナルデータをクリアすることもできます。

メインメニューで「電子ジャーナル保存ツール」を選択すると、「電子ジャーナル保存ツール」のメニューが表示されます。



▶ PDFマニュアル

カスタマサポートツールの機能と操作を説明しています。

■ インストール

カスタマサポートツールをインストールするには、パソコンのメディアドライブにカスタマサポートツールCD-ROMを挿入します。画面の指示に従いカスタマサポートツールをインストールしてください。インストールの詳細は、CD-ROMを挿入したあと、自動的に表示される画面内の「インストール前にお読みください」をクリックして表示されるインストールマニュアルをお読みください。

必要動作環境

OS	Microsoft Windows 2000/XP
ハードウェア	IBM PC/AT互換機 USB1.1/2.0ポートまたはSDカードI/F
ハードディスクの空き容量	60MB以上の空き容量
メモリ	128MB以上のRAM
CPU(推奨)	Pentium II 300MHz以上
ディスプレイ	解像度800×600(SVGA)HighColor(16ビット)以上

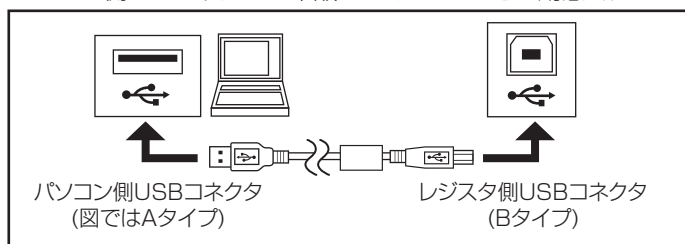
■ レジスタとのデータのやり取り

USBケーブルまたはSDメモリーカードを使用してパソコンとレジスタの間でデータをやり取りすることができます。

▶ USBケーブルで接続するときは

パソコンとレジスタの間で直接データのやり取りをおこなうには、USBケーブルを使って、レジスタとパソコンを接続します。

レジスタ側がBコネクタの市販USBケーブルをご用意ください。



- ・USBケーブルで接続する場合、カスタマサポートツールのインストール前にはパソコンとレジスタを接続しないでください。
- ・USBケーブルで、データのやり取りをおこなうとき、機能切りかえスイッチは「停止」以外で実行してください。また通信中は機能切りかえスイッチの切りかえをおこなわないでください。

▶ SDメモリーカードを使用するときは

データをレジスタ(またはパソコン)からSDメモリーカードに書き込み、その後、そのSDメモリーカードからパソコン(またはレジスタ)にデータを読み込みます。SDメモリーカードは市販品を使用できますが、パソコンや他の機器で初期化したSDメモリーカードでは正常に動作しないことがありますので、使用前に必ず本レジスタ (XE-A250) で初期化してください。SDメモリーカードの詳細については「SDメモリーカードについて」(109ページ)をお読みください。

■ 起 動

インストール後、カスタマサポートツールを起動するには、[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[SHARP ECR TOOL]ー[XE-A250 スタマサポートツール]ー[カスタマサポートツール]を選択してください。デスクトップにあるショートカットアイコンをクリックしてカスタマサポートツールを起動することもできます。

■ メインメニュー

起動するとメニュー画面が表示されます。メニュー画面には、各ツールのタイトルが表示されますので、使いたいツールのタイトルをクリックしてください。



2. SDメモリーカードについて

知っておいていただきたいこと

■ SDメモリーカードでできること

カスタマサポートツールを使用してレジスタの売上データや設定データを、SDメモリーカード（市販品）でやり取りしパソコンで管理することができます。また、SDメモリーカードを使用すると、レジスタのデータをバックアップしておくことができます。

機能対象	設定名	データ	設定番号
カスタマサポートツール 管理用機能	設定データ書き込み	設定データの一部を選択してSDメモリーカードに書き込みます。	53
	設定データ読み込み	SDメモリーカードに保存された設定データの一部を選択して、レジスタに読み込みます。	54
	売上データ書き込み	売上データをSDメモリーカードに書き込みます。	55
	電子ジャーナル	営業記録（電子ジャーナル）の内容をSDメモリーカードに書き込みます。SDメモリーカードに書き込んだ電子ジャーナルのデータをレジスタで印字することができます。	56
バックアップ機能	全データ書き込み	バックアップ用として全ての売上・設定データをSDメモリーカードに書き込みます。	51
	全データ読み込み	バックアップされた全ての売上・設定データをSDメモリーカードからレジスタに読み込みます。	52

Memo 本書ではレジスタ側の操作のみを記載していますので、くわしくはカスタマサポートツール内の「PDFマニュアル」をお読みください。

使用できるSDメモリーカード

データのやり取りにはパソコン側にSDカードリーダーが必要です。SDメモリーカードは容量64MB～512MBの市販品をレジスタでフォーマット（※110ページ）してから使用してください。東芝製、松下製、サンディスク製のSDメモリーカードを推奨します。

- ご注意**
- ・ データをやり取りをする際に、SDメモリーカードに書き込むデータの容量は64MB以下です。
 - ・ SDメモリーカードの取扱いについては、SDメモリーカードに付属の説明書をよくお読みください。
 - ・ SDメモリーカードの保存内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害については、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・ SDメモリーカードにアクセスしている間は、カードにふれたり、カードを抜いたりしないでください。データが破損する恐れがあります。
 - ・ SDメモリーカードにデータをバックアップする場合、同じ種類のデータがSDメモリーカードにあるときは、以前のデータは消去され、新しいデータが書き込まれます。上書きしたくない場合は、他の記録媒体にバックアップをしてください。

■ SDメモリーカードの入れかた、出しかた

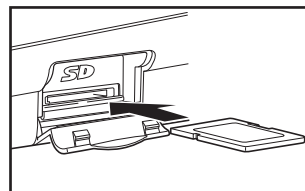
SDメモリーカードを差し込むためのSDカードスロットは、レジスタ右側面のカバー内部にあります。

SDメモリーカードを差し込むとき

SDロゴが印刷されている面を上にして、カードをSDカードスロットに差し込みます。カチッと確実に入るまで押し込み、ゆっくりと指を離します。

SDメモリーカードを取り外すとき

カードを軽く指で押し込み、指を離すとカードが排出されます。



知
っ
て
お
い
て
い
た
だ
き
た
い
こ
と



- ・SDメモリーカードが確実にSDカードスロットに入っていることを確認してから、カバーを閉めてください。カードが途中までしか入っていない状態でカバーを閉めると、カードやSDカードスロットが損傷する原因となります。
- ・SDメモリーカードを入れるとき・取り出すときは、すぐに指を離さないでください。急に指を離すとカードが飛び出し、けがの原因となることがあります。
- ・SDメモリーカードをSDカードスロットに入れている状態で停電になったり、電源プラグを抜いた場合、SDメモリーカード内のデータが破損する恐れがあります。

■ SDメモリーカードのフォーマット【設定番号57】

新しくSDメモリーカードを購入したときや、SDメモリーカードに記憶されている内容を全て消去してしまいたいときは、レジスタでSDメモリーカードをフォーマットします。



SDメモリーカードは購入時にフォーマットの作業が必要ですが、その後は、何度もフォーマットする必要はありません。データが保存されているSDメモリーカードをフォーマットすると、カードに保存されているデータはすべて消去されてしまいます。

1 フォーマットが必要なSDメモリーカードを、SDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 SDフォーマットを選択します。
SDカードフォーマットの画面が表示されます。



SDをフォーマットします
[確定]で実行[クリア]で中止

4 SDメモリーカードのフォーマットを開始します。



SDフォーマット中
SDを抜かないでください

フォーマット中、右の画面が表示されます。



SDメモリーカードがスロットに差し込まれていない、または確実に差し込まれていない場合は「SDカードエラー カードがみつかりません」とメッセージが表示されます。

フォーマットが完了すると、レシートが印字され、右の画面が表示されます。

フォーマットを完了しました

■ 設定データの書き込み【設定番号53】

パソコン上で設定を変更するために、レジスタ上の設定をSDメモリーカードへ書き込む操作です。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 設定番号を選択します。



53 設定データ書き込み
[変換]で次 [確定]で決定

4 設定番号を確定します。
全設定の画面が表示されます。



全設定
[変換]で次 [確定]で決定

5 項目を選択、確定します。

を押すごとに、下記の項目が順に表示されます。

「全設定」→「部門設定」→「PLU設定」→「機能設定」→「消費税設定」→「責任者設定」→「メッセージ設定」→「その他設定」



(任意の回数)、



SDに書き込みます
[確定]で実行[クリア]で中止

6

書き込みを開始します。

書き込み中、右の画面が表示されます。



SD書き込み中
SDを抜かないでください

書き込みが終了すると、レシートが印字され、書き込みが完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

書き込みを完了しました

■ 設定データの読み込み【設定番号54】

パソコン上で設定を変更して、SDメモリーカードに書き込んだ設定データを、レジスタに読み込む操作です。

パソコンで作成、または作成依頼したグラフィック店名ロゴや領収証ロゴのデータを、レジスタの設定に読み込むには、この操作をおこないます。

1

SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2

機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。

**3**

設定番号を選択します。



54 設定データ読み込み
[変換]で次 [確定]で決定

4

設定番号を確定します。

全設定の画面が表示されます。



全設定
[変換]で次 [確定]で決定

5

項目を選択、確定します。

を押すごとに、下記の項目が順に表示されます。

「全設定」→「部門設定」→「PLU設定」→「機能設定」→「消費税設定」→「責任者設定」→「メッセージ設定」→「その他設定」→「店名ロゴ設定」→「領収証ロゴ設定」



(任意の回数)、



SDから読み込みます
[確定]で実行[クリア]で中止

6

読み込みを開始します。

読み込み中、右の画面が表示されます。



SD読み込み中
SDを抜かないでください

読み込みが終了すると、レシートが印字され、読み込みが完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

読み込みを完了しました

POINT! 店名ロゴ・領収証ロゴデータの読み込み

パソコンで作成、または作成依頼した店名ロゴまたは領収証ロゴのデータは、「設定データの読み込み【設定番号54】」の機能を使ってSDメモリーカードからレジスタに読み込むことができます。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 読み込みの操作をおこないます。

●店名ロゴデータの読み込み

5 **4** 変換 %1 確定 入金、変換 %1 8回

確定 入金 確定 入金

店名ロゴ設定
[変換]で次 [確定]で決定

読み込みを完了しました

●領収証ロゴデータの読み込み

5 **4** 変換 %1 確定 入金、変換 %1 9回

確定 入金 確定 入金

領収証ロゴ設定
[変換]で次 [確定]で決定

読み込みを完了しました

■ 売上データの書き込み【設定番号55】

パソコン上に売上データを取り込むために、レジスタの売上データをSDメモリーカードへ書き込む操作です。書き込みをする時点の一日の全売上データと期間集計1および2のデータすべてがSDメモリーカードに書き込まれます。1枚のSDメモリーカードに、複数の売上データを保存することはできません。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 設定番号を選択します。

5 **5** 変換 %1

51 全データ書き込み
[変換]で次 [確定]で決定

- 4** 設定番号を確定します。
書き込みの画面が表示されます。



SDに書き込みます
[確定]で実行[クリア]で中止

- 5** 書き込みを開始します。
書き込み中、右の画面が表示されます。



SD書き込み中
SDを抜かないでください

書き込みが終了すると、レシートが印
字され、書き込みが完了したことを
知らせるメッセージが表示されます。

書き込みを完了しました

■ 電子ジャーナルの書き込み【設定番号56】

レジスタの電子ジャーナルデータを、SDメモリーカードに書き込みます。SDメモリーカードに書き込んだ後、レジスタ内の電子ジャーナルデータを消す（クリアする）ことができます。1枚のSDメモリーカードに、複数の電子ジャーナルデータを書き込むことはできません。

- 1** SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

- 2** 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



- 3** 設定番号を選択します。



56 電子ジャーナル
[変換]で次 [確定]で決定

- 4** SDメモリーカードへの書き込み方法に応じて①②のどちらかの操作を選択します。

書き込みのみする場合、①を選択して手順5へ
書き込みと消去をする場合、②を選択して手順5へ

①書き込みのみする場合



書き込み
[変換]で次 [確定]で決定

②書き込みと消去（クリア）する場合



書き込みとクリア
[変換]で次 [確定]で決定

- 5** 処理を開始します。
書き込み中、右の画面が表示されます。



SD書き込み中
SDを抜かないでください

処理が終了すると、レシートが印字
され、作業が完了したことを知らせ
るメッセージが表示されます。

書き込みを完了しました

■ 電子ジャーナルの印字【設定番号56】

SDメモリーカードに書き込んだ電子ジャーナルのデータを、レジスタで印字することができます。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 設定番号を選択します。



56 電子ジャーナル
[変換]で次 [確定]で決定

4 電子ジャーナルの印字を選択します。



2回、

印字出力
[変換]で次 [確定]で決定

5 印字を開始します。

書き込み中、右の画面が表示されます。



印字出力中
SDを抜かないでください
中断は取引後訂正モード



電子ジャーナルの印字を途中で止める場合は、機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置に合わせると、「*****」が印字され止まります。

■ 全データの書き込み(バックアップ)【設定番号51】

レジスタの設定内容や売上内容のデータをSDメモリーカードに書き込んでバックアップをとることができます。バックアップをとっておくと初期状態に戻ってしまったときなどに、バックアップをとった時点の状態まで、設定内容や売上内容のデータを元に戻すことができます。「全項目精算」の実行時に自動的にSDメモリーカードへのバックアップが働くように設定できます。設定方法は「全データ自動バックアップの設定」(P104ページ)を参照してください。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 設定番号を選択します。



51 全データ書き込み
[変換]で次 [確定]で決定

4 設定番号を確定します。

書き込みの画面が表示されます。



SDに書き込みます
[確定]で実行[クリア]で中止

5 書き込みを開始します。

書き込み中、右の画面が表示されます。



SD書き込み中
SDを抜かないでください

書き込みが終了すると、レシートが印字され、書き込みが完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

書き込みを完了しました

■ 全データの読み込み（バックアップデータの復元）【設定番号52】

バックアップしたデータをレジスタのメモリーに戻す（バックアップの復元）ことができます。



レジスタヘデータを読み込む（バックアップデータの復元）と、すべての設定内容（日付・時刻を除く）や売上内容がバックアップをとった時点の状態に戻ります。復元の操作は慎重におこなってください。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 機能切りかえスイッチを「設定」に合わせます。



3 設定番号を選択します。



52 全データ読み込み
[変換]で次 [確定]で決定

4 設定番号を確定します。
読み込みの画面が表示されます。



SDから読み込みます
[確定]で実行[クリア]で中止

5 読み込みを開始します。
読み込み中、右の画面が表示されます。



SD読み込み中
SDを抜かないでください

読み込みが終了すると、レシートが印字され、読み込みが完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

読み込みを完了しました



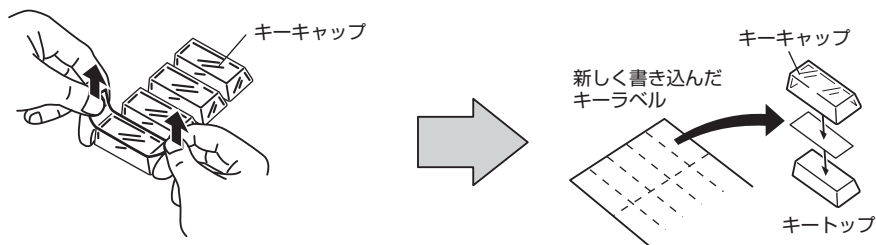
SDメモリーカードにアクセスしている間は、電源を切らないでください。また機能切りかえスイッチを「設定」の位置から変更しないでください。ただし、電子ジャーナル印字を途中で止める場合のみ、「設定」の位置から「取引後訂正」の位置に変更できます。

3. キーボードの取扱いについて

知っておいていただきたいこと

■ キーラベルを入れるとき

キーキャップを外して、商品名などを書き込んだキーラベルを入れることができます。



キーキャップが外れにくいときは、セロハンテープを貼り付け、キーキャップ側面を指で軽く押さえて持ち上げてください。

新しく書き込んだキーラベルを切り取り、キーキャップの内側に入れてから取り付けます。下のキーラベルをコピーしてお使いください。

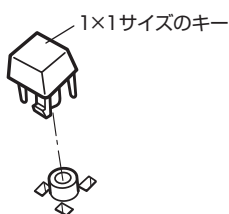
使用例

ケーキ 1			9	13	17	
			5	8	12	16
			7	11	15	19
1	3	6	10	14	18	

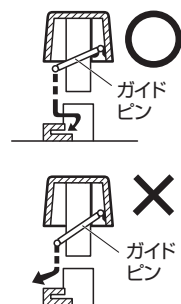
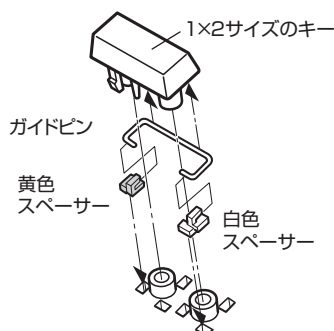
キーラベルはコピーしたものを切り取ってお使いください。

■ キートップが外れてしまったとき

下図のようにキーボードへ差し込んでください。



カチッと入るまで差し込みます。



ガイドピンをスペーサーに引っかけてから差し込みます。ガイドピンがスペーサーにかかってないと、キーが反応しないことがあります。

4. ロール紙の補充と交換

知っておいていただきたいこと

■ ロール紙について

このレジスタには、次の消耗品が用意されています。お買い上げいただいた販売店でお買い求めください。

品 名	品 番	外 径	備 考
ロール紙	RL140T (5巻/1パック)	70mm	紙質：上質感熱紙 紙幅：57.5±0.5mm
	RL130T (5巻/1パック)	80mm	
ロール紙 (高保存タイプ)	RL141T (5巻/1パック)	70mm	
	RL131T (5巻/1パック)	80mm	

■ ご注意

ロール紙は必ず当社推奨のものをご使用ください。

推奨以外のロール紙をご使用になりますと、紙づまりを起こすなど、故障の原因となります。



推奨ロール紙

紙質 : 上質感熱紙

紙幅 : 57.5±0.5mm

外径最大 : 81mm

紙厚 : 0.06~0.08mm

用紙重量 : 52.3~64.0 g/m² (44~55kg/1000枚/788×1091mm)

- ・ロール紙はご使用時まで、開封しないでください。
- ・ロール紙の取り扱いには充分ご注意ください。常温(20℃)、常湿(60%)の冷暗所で箱に入れて保管することをお勧めします。また、印字されたものをノートなどに貼り付ける際は、余白(印字されていない部分)に糊付けをしてください。
- ・次のような場所での保管や取り扱いは、お避けください。紙の表面や印字された文字が変色したり退色することがあります。
 - ・湿気の多い場所(気温40℃、相対湿度80%以上)
 - ・ほこりの多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・60℃以上の高温になる場所(ストーブ/ヒーター/火のついたタバコなどの熱源のそばや自動車の車内など)
- ・次のような行為は避けてください。紙の表面や印字された文字が変色したり退色することがあります。
 - ・紙の表面を爪、筆記用具、金属などで擦ったり、ロール紙を落したり、ぶつけたりして表面を傷つける行為
 - ・ロール紙を雨や水と接触させたり、汗ばんだ手で触れるなどの行為
- ・次のような事務用品や可塑剤・有機溶剤また、皮製品との接触は避けてください。紙の表面や印字された文字が変色したり退色することがあります。
 - ・蛍光ペン、マーカーペン、メンディングテープ、セロハンテープなどのテープ類、接着剤、スタンプ類、朱肉印、ジアソコピー(青焼き紙)、消しゴム
 - ・ボンド、シンナー、アルコール、ベンジン、整髪料、油脂、ハンドクリーム、塩化ビニル製ファイル/袋/ラップなど、皮製品

知っておいていただきたいこと

■ 交換のしかた

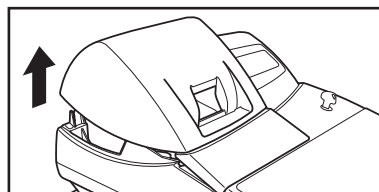
ロール紙の赤い部分が出てきたときは、ロール紙が残り少なくなっています。お早めに新しいロール紙に交換してください。

交換の前に「ご注意」を必ずお読みください。（[P.117](#)ページ）

ご注意 ⚠ プリンタにロール紙が取り付けられていなかったり、紙切れになったときは、表示部に“ロール紙がありません”とエラー表示されて使用できなくなります。そのような場合は、ロール紙を取り付けてから、**⏮**を押してエラー解除してください。（プリンタエラー記号“=====”が印字されます。）

▶ 取り出しかた

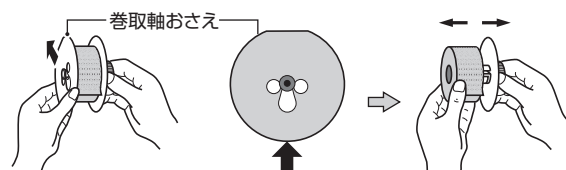
1 プリンタカバーを取り外します。



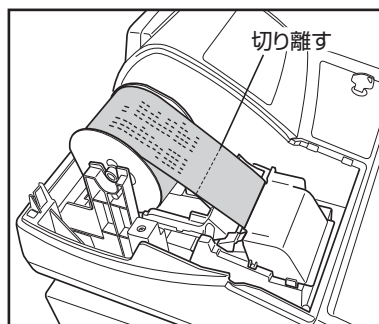
2 機能切りかえスイッチを「登録」の位置に合わせます。

3 記録紙として使っているときは記録紙を取り外します。

- ・ **⏮**を押して記録紙を数行送ってから、ロール紙を切り離し、巻取軸を軸受けから取り外します。
- ・ 巻取軸から巻取軸おさを取り外し、記録紙を外します。

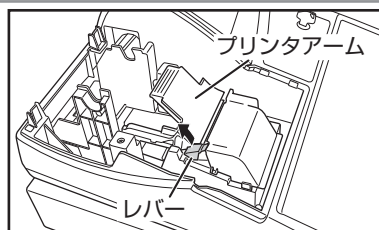


この部分を矢印の方向に押して、巻取軸おさを外します。



ご注意 ⚠ **⏮**を押さずに、ロール紙を無理に引っ張らないでください。プリンタヘッドが損傷する原因となります。

4 プリンタアームのレバーを矢印の方向へ押して、プリンタアームを上げます。



5 残っているロール紙を取り除きます。

▶ 取り付けかた

ロール紙の取り付けかたは「ロール紙を取り付ける」（[P.12](#)ページ）を参照してください。

■ 紙づまりのとき

ロール紙が紙づまりを起こし、を押しても送られなくなったときは、次の方法で取り除いてください。

1 電源スイッチを切（“○”側）に押して、電源を切ります。

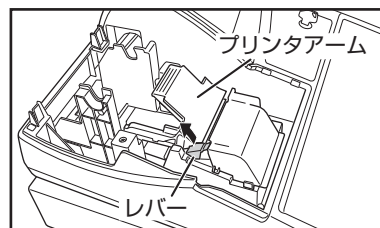
2 プリントカバーを取り外します。

3 巻取軸にロール紙を巻き取っているときは、先にロール紙と切り離してから、プリンタアームのレバーを矢印の方向へ押してプリンタアームを上げます。

4 ロール紙を外して、残った紙を取り除きます。切れ端などが残らないように注意してください。

5 電源スイッチを入（“|”側）に押して、電源を入れます。

6 「ロール紙を取り付ける」（ 12ページ）にしたがって、ロール紙を取り付けます。



5. 引出しなどの取扱いについて

知っておいていただきたいこと

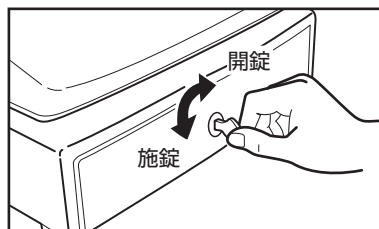
■ 引出しの施錠と開錠のしかた

長時間で使用にならないときは、引出し錠を施錠するように心がけてください。

付属の引出し鍵を本体前部の鍵穴に挿入し、時計と反対方向に90度回すと施錠されます。

開錠するときは時計方向に90度回してください。

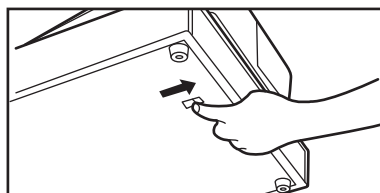
引出し鍵



■ 引出しの開けかた(停電時など)

通常の登録時には、引出しは自動的に開きますが、停電時や万一故障したときなどは、本体底面の穴の中にあるレバーを矢印方向に引いてください。

ただし、引出し錠を施錠しているときは開きません。

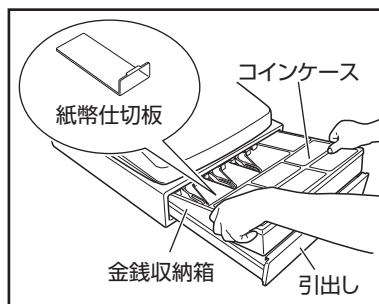


■ 金銭収納箱と引出しの外しかた

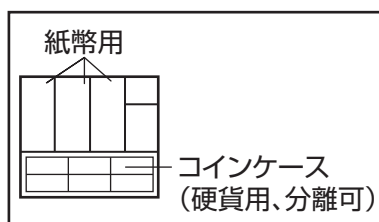
引出しと金銭収納箱は、分離型になっています。

金銭収納箱は、引出しをいっばいに引出した状態で、取り外してください。

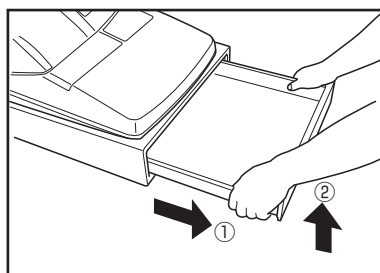
紙幣仕切板は、1万円札を下に入れるなど、上下で金種を分けてご使用ください。紙幣4金種まで扱えるようになります。



引出しは、硬貨6、紙幣3金種の収納箱を装備しています。また、コインケースは分離できます。



引出しを取り外すときは、金銭収納箱を外した状態で上に持ち上げながら引き抜いてください。



■ プリンタのお手入れのしかた

印字文字がかすれたり、黒ずんだりするときは、ほこりなどがプリンタヘッドに付着している可能性があります。このようなときは、乾いた柔らかい布でプリンタヘッドを軽く拭いてください。同時にローラーとセンサーも軽く拭いてください。付着したほこりが簡単にとれないときなど、必要に応じてアルコールを含ませた綿棒や柔らかい布などで軽く拭いてください。

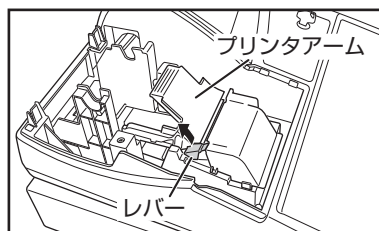


- ・作動中または作動終了直後は、プリンタヘッドおよびその周辺とモーター表面は高温になっていますので、お手入れはプリンタヘッドが十分に冷えてからおこなってください。
- ・プリンタヘッドに直接手で触れたり、工具やその他の固いものを近づけないでください。プリンタヘッドが損傷する原因となります。

1 電源スイッチを切（“○”側）に押して、電源を切ります。

2 プリンタカバーを取り外します。

3 巻取軸にロール紙を巻き取っているときは、先にロール紙と切り離してから、プリンタアームのレバーを矢印の方向へ押してプリンタアームを上げます。

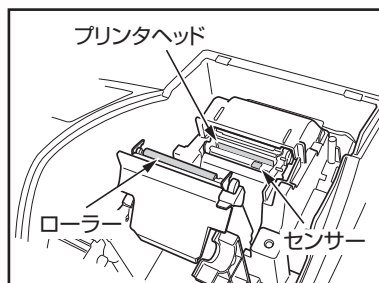


4 ロール紙を取り外します。

5 プリンタヘッド、ローラー、センサーを柔らかい布などで軽く拭きます。

6 電源スイッチを入（“|”側）に押して、電源を入れます。

7 「ロール紙を取り付ける」（12ページ）にしたがって、ロール紙を取り付けます。



表示部に“プリンタアームが上がっています”のエラーメッセージが表示されているときは、を押して表示を消してください。

困ったときは

■ 停電のとき

営業時間中停電になったり、コンセントが抜けたりしても、登録した内容は記憶されています。停電回復後、続けて操作してください。

■ 印字中に停電になったとき

その部分の印字は正確でないときがあります。停電回復後に“=====”を印字したあと、正しい印字がおこなわれます。

■ プログラムリセット

設定データや売上データなど、記憶内容を保持したままでレジスタを初期状態に戻す場合は、このプログラムリセットをおこないます。

1 電源スイッチを切（“○”側）に押しします。

2 機能切りかえスイッチを「設定」の位置に合わせます。



3 を押しながら、電源スイッチを入（“|”側）に押しします。
プログラムリセットをおこなうと、“プログラムリセット**”が印字されます。

■ ピーという警告音が鳴ったときは(エラー処理)

エラーが発生すると、長い警告音（約2秒間）が鳴り、表示部にエラーメッセージが表示されます。このときでエラー状態を解除し、下記のエラーメッセージ表の処理方法にしたがってください。また、誤ったキー操作をしたときは、短い警告音が鳴ります。このときキー入力を受け付けていませんので、引き続き正しいキー操作をおこなってください。

▶ エラーメッセージ表

エラーメッセージ	エラー内容と処理方法
登録エラー	登録が誤っているか、禁止されている登録です。 正しい登録をしておこなってください。
操作ミス 無効なキーが押されました	誤ったキー操作がおこなわれました。 正しいキー操作をしておこなってください。
番号エラー 無効な番号です	存在しない番号です。正しいコード番号を打ち込んでください。
小計強制 小計キーを押して下さい	小計キー操作が強制されています。  を押した後、操作を続けてください。
預かり入力強制 強制預かり額を入力して下さい	預り操作が強制されています。預り金額を打ち込んでください。 預り不足後の丁度締め操作はできません。金額の預り操作をしてください。
制限オーバー 制限内で登録して下さい	設定された制限をオーバーしています。 設定された制限内で登録してください。くわしい内容については、「オーバーフローエラーについて」(※124ページ)を参照してください。

エラーメッセージ	エラー内容と処理方法
オープン登録禁止 設定単価で登録して下さい	単価の登録方法が"プリセットのみ"になっています。あらかじめ設定されている単価を使って登録してください。
プリセット登録禁止 単価を入力して下さい	単価の登録方法が"オープンのみ"になっています。単価を打ち込んで登録してください。
レジバツファ フル 全項目取消はできません	登録件数が200件を超えました。 全項目取消はできません。〔現金/預り〕〔信用〕〔売売〕〔掛売〕などの取引キーを押していったん取引を終了してください。エラー前の金額で取引が終了します。
電子ジャーナル フル 電子ジャーナル精算して下さい	電子ジャーナルのメモリーに空き容量がありません。先に電子ジャーナルを精算してください。（※49ページ）
領収証エラー 発行しなおして下さい	ロール紙がなくなったか、紙詰まり、停電等により領収証が正しく印字されていません。再度、〔領収証〕を押して発行しなおしてください。
ロール紙がありません ロール紙をセットして 〔クリア〕を押す	プリンタのロール紙がなくなったか、プリンタにロール紙が入っていません。 新しいロール紙を入れてください。（※12ページ） 〔クリア〕を押すとエラー前の印字を再開します。
プリンタアームが上がっています プリンタアームをしっかり閉じて〔クリア〕を押す	プリンタアームが上がっています。プリンタアームをしっかり押さえて閉め直してください。（※13ページ）〔クリア〕を押すとエラー前の印字を再開します。
プリンタ異常 電源を切ってプリンタを確認 電源を入れて〔クリア〕を押す	印字中にプリンタが高温になっています。電源スイッチで電源を切り、プリンタが冷えるのを待ってから、電源を入れなおしてください。"〔クリア〕で印字再開します"が表示されたら、〔クリア〕を押してください。エラー前の印字を再開します。
SDカードエラー カードが見つかりません	SDメモリーカードが入っていません。 SDカードスロットにSDメモリーカードを入れてください。または正しく挿入しなおしてください。
SDカードエラー 書き込み禁止です	SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチが"書き込み不可"になっています。 ライトプロテクトスイッチを"書き込み可"にしてから再度、操作してください。
SDカードエラー 書き込みに失敗しました	SDメモリーカードのメモリーに空き容量がありません。 新しいSDメモリーカードをフォーマットしてご使用になるか、パソコン側でカード内の不要データを削除してから再度、操作してください。
SDカードエラー データが見つかりません	SDメモリーカードに対象となるファイルデータがありません。 対象となるデータを書き込みしたSDメモリーカードを入れてください。
SDカードエラー 読み込みに失敗しました	SDメモリーカードのファイルデータがまちがっています。 パソコン側で正しい操作をおこなって、SDメモリーカードへ書き込んでください。
SDカードエラー 停電が発生しました	SDメモリーカードへのアクセス中に停電しました。 停電復帰後、操作をやりなおしてください。
SDカードエラー	その他のSDメモリーカードエラーが発生しました。 最初から操作をやりなおしてください。

▶ オーバーフローエラーについて

レジスタの登録範囲を超えたときには、オーバーフローエラーとなり、以後の登録ができなくなります。エラー状態を解除し、次の処理方法にしたがってください。

置数入力が32桁を超えたとき

エラー解除後、正しく打ち込みなおしてください。

1取引内の外税抜きの商品合計額が7桁を超えたとき

エラー解除後、   などの取引キーを押していったん取引を終了してください。エラー前の金額で取引が終了します。

外税込みの合計、預り、入金、支払い金額が8桁を超えたとき

エラー解除後、分割して登録しなおしてください。制限桁数を設定しているときは、その桁数以下で登録しなおしてください。

乗算登録時、単価と個数の積が7桁を超えたとき

エラー解除後、分割して登録しなおしてください。

その他、個々に設定された制限値を超えたとき

エラー解除後、個々の制限内で登録しなおしてください。

 制限を超える登録が必要なときは、「登録」の位置で金額を打ち込んだあとで、機能切りかえスイッチを「取引後訂正」の位置にして、通常のキー操作をおこなってください。登録後は、機能切りかえスイッチを「登録」の位置に戻してください。

▶ を押してもエラー状態が解除できないときは

を押してもエラー状態が解除できないとき、エラーで操作ができないとき、どうしてよいかわらなくなったときは、次のように操作してください。

この操作によってエラー状態を解除したときは、「…解除機能により中止…」が営業記録に印字されます。

売上登録を中止し、はじめから登録しなおしたいとき

を2回押します。

「登録した内容を取り消す… 」(38ページ)をおこなった場合と同じように、登録途中の内容がすべて取り消されます。

を押して売上登録が終了している場合は、を2回押しても、売上登録は取り消されません。「レシート発行後に取り消す… 」(39ページ)を参照して、売上登録を取り消してください。

預り途中でエラーが発生して、を2回押した場合は、「現金丁度締め」として処理されますので、ご注意ください。

エラーを解除して現金丁度締めとして終了したいとき

を押したあと、を押します。

現金丁度締めとして処理されます。

ただし、不加算コードの入力後にエラーが発生して、この操作をした場合は、「両替」として処理されます。

■ 故障かなと思ったら

次のような場合は故障ではないことがあります。修理を依頼される前にもう一度お調べください。

機能切りかえスイッチを「停止」以外のどの位置に回しても、表示部が点灯しない	●電源スイッチは入（“ ”側）になっていますか？ ●電源コンセントまで電源が来ていますか？ ●電源コードの差し込みプラグがコンセントから抜けたりゆるんだりしていませんか？
表示部が点灯しても登録できない	●機能切りかえスイッチは「登録」の位置に正しく合わせていますか？
レシートが発行されない	●レシートの発行が“停止状態”になっていませんか？（P24ページ） ●紙づまりを起こしていませんか？（P119ページ） ●ロール紙の残量は十分ですか？（P118ページ） ●プリンタアームが確実に閉じていますか？（P13ページ）。
ロール紙を巻き取らない	●巻取軸は正しく軸受けに設置されていますか？ ●紙づまりを起こしていませんか？ ロール紙を切り離してから、もう一度ロール紙を入れなおしてください（P119ページ）。 ●印字形式を「レシート」に設定していませんか？ 「レシート」では巻き取りません。「営業記録（ジャーナル）」に設定を変えてください（P96ページ）。
印字が正常でない	●ロール紙は正しくセットされていますか？（P12ページ） ●ロール紙は当社推奨のものを使っていますか？（P117ページ） ●プリンタヘッド部にごみ等が付着していませんか？（P121ページ） ●プリンタの印字濃度の設定を薄くしていませんか？（P92ページ） ●プリンタアームが確実に閉じてないと、正常に印字されないことがあります。そのような場合は、プリンタアームを閉めなおしてください。（P13ページ）
部門キーや  を押しても登録できない	●登録単価の制限桁数が0に設定されていませんか？ 設定内容を確認し、0になっている場合は、設定しなおしてください（P63ページ）。 ●打ち込んだ金額が設定している登録単価の制限桁数以上になっていませんか？ 設定内容を確認してください（P60ページ）。
印字が中断する	●連続して長い行数を印字すると、途中で数秒間印字が止まること があります。 印字停止中は“印字処理中”と“→”が表示され、その後、印字が再開 します。（P43、P49、P59ページ）。
“プリンタ異常”が表示されて警告音が鳴る	●印字中、高温になったときエラー表示されます。 電源を切って1～2分待ってから、電源を入れなおしてください。

アフターサービスについて

■ 保証について

- ・このレジスタには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ・保証期間はご購入の日から1年間です。
- ・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- ・保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■ 修理を依頼されるとき

- ・「故障かなと思ったら」の項目をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
- ・それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、ご購入の販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☎127ページ）に次のことをご連絡のうえ、修理をお申し付けください。お申し出により出張修理いたします。

品名：電子レジスタ 形名：XE-A250 故障の状態（できるだけ詳しく）
--

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

- ・アフターサービスについてわからないことはご購入の販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☎127ページ）にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品について

当社は、この電子レジスタの補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後、7年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 別売品について

このレジスタには別売品として、防滴キーボードカバーとドロア分離キットが用意されています。ご購入の際は、ご購入いただいた販売店にお申し付けください。

■ グラフィック店名ロゴ作成ご依頼要領

店名ロゴには標準ロゴまたは、ご自身で文字設定したロゴを設定してご使用いただけますが、貴店独自のグラフィックロゴの作成を依頼される場合は、同梱の「グラフィック店名ロゴ作成依頼書」に指定の事項をご記入の上、ご購入いただいた販売店にお申し込みください(有償)。

納期は、ご依頼後約3週間です。



- ・プリンタの故障を防ぐため、印刷密度の制限があり、そのため店名ロゴに黒色部分が多いときは、店名ロゴを作成できない場合があります。
- ・ご依頼いただいたグラフィック店名ロゴはSDメモリーカードに作成されます。設定作業完了後は、お客様ご自身でSDメモリーカードを保管いただくことになります。
- ・システムの変更などによって初期設定が必要となった場合は、このSDメモリーカードからグラフィック店名ロゴを設定しなおすことになります。万一、紛失されたり、データが破壊されていた場合などの作成しなおしは有償となりますので、保管には充分ご注意ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れなどのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店、または下記窓口**にお問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お間違いないようにおかけください。

FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



使い方のご相談など

【レジスタ相談窓口】



0120-212-003

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～18:00
(祝日および年末年始を除く)

■ IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：03-6740-6012

FAX：03-3810-8617



修理のご相談など

【カスタマーセンター】(沖縄地区を除く)



0570-00-5008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～17:40
(祝日および年末年始を除く)

■〈PHS・IP電話をご利用〉または〈沖縄地区の方〉は…

東日本地区 PHS/IP電話：03-3810-8604

西日本地区 PHS/IP電話：06-6794-9676

沖縄地区 「那覇サービスセンター」098-861-0866(月～金 9:00～17:30)

「よくあるご質問」などはホームページを
ご活用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/ecr/>



補足

※修理ご依頼品を直接お持ち込み頂く場合は、最寄の拠点へお問い合わせ下さい。

シャープドキュメント株式会社

受付時間：月曜～土曜 9:00～17:40 (祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
北 海 道	札幌技術センター	(011)641-0751	063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
	函 館	(0138)52-5190	040-0001	函館市五稜郭町31-17
	帯 広	(0155)21-2881	080-0011	帯広市西1条南26-19-1
	旭川技術センター	(0166)22-8284	070-0031	旭川市一条通4-左10
青 森	青森技術センター	(017)738-7778	030-0121	青森市妙見3-3-4
	八 戸	(0178)45-2631	031-0802	八戸市小中野2-8-16
岩 手	岩手技術センター	(019)638-6085	020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
秋 田	秋田技術センター	(018)865-1258	010-0941	秋田市川尻町字大川反170-56
宮 城	仙台技術センター	(022)288-9161	984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
福 島	福島技術センター	(024)959-1421	963-0547	郡山市喜久田町卸3-27-2
	新 潟	(025)284-6023	950-0993	新潟市上所中1-7-21
栃 木	宇都宮技術センター	(0258)23-1850	940-1104	長岡市根田屋町字崩2600
	前 橋	(028)634-0256	320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
群 馬	前橋技術センター	(027)252-7311	371-0855	前橋市問屋町1-3-7
茨 城	水戸技術センター	(029)243-0909	310-0851	水戸市千波町1963
埼 玉	埼玉技術センター	(048)666-7148	331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	埼玉西技術センター	(049)285-7294	350-2211	鶴ヶ島市脚折町3-14-20
	埼玉東技術センター	(048)979-6459	343-0804	越谷市南荻島346-1
千 葉	千葉技術センター	(043)299-8855	261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	西千葉技術センター	(047)368-8346	270-2231	松戸市総台295-1
東 京	東京フィールドサポートセンター	(03)3810-8600	114-0012	東京都北区田端新町2-2-12
	ソリューションシステム技術サポートセンター	(03)3624-7476	130-8610	東京都墨田区石原2-12-3
	西東京技術センター	(042)583-1993	191-0003	日野市日野台5-5-4

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
山 梨	山 梨	(055)228-3833	400-0049	甲府市富竹2-1-17
神 奈 川	横 浜 技 術 セ ン タ ー	(045)753-9540	235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	相 模 原 技 術 セ ン タ ー	(042)750-1819	229-1122	相模原市横山2-2-12
長 野	長 野 技 術 セ ン タ ー	(026)293-6360	388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
	松 本	(0263)27-1636	399-0002	松本市芳野8-14
富 山	富 山 技 術 セ ン タ ー	(076)451-3933	930-0997	富山市新庄北町5-63
石 川	金 沢 技 術 セ ン タ ー	(076)249-9033	921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
福 井	福 井	(0776)53-6050	918-8206	福井市北四ツ居町625
岐 阜	岐 阜 技 術 セ ン タ ー	(058)274-7996	500-8358	岐阜市六条南3-12-9
静 岡	静 岡 技 術 セ ン タ ー	(054)344-5621	424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	沼 津	(055)924-1028	410-0062	沼津市宮前町11-4
	浜 松 技 術 セ ン タ ー	(053)465-0735	430-0803	浜松市植松町1476-2
愛 知	名 古 屋 技 術 セ ン タ ー	(052)332-2758	454-0011	名古屋市中川区山王3-5-5
	豊 橋 技 術 セ ン タ ー	(0532)54-1830	440-0086	豊橋市下地町橋口17-1
	岡 崎	(0564)33-7178	444-0904	岡崎市西大友町字杭穴90-1
三 重	三 重 技 術 セ ン タ ー	(059)231-1573	514-0131	津市あのか台4-6-4
京 都	京 都 技 術 セ ン タ ー	(075)681-9551	601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
滋 賀	滋 賀	(077)543-2331	520-2151	大津市栗林町11-35
大 阪	大阪フィールドサポートセンター	(06)6794-9671	547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	ソリューションシステム技術部	(06)6796-5430	547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	堺 技 術 セ ン タ ー	(072)245-5855	590-0824	堺市堺区老松町1-39
兵 庫	神 戸 技 術 セ ン タ ー	(078)795-6336	654-0161	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	阪 神 技 術 セ ン タ ー	(06)6421-2304	661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10
	姫 路	(079)266-8295	671-2222	姫路市青山5-7-7
奈 良	奈 良 技 術 セ ン タ ー	(0743)53-2023	639-1103	大和郡山市美濃庄町492
島 根	松 江 技 術 セ ン タ ー	(0852)21-6110	690-0017	松江市西津田3-1-10
鳥 取	鳥 取	(0857)28-4222	680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
岡 山	岡 山 技 術 セ ン タ ー	(086)292-5830	701-0301	都窪郡早島町大字矢尾828
広 島	広 島 技 術 セ ン タ ー	(082)874-6100	731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
	東 広 島 技 術 セ ン タ ー	(082)428-3065	739-0142	東広島市八本松東4-3-30
	福 山 技 術 セ ン タ ー	(084)952-0736	720-0841	福山市津之郷町津之郷272-1
山 口	山 口 技 術 セ ン タ ー	(083)972-4525	754-0024	山口市小郡若草町4-12
香 川	高 松 技 術 セ ン タ ー	(087)823-4980	760-0065	高松市朝日町6-2-8
徳 島	徳 島	(088)625-8840	770-0813	徳島市中常三島町3-11-14
高 知	高 知	(088)883-7039	781-8104	高知市高須1-14-43
愛 媛	松 山 技 術 セ ン タ ー	(089)973-0121	791-8036	松山市高岡町178-1
福 岡	福 岡 技 術 セ ン タ ー	(092)572-2617	816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
	南 福 岡 技 術 セ ン タ ー	(0942)45-4551	839-0812	久留米市山川安居野3-12-47
	北 九 州 技 術 セ ン タ ー	(093)592-6510	803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
大 分	大 分 技 術 セ ン タ ー	(097)552-2164	870-0913	大分市松原町3-5-3
長 崎	長 崎 技 術 セ ン タ ー	(0957)53-3858	856-0817	大村市古賀島町613-3
熊 本	熊 本 技 術 セ ン タ ー	(096)237-5353	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間227-78
鹿 児 島	鹿 児 島 技 術 セ ン タ ー	(099)259-0628	890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
宮 崎	宮 崎 技 術 セ ン タ ー	(0985)28-8371	880-0007	宮崎市原町4-12

沖縄シャープ電機株式会社

受付時間：月曜～金曜 9:00～17:30（祝日など弊社休日を除く）

沖 縄	沖 縄 シャ ー プ 電 機 (株)	(098)861-0866	900-0002	那覇市曙2-10-1
-----	--------------------	---------------	----------	------------

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.2）

付 録

■ 仕 様

形 名	XE-A250
外形寸法	(幅)355mm×(奥行)429mm×(高さ)309mm (客側表示部ポップアップ時：364mm)
質 量	11kg
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	6.5W(待機時)、12.0W(登録時)(積算)、スリープモード時5.0W
使用環境	気温：0℃～40℃、相対湿度：20～90%
表 示 部	オペレータ側：FSTNグラフィックLCD(192×48ドット)：24文字×3行(半角文字表示時) 客側：LED 7桁
プリンタ部	印字方式：1ステーション感熱ラインドット方式 印字速度：約12行/秒、印字桁数：24桁 付加機能：店名ロゴ機能、グラフィックロゴ機能、コマーシャルメッセージ機能、レシート発行/停止切りかえ機能、領収証発行機能、電子ジャーナル機能、印字濃度調節機能、圧縮文字機能
ロール紙	幅：57.5±0.5mm、最大外径：81mm、紙質：上質感熱紙
時計誤差	月差±60秒(25℃において)
内蔵電池	蓄電池：メモリ保持期間約1カ月(内蔵電池完全充電時、常温において)
引出し金種	9種類(10)：紙幣用3(4)、硬貨用6 ※ ()内は紙幣仕切板使用時
付属品	管理者鍵(MA)(2個)、担当者鍵(OP)(2個)、引出し鍵(2個)、巻取軸(1個)、ロール紙(1個)、マグネットプレート(1個)、固定用金具(1個)、紙幣仕切板[引出し内装備](1個)、保証書(1部)、カスタマサポートツール(CD-ROM)(1個)、お問合わせラベル(1部)、グラフィック店名ロゴ作成依頼書(1部)、最初にお読みください(1部)※ ※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。 This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
カードスロット	SDメモリーカード:1スロット
接続端子	USBポート:1ポート(USB 1.1/2.0準拠、フルスピード(12Mbps))
仕様は改善のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。	

■ ECR文字コード表

文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード
(ス^°-ス)	032	ヨ	214	G	071	s	115	}	125
ア	177	ラ	215	H	072	t	116	€	126
イ	178	リ	216	I	073	u	117	〒	127
ウ	179	ル	217	J	074	v	118	。	161
エ	180	レ	218	K	075	w	119	「	162
オ	181	ロ	219	L	076	x	120	」	163
カ	182	ワ	220	M	077	y	121	、	164
キ	183	ヲ	166	N	078	z	122	・	165
ク	184	ソ	221	O	079	!	033	!!	016
ケ	185	ア	167	P	080	"	034	₁	017
コ	186	イ	168	Q	081	#	035	₂	018
サ	187	ウ	169	R	082	\$	036	₃	019
シ	188	エ	170	S	083	%	037	₄	020
ス	189	オ	171	T	084	&	038	½	021
セ	190	ケ	031	U	085	'	039	F _T	022
ソ	191	ツ	175	V	086	(	040	←	023
タ	192	ヤ	172	W	087	)	041	→	024
チ	193	ユ	173	X	088	*	042	∞	025
ツ	194	ヨ	174	Y	089	+	043	◀	027
テ	195	ー	176	Z	090	,	044	▶	028
ト	196	ゝ	222	a	097	—	045	F	029
ナ	197	°	223	b	098	.	046	T	030
ニ	198	0	048	c	099	/	047		
ヌ	199	1	049	d	100	:	058		
ネ	200	2	050	e	101	:	059		
ノ	201	3	051	f	102	<	060		
ハ	202	4	052	g	103	=	061		
ヒ	203	5	053	h	104	>	062		
フ	204	6	054	i	105	?	063		
ハ	205	7	055	j	106	@	064		
ホ	206	8	056	k	107	[	091		
マ	207	9	057	l	108	¥	092		
ミ	208	A	065	m	109	]	093		
ム	209	B	066	n	110	^	094		
メ	210	C	067	o	111	_	095		
モ	211	D	068	p	112	‘	096		
ヤ	212	E	069	q	113	{	123		
ユ	213	F	070	r	114		124		

区点コード表

- ・本機で印字できるJIS文字の一覧表です。第1水準漢字は50音順に、第2水準漢字は部首別に並んでいます。
- ・文字コードを使った文字入力の方法については、54ページの「文字の入力方法」を参照してください。
- ・文字/記号/数字などの形状は、実際に印字されるものと異なる場合があります。
- ・設定するときは、各文字の下に記載されているコード（区点コード）を入力してください。

JIS第1水準漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
		1601	1602	1603	1604	1605	1606	1607	1608	1609	
	1610	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯨
		1610	1611	1612	1613	1614	1615	1616	1617	1618	1619
	1620	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虵	飴	絢	綾
イ	1620	1620	1621	1622	1623	1624	1625	1626	1627	1628	1629
	1630	鮎	或	栗	給	安	庵	按	暗	案	闇
		1630	1631	1632	1633	1634	1635	1636	1637	1638	1639
	1640	鞍	杏								
		1640	1641								
ウ	1640		以	伊	位	依	偉	圉	夷	委	
			1642	1643	1644	1645	1646	1647	1648	1649	
	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
		1650	1651	1652	1653	1654	1655	1656	1657	1658	1659
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
エ	1660	1660	1661	1662	1663	1664	1665	1666	1667	1668	1669
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壺	溢	逸
		1670	1671	1672	1673	1674	1675	1676	1677	1678	1679
	1680	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
		1680	1681	1682	1683	1684	1685	1686	1687	1688	1689
オ	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
		1690	1691	1692	1693	1694					
	1700	院	陰	隱	韻	吋					
		1701	1702	1703	1704	1705					
	1700						右	宇	烏	羽	
カ	1710	迂	雨	卯	鶻	窺	丑	確	白	渦	嘘
		1710	1711	1712	1713	1714	1715	1716	1717	1718	1719
	1720	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厖	浦	瓜	閏	噂
		1720	1721	1722	1723	1724	1725	1726	1727	1728	1729
	1730	云	運	雲							
キ		1730	1731	1732							
	1730		荏	餌	叡	營	嬰	影	映		
		1733	1734	1735	1736	1737	1738	1739			
	1740	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	英	
		1740	1741	1742	1743	1744	1745	1746	1747	1748	1749
ク	1750	衛	詠	銳	液	疫	益	駅	悅	謁	越
		1750	1751	1752	1753	1754	1755	1756	1757	1758	1759
	1760	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
		1760	1761	1762	1763	1764	1765	1766	1767	1768	1769
	1770	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
コ		1770	1771	1772	1773	1774	1775	1776	1777	1778	1779
	1780	艷	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩			
		1780	1781	1782	1783	1784	1785	1786			
	1780						於	汚	甥		
							1787	1788	1789		
カ	1790	凹	央	奥	往	応					
		1790	1791	1792	1793	1794					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯
		1801	1802	1803	1804	1805	1806	1807	1808	1809	
	1810	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆	桶
キ		1810	1811	1812	1813	1814	1815	1816	1817	1818	1819
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音		
		1820	1821	1822	1823	1824	1825	1826	1827		

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1820									下	化
										1828	1829
	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
		1830	1831	1832	1833	1834	1835	1836	1837	1838	1839
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
キ		1840	1841	1842	1843	1844	1845	1846	1847	1848	1849
	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
		1850	1851	1852	1853	1854	1855	1856	1857	1858	1859
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
		1860	1861	1862	1863	1864	1865	1866	1867	1868	1869
ク	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
		1870	1871	1872	1873	1874	1875	1876	1877	1878	1879
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
		1880	1881	1882	1883	1884	1885	1886	1887	1888	1889
	1890	恢	懷	戒	拐	改					
ケ		1890	1891	1892	1893	1894					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
			1901	1902	1903	1904	1905	1906	1907	1908	1909
	1910	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
		1910	1911	1912	1913	1914	1915	1916	1917	1918	1919
コ	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮
		1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927	1928	1929
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
		1930	1931	1932	1933	1934	1935	1936	1937	1938	1939
	1940	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
カ		1940	1941	1942	1943	1944	1945	1946	1947	1948	1949
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額
		1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959
	1960	顚	掛	笠	檜	櫃	梃	鯁	渴	割	喝
		1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969
ケ	1970	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
		1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
	1980	叶	枕	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
		1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
	1990	囃	鴨	栢	茅	萱					
コ		1990	1991	1992	1993	1994					
	2000		粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	
	2010	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
キ	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
	2030	款	飲	汗	漢	澗	淮	環	甘	監	看
		2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	覲
ク		2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049
	2050	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館
		2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059
	2060	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
		2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069
ケ	2070	贗	雁	頑	顔	願					
		2070	2071	2072	2073	2074					
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	企	伎	危	喜	器
		2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089
	2090										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2090	旗	既	期	棋	棄					
		2090	2091	2092	2093	2094					
	2100	機	帛	穀	氣	汽	畿	祈	季	稀	
		2101	2102	2103	2104	2105	2106	2107	2108	2109	
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
		2110	2111	2112	2113	2114	2115	2116	2117	2118	2119
	2120	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
		2120	2121	2122	2123	2124	2125	2126	2127	2128	2129
	2130	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
		2130	2131	2132	2133	2134	2135	2136	2137	2138	2139
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
		2140	2141	2142	2143	2144	2145	2146	2147	2148	2149
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
		2150	2151	2152	2153	2154	2155	2156	2157	2158	2159
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
		2160	2161	2162	2163	2164	2165	2166	2167	2168	2169
ク	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
		2170	2171	2172	2173	2174	2175	2176	2177	2178	2179
	2180	巨	拒	拗	拳	渠	虚	許	距	鋸	漁
		2180	2181	2182	2183	2184	2185	2186	2187	2188	2189
	2190	禦	魚	亨	享	京					
		2190	2191	2192	2193	2194					
	2200	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
		2201	2202	2203	2204	2205	2206	2207	2208	2209	
	2210	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭
		2210	2211	2212	2213	2214	2215	2216	2217	2218	2219
	2220	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興
		2220	2221	2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229
	2230	蕎	鄉	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉
		2230	2231	2232	2233	2234	2235	2236	2237	2238	2239
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均
		2240	2241	2242	2243	2244	2245	2246	2247	2248	2249
ケ	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
		2250	2251	2252	2253	2254	2255	2256	2257	2258	2259
	2260	芹	菌	鈴	襟	謹	近	金	吟	銀	
		2260	2261	2262	2263	2264	2265	2266	2267	2268	
	2260										九
											2269
	2270	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駢
		2270	2271	2272	2273	2274	2275	2276	2277	2278	2279
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
		2280	2281	2282	2283	2284	2285	2286	2287	2288	2289
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
		2290	2291	2292	2293	2294					
	2300	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	糸	
		2301	2302	2303	2304	2305	2306	2307	2308	2309	
	2310	栗	繰	桑	鋏	勲	君	薰	訓	群	軍
		2310	2311	2312	2313	2314	2315	2316	2317	2318	2319
	2320	郡									
		2320									
ケ	2320	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
		2321	2322	2323	2324	2325	2326	2327	2328	2329	
	2330	珪	型	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	掲
		2330	2331	2332	2333	2334	2335	2336	2337	2338	2339
	2340	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	経	継
		2340	2341	2342	2343	2344	2345	2346	2347	2348	2349
	2350	繫	罽	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸
		2350	2351	2352	2353	2354	2355	2356	2357	2358	2359
	2360	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁
		2360	2361	2362	2363	2364	2365	2366	2367	2368	2369
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
		2370	2371	2372	2373	2374	2375	2376	2377	2378	2379
	2380	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌
		2380	2381	2382	2383	2384	2385	2386	2387	2388	2389
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
		2390	2391	2392	2393	2394					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2400	検 ²⁴⁰¹	権 ²⁴⁰²	牽 ²⁴⁰³	犬 ²⁴⁰⁴	献 ²⁴⁰⁵	研 ²⁴⁰⁶	硯 ²⁴⁰⁷	絹 ²⁴⁰⁸	梟 ²⁴⁰⁹	
	2410	肩 ²⁴¹⁰	見 ²⁴¹¹	謙 ²⁴¹²	賢 ²⁴¹³	軒 ²⁴¹⁴	遣 ²⁴¹⁵	鍵 ²⁴¹⁶	険 ²⁴¹⁷	顛 ²⁴¹⁸	驗 ²⁴¹⁹
	2420	巖 ²⁴²⁰	元 ²⁴²¹	原 ²⁴²²	嚴 ²⁴²³	幻 ²⁴²⁴	弦 ²⁴²⁵	減 ²⁴²⁶	源 ²⁴²⁷	玄 ²⁴²⁸	現 ²⁴²⁹
	2430	絃 ²⁴³⁰	絃 ²⁴³¹	言 ²⁴³²	諺 ²⁴³³	限 ²⁴³⁴					
コ	2430						乎 ²⁴³⁵	個 ²⁴³⁶	古 ²⁴³⁷	呼 ²⁴³⁸	固 ²⁴³⁹
	2440	姑 ²⁴⁴⁰	孤 ²⁴⁴¹	己 ²⁴⁴²	庫 ²⁴⁴³	弧 ²⁴⁴⁴	戸 ²⁴⁴⁵	故 ²⁴⁴⁶	枯 ²⁴⁴⁷	湖 ²⁴⁴⁸	狐 ²⁴⁴⁹
	2450	糊 ²⁴⁵⁰	袴 ²⁴⁵¹	股 ²⁴⁵²	胡 ²⁴⁵³	菰 ²⁴⁵⁴	虎 ²⁴⁵⁵	誇 ²⁴⁵⁶	跨 ²⁴⁵⁷	鉗 ²⁴⁵⁸	雇 ²⁴⁵⁹
	2460	顧 ²⁴⁶⁰	鼓 ²⁴⁶¹	五 ²⁴⁶²	互 ²⁴⁶³	伍 ²⁴⁶⁴	午 ²⁴⁶⁵	吳 ²⁴⁶⁶	吾 ²⁴⁶⁷	娛 ²⁴⁶⁸	後 ²⁴⁶⁹
	2470	御 ²⁴⁷⁰	悟 ²⁴⁷¹	梧 ²⁴⁷²	檣 ²⁴⁷³	瑚 ²⁴⁷⁴	碁 ²⁴⁷⁵	語 ²⁴⁷⁶	誤 ²⁴⁷⁷	護 ²⁴⁷⁸	酬 ²⁴⁷⁹
	2480	乞 ²⁴⁸⁰	鯉 ²⁴⁸¹	交 ²⁴⁸²	佼 ²⁴⁸³	侯 ²⁴⁸⁴	候 ²⁴⁸⁵	倖 ²⁴⁸⁶	光 ²⁴⁸⁷	公 ²⁴⁸⁸	功 ²⁴⁸⁹
	2490	効 ²⁴⁹⁰	勾 ²⁴⁹¹	厚 ²⁴⁹²	口 ²⁴⁹³	向 ²⁴⁹⁴					
	2500		后 ²⁵⁰¹	喉 ²⁵⁰²	坑 ²⁵⁰³	垢 ²⁵⁰⁴	好 ²⁵⁰⁵	孔 ²⁵⁰⁶	孝 ²⁵⁰⁷	宏 ²⁵⁰⁸	工 ²⁵⁰⁹
	2510	巧 ²⁵¹⁰	巷 ²⁵¹¹	幸 ²⁵¹²	広 ²⁵¹³	庚 ²⁵¹⁴	康 ²⁵¹⁵	弘 ²⁵¹⁶	恒 ²⁵¹⁷	慌 ²⁵¹⁸	抗 ²⁵¹⁹
	2520	拘 ²⁵²⁰	控 ²⁵²¹	攻 ²⁵²²	昂 ²⁵²³	晃 ²⁵²⁴	更 ²⁵²⁵	杭 ²⁵²⁶	校 ²⁵²⁷	梗 ²⁵²⁸	構 ²⁵²⁹
	2530	江 ²⁵³⁰	洪 ²⁵³¹	浩 ²⁵³²	港 ²⁵³³	溝 ²⁵³⁴	甲 ²⁵³⁵	皇 ²⁵³⁶	硬 ²⁵³⁷	稿 ²⁵³⁸	糠 ²⁵³⁹
	2540	紅 ²⁵⁴⁰	紘 ²⁵⁴¹	絞 ²⁵⁴²	綱 ²⁵⁴³	耕 ²⁵⁴⁴	考 ²⁵⁴⁵	肯 ²⁵⁴⁶	肱 ²⁵⁴⁷	腔 ²⁵⁴⁸	膏 ²⁵⁴⁹
	2550	航 ²⁵⁵⁰	荒 ²⁵⁵¹	行 ²⁵⁵²	衡 ²⁵⁵³	講 ²⁵⁵⁴	貢 ²⁵⁵⁵	購 ²⁵⁵⁶	郊 ²⁵⁵⁷	酵 ²⁵⁵⁸	鉦 ²⁵⁵⁹
	2560	碩 ²⁵⁶⁰	銅 ²⁵⁶¹	閤 ²⁵⁶²	降 ²⁵⁶³	項 ²⁵⁶⁴	香 ²⁵⁶⁵	高 ²⁵⁶⁶	鴻 ²⁵⁶⁷	剛 ²⁵⁶⁸	劫 ²⁵⁶⁹
	2570	号 ²⁵⁷⁰	合 ²⁵⁷¹	壕 ²⁵⁷²	拷 ²⁵⁷³	濠 ²⁵⁷⁴	豪 ²⁵⁷⁵	轟 ²⁵⁷⁶	趨 ²⁵⁷⁷	克 ²⁵⁷⁸	刻 ²⁵⁷⁹
	2580	告 ²⁵⁸⁰	国 ²⁵⁸¹	穀 ²⁵⁸²	酷 ²⁵⁸³	鵠 ²⁵⁸⁴	黒 ²⁵⁸⁵	獄 ²⁵⁸⁶	漉 ²⁵⁸⁷	腰 ²⁵⁸⁸	甌 ²⁵⁸⁹
2590	忽 ²⁵⁹⁰	惚 ²⁵⁹¹	骨 ²⁵⁹²	伯 ²⁵⁹³	込 ²⁵⁹⁴						
2600		此 ²⁶⁰¹	頃 ²⁶⁰²	今 ²⁶⁰³	困 ²⁶⁰⁴	坤 ²⁶⁰⁵	壘 ²⁶⁰⁶	婚 ²⁶⁰⁷	恨 ²⁶⁰⁸	懇 ²⁶⁰⁹	
2610	昏 ²⁶¹⁰	昆 ²⁶¹¹	根 ²⁶¹²	梱 ²⁶¹³	混 ²⁶¹⁴	痕 ²⁶¹⁵	紺 ²⁶¹⁶	艮 ²⁶¹⁷	魂 ²⁶¹⁸		
サ	2610										些 ²⁶¹⁹
	2620	佐 ²⁶²⁰	又 ²⁶²¹	唆 ²⁶²²	嵯 ²⁶²³	左 ²⁶²⁴	差 ²⁶²⁵	査 ²⁶²⁶	沙 ²⁶²⁷	磋 ²⁶²⁸	砂 ²⁶²⁹
	2630	詐 ²⁶³⁰	鎖 ²⁶³¹	裘 ²⁶³²	坐 ²⁶³³	座 ²⁶³⁴	挫 ²⁶³⁵	債 ²⁶³⁶	催 ²⁶³⁷	再 ²⁶³⁸	最 ²⁶³⁹
	2640	哉 ²⁶⁴⁰	塞 ²⁶⁴¹	妻 ²⁶⁴²	宰 ²⁶⁴³	彩 ²⁶⁴⁴	才 ²⁶⁴⁵	採 ²⁶⁴⁶	栽 ²⁶⁴⁷	歳 ²⁶⁴⁸	濟 ²⁶⁴⁹
	2650	災 ²⁶⁵⁰	采 ²⁶⁵¹	犀 ²⁶⁵²	碎 ²⁶⁵³	砦 ²⁶⁵⁴	祭 ²⁶⁵⁵	斎 ²⁶⁵⁶	細 ²⁶⁵⁷	菜 ²⁶⁵⁸	裁 ²⁶⁵⁹
	2660	載 ²⁶⁶⁰	際 ²⁶⁶¹	劑 ²⁶⁶²	在 ²⁶⁶³	材 ²⁶⁶⁴	罪 ²⁶⁶⁵	財 ²⁶⁶⁶	冴 ²⁶⁶⁷	坂 ²⁶⁶⁸	阪 ²⁶⁶⁹
	2670	堺 ²⁶⁷⁰	榊 ²⁶⁷¹	肴 ²⁶⁷²	咲 ²⁶⁷³	崎 ²⁶⁷⁴	埼 ²⁶⁷⁵	碕 ²⁶⁷⁶	鷺 ²⁶⁷⁷	作 ²⁶⁷⁸	削 ²⁶⁷⁹
	2680	咋 ²⁶⁸⁰	搾 ²⁶⁸¹	昨 ²⁶⁸²	朔 ²⁶⁸³	柵 ²⁶⁸⁴	窄 ²⁶⁸⁵	策 ²⁶⁸⁶	索 ²⁶⁸⁷	錯 ²⁶⁸⁸	桜 ²⁶⁸⁹
	2690	鮭 ²⁶⁹⁰	笹 ²⁶⁹¹	匙 ²⁶⁹²	冊 ²⁶⁹³	刷 ²⁶⁹⁴					
	2700		察 ²⁷⁰¹	拶 ²⁷⁰²	撮 ²⁷⁰³	擦 ²⁷⁰⁴	札 ²⁷⁰⁵	殺 ²⁷⁰⁶	薩 ²⁷⁰⁷	雑 ²⁷⁰⁸	臯 ²⁷⁰⁹

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2710	鯖	捌	鯖	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
		2710	2711	2712	2713	2714	2715	2716	2717	2718	2719
	2720	惨	撒	散	栈	燦	珊	産	算	纂	蚕
		2720	2721	2722	2723	2724	2725	2726	2727	2728	2729
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
		2730	2731	2732	2733	2734	2735	2736			
シ	2730							仕	仔	伺	
								2737	2738	2739	
	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
		2740	2741	2742	2743	2744	2745	2746	2747	2748	2749
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
		2750	2751	2752	2753	2754	2755	2756	2757	2758	2759
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
		2760	2761	2762	2763	2764	2765	2766	2767	2768	2769
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
		2770	2771	2772	2773	2774	2775	2776	2777	2778	2779
	2780	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児
		2780	2781	2782	2783	2784	2785	2786	2787	2788	2789
	2790	字	寺	慈	持	時					
		2790	2791	2792	2793	2794					
	2800	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	
		2801	2802	2803	2804	2805	2806	2807	2808	2809	
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺
		2810	2811	2812	2813	2814	2815	2816	2817	2818	2819
	2820	軸	穴	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
		2820	2821	2822	2823	2824	2825	2826	2827	2828	2829
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
		2830	2831	2832	2833	2834	2835	2836	2837	2838	2839
	2840	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜	煮
		2840	2841	2842	2843	2844	2845	2846	2847	2848	2849
	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
		2850	2851	2852	2853	2854	2855	2856	2857	2858	2859
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	积	錫	若	寂	弱
		2860	2861	2862	2863	2864	2865	2866	2867	2868	2869
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
		2870	2871	2872	2873	2874	2875	2876	2877	2878	2879
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
		2880	2881	2882	2883	2884	2885	2886	2887	2888	2889
	2890	綬	需	囚	収	周					
		2890	2891	2892	2893	2894					
	2900	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	
		2901	2902	2903	2904	2905	2906	2907	2908	2909	
	2910	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
		2910	2911	2912	2913	2914	2915	2916	2917	2918	2919
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
		2920	2921	2922	2923	2924	2925	2926	2927	2928	2929
	2930	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔
		2930	2931	2932	2933	2934	2935	2936	2937	2938	2939
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術
		2940	2941	2942	2943	2944	2945	2946	2947	2948	2949
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
		2950	2951	2952	2953	2954	2955	2956	2957	2958	2959
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
		2960	2961	2962	2963	2964	2965	2966	2967	2968	2969
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
		2970	2971	2972	2973	2974	2975	2976	2977	2978	2979
	2980	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐
		2980	2981	2982	2983	2984	2985	2986	2987	2988	2989
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
		2990	2991	2992	2993	2994					
	3000	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	
		3001	3002	3003	3004	3005	3006	3007	3008	3009	
	3010	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠
		3010	3011	3012	3013	3014	3015	3016	3017	3018	3019
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
		3020	3021	3022	3023	3024	3025	3026	3027	3028	3029

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦
		3030	3031	3032	3033	3034	3035	3036	3037	3038	3039
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
		3040	3041	3042	3043	3044	3045	3046	3047	3048	3049
	3050	紹	肖	菖	蔣	蕉	衡	裳	訟	証	詔
		3050	3051	3052	3053	3054	3055	3056	3057	3058	3059
	3060	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
		3060	3061	3062	3063	3064	3065	3066	3067	3068	3069
	3070	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
		3070	3071	3072	3073	3074	3075	3076	3077	3078	3079
	3080	情	擾	条	杖	淨	状	暈	穰	蒸	讓
		3080	3081	3082	3083	3084	3085	3086	3087	3088	3089
ス	3090	釀	錠	囑	埴	飾					
		3090	3091	3092	3093	3094					
	3100	拭	植	殖	燭		織	職	色	触	食
		3101	3102	3103	3104	3105	3106	3107	3108	3109	
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審
		3110	3111	3112	3113	3114	3115	3116	3117	3118	3119
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
		3120	3121	3122	3123	3124	3125	3126	3127	3128	3129
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
		3130	3131	3132	3133	3134	3135	3136	3137	3138	3139
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
		3140	3141	3142	3143	3144	3145	3146	3147	3148	3149
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱		
		3150	3151	3152	3153	3154	3155	3156	3157		
セ	3150									筭	誼
										3158	3159
	3160	須	酢	囹	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
		3160	3161	3162	3163	3164	3165	3166	3167	3168	3169
	3170	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錘	鍾	随
		3170	3171	3172	3173	3174	3175	3176	3177	3178	3179
	3180	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
		3180	3181	3182	3183	3184	3185	3186	3187	3188	3189
	3190	梟	菅	頗	雀	裾					
		3190	3191	3192	3193	3194					
	3200	澄	摺	寸							
		3201	3202	3203							
ソ	3200				世		瀬	畝	是	凄	制
					3204		3205	3206	3207	3208	3209
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
		3210	3211	3212	3213	3214	3215	3216	3217	3218	3219
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
		3220	3221	3222	3223	3224	3225	3226	3227	3228	3229
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齐	税
		3230	3231	3232	3233	3234	3235	3236	3237	3238	3239
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
		3240	3241	3242	3243	3244	3245	3246	3247	3248	3249
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
		3250	3251	3252	3253	3254	3255	3256	3257	3258	3259
	3260	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌
		3260	3261	3262	3263	3264	3265	3266	3267	3268	3269
	3270	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
		3270	3271	3272	3273	3274	3275	3276	3277	3278	3279
	3280	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎
		3280	3281	3282	3283	3284	3285	3286	3287	3288	3289
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
		3290	3291	3292	3293	3294					
	3300	織	羨	腺	舛		船	薦	詮	賤	踐
		3301	3302	3303	3304	3305	3306	3307	3308	3309	
	3310	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
		3310	3311	3312	3313	3314	3315	3316	3317	3318	3319
	3320	全	禪	繕	膳	糗					
		3320	3321	3322	3323	3324					
	3320						噌	塑	岨	措	曾
							3325	3326	3327	3328	3329

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ソ	3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
		3330	3331	3332	3333	3334	3335	3336	3337	3338	3339
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
		3340	3341	3342	3343	3344	3345	3346	3347	3348	3349
	3350	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
		3350	3351	3352	3353	3354	3355	3356	3357	3358	3359
	3360	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽
		3360	3361	3362	3363	3364	3365	3366	3367	3368	3369
	3370	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
		3370	3371	3372	3373	3374	3375	3376	3377	3378	3379
タ	3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
		3380	3381	3382	3383	3384	3385	3386	3387	3388	3389
	3390	霜	騷	像	増	憎					
		3390	3391	3392	3393	3394					
	3400		臧	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
		3401	3402	3403	3404	3405	3406	3407	3408	3409	
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
		3410	3411	3412	3413	3414	3415	3416	3417	3418	3419
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
		3420	3421	3422	3423	3424	3425	3426	3427	3428	3429
ナ	3430	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打
		3430	3431	3432	3433	3434	3435	3436	3437	3438	3439
	3440	柁	舵	梢	陀	駄	驢	体	堆	対	耐
		3440	3441	3442	3443	3444	3445	3446	3447	3448	3449
	3450	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎
		3450	3451	3452	3453	3454	3455	3456	3457	3458	3459
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
		3460	3461	3462	3463	3464	3465	3466	3467	3468	3469
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
		3470	3471	3472	3473	3474	3475	3476	3477	3478	3479
チ	3480	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
		3480	3481	3482	3483	3484	3485	3486	3487	3488	3489
	3490	諾	茸	夙	蛸	只					
		3490	3491	3492	3493	3494					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	堅	迪
		3501	3502	3503	3504	3505	3506	3507	3508	3509	
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦
		3510	3511	3512	3513	3514	3515	3516	3517	3518	3519
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞
		3520	3521	3522	3523	3524	3525	3526	3527	3528	3529
ツ	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断
		3530	3531	3532	3533	3534	3535	3536	3537	3538	3539
	3540	暖	檀	段	男	談					
		3540	3541	3542	3543	3544					
	3550		智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	築
		3550	3551	3552	3553	3554	3555	3556	3557	3558	3559
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
		3560	3561	3562	3563	3564	3565	3566	3567	3568	3569
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
		3570	3571	3572	3573	3574	3575	3576	3577	3578	3579
ツ	3580	註	酎	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
		3580	3581	3582	3583	3584	3585	3586	3587	3588	3589
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					
		3590	3591	3592	3593	3594					
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
		3601	3602	3603	3604	3605	3606	3607	3608	3609	
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
		3610	3611	3612	3613	3614	3615	3616	3617	3618	3619
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
		3620	3621	3622	3623	3624	3625	3626	3627	3628	3629
ツ	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
		3630	3631	3632	3633	3634	3635	3636			
	3630							津	墜	椎	
								3637	3638	3639	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ツ	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	捆	槻	佃
		3640	3641	3642	3643	3644	3645	3646	3647	3648	3649
	3650	漬	柘	辻	薦	綴	鏝	椿	潰	坪	壺
		3650	3651	3652	3653	3654	3655	3656	3657	3658	3659
	3660	孀	紬	爪	吊	釣	鶴				
		3660	3661	3662	3663	3664	3665				
	3660						亨	低	停	偵	
							3666	3667	3668	3669	
	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
		3670	3671	3672	3673	3674	3675	3676	3677	3678	3679
テ	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
		3680	3681	3682	3683	3684	3685	3686	3687	3688	3689
	3690	艇	訂	諦	蹄	通					
		3690	3691	3692	3693	3694					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
		3701	3702	3703	3704	3705	3706	3707	3708	3709	
	3710	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	徹	迭
		3710	3711	3712	3713	3714	3715	3716	3717	3718	3719
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
		3720	3721	3722	3723	3724	3725	3726	3727	3728	3729
ト	3730	軋	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
		3730	3731	3732	3733	3734	3735	3736	3737		
	3730									兎	吐
										3738	3739
	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
		3740	3741	3742	3743	3744	3745	3746	3747	3748	3749
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
		3750	3751	3752	3753	3754	3755	3756	3757	3758	3759
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
		3760	3761	3762	3763	3764	3765	3766	3767	3768	3769
ナ	3770	宕	鳥	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟
		3770	3771	3772	3773	3774	3775	3776	3777	3778	3779
	3780	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	棹	等
		3780	3781	3782	3783	3784	3785	3786	3787	3788	3789
	3790	答	筒	糖	統	到					
		3790	3791	3792	3793	3794					
	3800		董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透
		3801	3802	3803	3804	3805	3806	3807	3808	3809	
	3810	鐙	陶	頭	騰	闢	働	動	同	堂	導
		3810	3811	3812	3813	3814	3815	3816	3817	3818	3819
ナ	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
		3820	3821	3822	3823	3824	3825	3826	3827	3828	3829
	3830	鴿	匿	得	德	洸	特	督	禿	篤	毒
		3830	3831	3832	3833	3834	3835	3836	3837	3838	3839
	3840	独	読	析	橡	凸	突	楨	届	鳶	苫
		3840	3841	3842	3843	3844	3845	3846	3847	3848	3849
	3850	寅	酉	滯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
		3850	3851	3852	3853	3854	3855	3856	3857	3858	3859
	3860	頓	吞	曇	鈍						
		3860	3861	3862	3863						
ナ	3860					奈	那	内	乍	風	薙
						3864	3865	3866	3867	3868	3869
	3870	謎	灘	捺	鍋	栢	馴	縄	暇	南	楠
		3870	3871	3872	3873	3874	3875	3876	3877	3878	3879
	3880	軟	難	汝							
		3880	3881	3882							
	3880				二	尼	弍	迓	勾	販	肉
					3883	3884	3885	3886	3887	3888	3889
	3890	虹	廿	日	乳	入					
		3890	3891	3892	3893	3894					
ネ	3900		如	尿	菲	任	妊	忍	認		
			3901	3902	3903	3904	3905	3906	3907		
	3900									濡	
										3908	
	3900										欄
											3909

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘	3910 3911	3912	3913	3914	3915	3916	3917	3918	3919
ノ	3920	乃	迺	之	桼	囊	惱	濃	納	能	
	3930	腦	膿	農	視	蚤	3925	3926	3927	3928	3929
ハ	3930						巴	把	播	霸	杷
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	糜
	3950	扞	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	模	煤	猥	買	壳	賠
	3970	陪	這	蠅	秤	矧	荻	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麥	3965	3966	3967	3968	3969
	4000	函	箱	裕	箸	肇	筭	櫨	幡	肌	
	4010	畑	畠	八	鉢	滉	癸	醜	髮	伐	罰
	4020	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩
ヒ	4050	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蛮	
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微
	4090	枇	毘	毘	眉	美	4090	4091	4092	4093	4094
	4100	鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桼	姫	媛	紐
	4120	百	謬	倭	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鉦	蒜
	4140	蛭	鱔	品	彬	斌	浜	瀨	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶				4145	4146	4147	4148	4149
フ	4150		不	付	埠	夫	婦	富	富	布	
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	露
	4190	伏	副	復	幅	服					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
フ	4200	福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
ヘ	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁
ホ	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁
ホ	4260	保	舗	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
	4270	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	
	4310	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	銖	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆						
マ	4360				摩	磨	魔	麻	埋	妹	
	4370	味	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	4380	鱒	桺	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣
	4390	繭	磨	万	慢	滿					
	4400	漫	蔓								
ミ	4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	
ム	4410										務
	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵠	棕	婿	娘	
メ	4420										冥
	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
モ	4440	免	棉	綿	緬	面	麵				
	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
モ	4460	目	丕	勿	餅	尤	戾	𪛗	貫	問	悶
		4460	4461	4462	4463	4464	4465	4466	4467	4468	4469
ヤ	4470	紋	門	𠂔							
		4470	4471	4472							
ヤ	4480	矢	厄	役	約	葉	𪛗	躍	靖	柳	藪
		4480	4481	4482	4483	4484	4485	4486	4487	4488	4489
ユ	4490	鎚									
		4490									
ユ	4490	愉	愈	油	癒						
		4491	4492	4493	4494						
ユ	4500	論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
		4501	4502	4503	4504	4505	4506	4507	4508	4509	
ユ	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
		4510	4511	4512	4513	4514	4515	4516	4517	4518	4519
ユ	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
		4520	4521	4522	4523	4524	4525	4526	4527	4528	
ヨ	4530	余	与	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
		4530	4531	4532	4533	4534	4535	4536	4537	4538	4539
ヨ	4540	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
		4540	4541	4542	4543	4544	4545	4546	4547	4548	4549
ヨ	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽
		4550	4551	4552	4553	4554	4555	4556	4557	4558	4559
ヨ	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
		4560	4561	4562	4563	4564	4565	4566	4567	4568	
ヲ	4570	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
		4570	4571	4572	4573	4574	4575	4576	4577	4578	4579
リ	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
		4580	4581	4582	4583	4584	4585	4586	4587		
リ	4590	履	李	梨	理	璃					
		4590	4591	4592	4593	4594					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
リ	4600	痢	裏	裡	里		離	陸	律	率	立
		4601	4602	4603	4604		4605	4606	4607	4608	4609
リ	4610	葦	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
		4610	4611	4612	4613	4614	4615	4616	4617	4618	4619
リ	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
		4620	4621	4622	4623	4624	4625	4626	4627	4628	4629
リ	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜
		4630	4631	4632	4633	4634	4635	4636	4637	4638	4639
リ	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
		4640	4641	4642	4643	4644	4645	4646	4647	4648	4649
リ	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
		4650	4651	4652	4653	4654	4655	4656	4657	4658	4659
ル	4660	瑠	垺	涙	累	類					
		4660	4661	4662	4663	4664					
レ	4670	嶺	伶	玲	礼	苓	令	伶	例	冷	勵
		4670	4671	4672	4673	4674	4665	4666	4667	4668	4669
レ	4680	齡	曆	歷	列	劣	鈴	隸	零	靈	麗
		4680	4681	4682	4683	4684	4675	4676	4677	4678	4679
レ	4690	漣	煉	簾	練	聯	烈	裂	廉	恋	憐
		4690	4691	4692	4693	4694	4685	4686	4687	4688	4689
ロ	4700	蓮	連	鍊							
		4701	4702	4703							
ロ	4710	露	勞	婁	廊	弄	魯	櫓	炉	賂	路
		4710	4711	4712	4713	4714	4705	4706	4707	4708	4709
ロ	4720	牢	狼	籠	老	輦	朗	樓	榔	浪	漏
		4720	4721	4722	4723	4724	4715	4716	4717	4718	4719
ロ	4730	肋	録	論			蠟	郎	六	麓	禄
		4730	4731	4732			4725	4726	4727	4728	4729
ワ	4740	倭	和				話	歪	賄	脇	惑
		4733	4734				4735	4736	4737	4738	4739
ワ	4750	柶	鷺	互	亘	鰐	詫	藁	蕨	槐	湾
		4740	4741	4742	4743	4744	4745	4746	4747	4748	4749
ワ	4760	碗	腕								
		4750	4751								

JIS第2水準漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一	4800	弌	𠂔	丕							
		4801	4802	4803							
一	4810	个									
		4804	4805								
一	4820	井									
		4806	4807								
一	4830	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4808	4809								
一	4840	乖	乘								
		4810	4811								
一	4850	亂									
		4812									
一	4860	𠂔	豫	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4813	4814	4815	4816						
一	4870	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4817	4818	4819							
一	4880	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4820									
一	4890	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4821	4822	4823	4824	4825					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人	4820	从	仍	仄	仆						
		4826	4827	4828	4829						
人	4830	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4830	4831	4832	4833	4834	4835	4836	4837	4838	4839
人	4840	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4840	4841	4842	4843	4844	4845	4846	4847	4848	4849
人	4850	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4850	4851	4852	4853	4854	4855	4856	4857	4858	4859
人	4860	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4860	4861	4862	4863	4864	4865	4866	4867	4868	4869
人	4870	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4870	4871	4872	4873	4874	4875	4876	4877	4878	4879
人	4880	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4880	4881	4882	4883	4884	4885	4886	4887	4888	4889
人	4890	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔					
		4890	4891	4892	4893	4894					
人	4900	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4901	4902	4903	4904		4905	4906	4907	4908	4909
人	4910	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
		4910	4911	4912	4913	4914	4915	4916	4917	4918	4919
人	4920	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔					
		4920	4921	4922	4923	4924					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
儿	4920						儿 兀 兒 兌 免				
	4930	兢 競					4925 4926 4927 4928 4929				
入	4930	兩 兪					4932 4933				
	4930	兮 冀					4934 4935				
門	4930						門 回 冊 冉				
	4940	冏 冑 冓 冕					4936 4937 4938 4939				
冫	4940						冫 冤 冠 冢 冓 冓				
冫	4950	冫 決 冫 冲 冰					况 冽 涸 凉 凜				
几	4960	几 處 凵 凭 風					4955 4956 4957 4958 4959				
凵	4960						凵 函				
刀	4960						刃 刊 刂				
	4970	刂 刂 刂 刂 刂					利 刂 刂 刂 刂				
	4980	刂 刂 刂 刂 刂					刂 刂 刂 刂 刂				
	4990	刂 刂 刂 刂 刂					刂 刂 刂 刂 刂				
	5000	刂 刂 刂 刂 刂					刂 刂 刂 刂 刂				
力	5000	勐 勐 勐					券 勁 勐 勐 勞				
	5010	勐 勐 勐 勐 勐					勐 勐 勐 勐 勐				
勹	5010						勹 勹 勹				
勹	5020	勹 勹 勹 勹					勹 勹 勹 勹				
匕	5020						匕				
匚	5020						匚 匚 匚 匚 匚				
匚	5030	匚 匚					匚 匚				
十	5030	卅 卅 卅					卅 卅 卅				
卜	5030						卜				
冂	5030						冂				
冂	5040	卮 卮 卮 卷					卮 卮 卮 卷				
厂	5040	厂					厖 厖 厖 厖 厖				
	5050	厖					厖				
厶	5050	厶 參 纂					厶 參 纂				
又	5050	雙 雙 曼 曼					雙 雙 曼 曼				
口	5050						叮 叨				
	5060	叭 叭 呼 吡 呀					听 吭 吼 吮 呐				
	5070	吩 咨 呖 咏 呵					咎 咎 呱 呷 咎				

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
口	5080	咒 呻 咀 呶 咄					附 咆 哇 罌 咸				
	5090	啞 咬 哄 哈 咨					啞 咬 哄 哈 咨				
	5100	呖 晒 咤 咤					呖 晒 咤 咤				
	5110	唔 哽 嘍 哭 哺					唔 哽 嘍 哭 哺				
	5120	售 啜 啜 啜 啜					售 啜 啜 啜 啜				
口	5130	咯 喊 啁 啁 啁					咯 喊 啁 啁 啁				
	5140	喻 喇 唳 鳴 嗅					喻 喇 唳 鳴 嗅				
	5150	嘔 噉 嘖 噉 噉					嘔 噉 嘖 噉 噉				
	5160	嘴 嘶 嘲 噉 噉					嘴 嘶 嘲 噉 噉				
	5170	噤 噤 噤 噤 噤					噤 噤 噤 噤 噤				
口	5180	噤 噤 噤 噤 噤					噤 噤 噤 噤 噤				
	5190	囹 囹 囹 囹 囹					囹 囹 囹 囹 囹				
	5200	囹 囹 囹 囹 囹					囹 囹 囹 囹 囹				
	5210	坏 址 坎 圪 址					坏 址 坎 圪 址				
	5220	圪 圪 圪 圪 圪					圪 圪 圪 圪 圪				
土	5230	埔 圪 圪 圪 圪					埔 圪 圪 圪 圪				
	5240	堡 塢 塢 塢 塢					堡 塢 塢 塢 塢				
	5250	墟 墟 墟 墟 墟					墟 墟 墟 墟 墟				
	5260	墟 墟 墟 墟 墟					墟 墟 墟 墟 墟				
	5270	壻 壻 壽					壻 壻 壽				
士	5280	夭 本 夸 夾 奇					夭 本 夸 夾 奇				
	5290	奢 奠 奧 獎 奩					奢 奠 奧 獎 奩				
	5300	奸 妁 妝 佞					佞 妁 妝 佞				
	5310	姜 妍 姘 姚 娥					娟 娑 娜 娉 娉				
	5320	姘 姘 姘 姘 姘					姘 姘 姘 姘 姘				
女	5330	嫵 嫵 媽 媽 嫵					嫵 嫵 媽 媽 嫵				
	5340	嫵 嫵 嫵 嫵 嫵					嫵 嫵 嫵 嫵 嫵				
	5350	嫵 嫵 嫵 嫵 嫵					嫵 嫵 嫵 嫵 嫵				
	5360	嫵 嫵 嫵 嫵 嫵					嫵 嫵 嫵 嫵 嫵				
	5370	嫵 嫵 嫵 嫵 嫵					嫵 嫵 嫵 嫵 嫵				

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
女	5340	嬌	嬋	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖
	5350	嬌	嬋	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖
子	5350	孑	孕	孚	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖
	5360	學	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖
宀	5360	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
	5370	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
	5380	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
寸	5380	尅	將	專	對						
小	5380					尔	尅				
尢	5380					尢	尢				
尸	5380									尸	
	5390	尹	屍	屈	屎	肩					
巾	5400					巾					
	5410	岑	岔	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
山	5420	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
	5430	崗	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
巛	5440	嵌	岳	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
	5450	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
巛	5460	巛	巛	巛	巛	巛	巛	巛	巛	巛	巛
	5470	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
巾	5480	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
	5490	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
干	5480	干	并								
	5490	幺	麼								
广	5480	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀
	5490	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀
广	5500	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌
	5510	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌	廌

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
廌	5510					廌	廌				
	5520					廌	廌				
廌	5530					廌	廌				
	5540					廌	廌				
廌	5550					廌	廌				
	5560					廌	廌				
廌	5570					廌	廌				
	5580					廌	廌				
廌	5590					廌	廌				
	5600					廌	廌				
廌	5610					廌	廌				
	5620					廌	廌				
廌	5630					廌	廌				
	5640					廌	廌				
廌	5650					廌	廌				
	5660					廌	廌				
廌	5670					廌	廌				
	5680					廌	廌				
廌	5690					廌	廌				
	5700					廌	廌				
廌	5710					廌	廌				
	5720					廌	廌				
廌	5730					廌	廌				
	5740					廌	廌				

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
手	5740	拈	拈	拱	扞	挂	挈	拯	拈	拈	挾
		5740	5741	5742	5743	5744	5745	5746	5747	5748	5749
	5750	捍	搜	捏	掖	揶	掀	揶	捶	掣	掬
		5750	5751	5752	5753	5754	5755	5756	5757	5758	5759
	5760	掉	掙	掙	捫	捫	掙	掙	揆	揆	揣
		5760	5761	5762	5763	5764	5765	5766	5767	5768	5769
	5770	揉	插	挪	揶	搖	拏	搆	搆	搆	搶
		5770	5771	5772	5773	5774	5775	5776	5777	5778	5779
	5780	攝	搗	搗	搏	摧	摯	搏	摯	攪	攪
		5780	5781	5782	5783	5784	5785	5786	5787	5788	5789
支	5820										支
											5829
	5830	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
		5830	5831	5832	5833	5834	5835	5836	5837	5838	5839
	5840	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
斗	5840										斛
											5848
斤	5840										斤
											5849
方	5850	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃
		5851	5852	5853	5854	5855	5856	5857	5858		
无	5850										无
											5859
日	5860	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱
		5861	5862	5863	5864	5865	5866	5867	5868	5869	
	5870	易	晏	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁
		5870	5871	5872	5873	5874	5875	5876	5877	5878	5879
	5880	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁
日		5880	5881	5882	5883	5884	5885	5886	5887	5888	5889
	5890	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁
		5890	5891	5892	5893	5894	5895	5896	5897	5898	5899
月	5900	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁	晁
		5901	5902	5903	5904	5905	5906	5907	5908		
木	5910	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
		5910	5911	5912	5913	5914	5915	5916	5917	5918	5919
	5920	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
		5920	5921	5922	5923	5924	5925	5926	5927	5928	5929
	5930	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
		5930	5931	5932	5933	5934	5935	5936	5937	5938	5939
	5940	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
		5940	5941	5942	5943	5944	5945	5946	5947	5948	5949
	5950	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
		5950	5951	5952	5953	5954	5955	5956	5957	5958	5959
木	5960	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
		5960	5961	5962	5963	5964	5965	5966	5967	5968	5969
	5970	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
木		5970	5971	5972	5973	5974	5975	5976	5977	5978	5979

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
木	5980	梵	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		5980	5981	5982	5983	5984	5985	5986	5987	5988	5989
	5990	栲	栲	栲	栲	栲					
		5990	5991	5992	5993	5994					
	6000	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6001	6002	6003	6004	6005	6006	6007	6008	6009	
	6010	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6010	6011	6012	6013	6014	6015	6016	6017	6018	6019
	6020	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6020	6021	6022	6023	6024	6025	6026	6027	6028	6029
木	6030	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6030	6031	6032	6033	6034	6035	6036	6037	6038	6039
	6040	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6040	6041	6042	6043	6044	6045	6046	6047	6048	6049
	6050	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6050	6051	6052	6053	6054	6055	6056	6057	6058	6059
	6060	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6060	6061	6062	6063	6064	6065	6066	6067	6068	6069
	6070	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6070	6071	6072	6073	6074	6075	6076	6077	6078	6079
木	6080	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6080	6081	6082	6083	6084	6085	6086	6087	6088	6089
	6090	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6090	6091	6092	6093	6094	6095	6096	6097	6098	6099
	6100	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6101	6102	6103	6104	6105	6106	6107	6108	6109	
	6110	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6110	6111	6112	6113	6114	6115	6116	6117	6118	6119
	6120	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲	栲
		6120	6121	6122							
欠	6120	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸
止	6130	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸	欸
		6130	6131	6132	6133	6134	6135	6136			
歹	6130	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹
	6140	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹
歹		6140	6141	6142	6143	6144	6145	6146	6147	6148	6149
	6150	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹
歹		6150	6151	6152							
	6150	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹
母	6150	母	母	母	母	母	母	母	母	母	母
毛	6150	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛
氏	6160	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
气	6160	气	气	气	气	气	气	气	气	气	气
水	6170	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
		6170	6171	6172	6173	6174	6175	6176	6177	6178	6179
	6180	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
		6180	6181	6182	6183	6184	6185	6186	6187	6188	6189
	6190	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
		6190	6191	6192	6193	6194	6195	6196	6197	6198	6199
	6200	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
水		6200	6201	6202	6203	6204	6205	6206	6207	6208	6209
	6210	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
水		6210	6211	6212	6213	6214	6215	6216	6217	6218	6219

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
水	6220	淩	浹	浙	涎	涕	濤	湴	淹	洩	淵
		6220	6221	6222	6223	6224	6225	6226	6227	6228	6229
	6230	涵	淇	淦	涸	涪	淬	淞	淌	淨	淒
		6230	6231	6232	6233	6234	6235	6236	6237	6238	6239
	6240	浙	淺	淙	淤	達	淪	淮	渭	湮	滄
		6240	6241	6242	6243	6244	6245	6246	6247	6248	6249
	6250	渙	浹	渥	渾	渣	湫	漂	淙	湍	淳
		6250	6251	6252	6253	6254	6255	6256	6257	6258	6259
	6260	湃	渺	涵	渤	滿	渝	游	測	溪	湓
		6260	6261	6262	6263	6264	6265	6266	6267	6268	6269
	6270	混	濁	滓	潯	湖	滄	洩	滔	滕	塘
		6270	6271	6272	6273	6274	6275	6276	6277	6278	6279
	6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	漚	澍	滾	漿
		6280	6281	6282	6283	6284	6285	6286	6287	6288	6289
	6290	滲	漱	滯	漲	滌					
火	6300	漾	漓	涵	澆	滂	清	澁	澀	潯	
		6301	6302	6303	6304	6305	6306	6307	6308	6309	
	6310	潛	潛	潭	激	潼	潘	澎	湮	濂	潦
		6310	6311	6312	6313	6314	6315	6316	6317	6318	6319
	6320	澳	潯	澡	澤	澹	漬	濤	濟	濕	潯
		6320	6321	6322	6323	6324	6325	6326	6327	6328	6329
	6330	灞	潭	濱	濮	濛	瀉	藩	濺	瀑	養
		6330	6331	6332	6333	6334	6335	6336	6337	6338	6339
	6340	瀏	濾	瀛	瀚	漭	瀝	瀟	瀟	瀾	瀾
		6340	6341	6342	6343	6344	6345	6346	6347	6348	6349
	6350	激	灑	灣							
		6350	6351	6352							
	6360	炮	烟	休	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
		6360	6361	6362	6363	6364	6365	6366	6367	6368	6369
	6370	熙	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燠	熄
爪	6380	煩	熨	熬	燜	烹	熾	燒	燉	燔	燎
		6380	6381	6382	6383	6384	6385	6386	6387	6388	6389
	6390	燠	燬	燧	燧	爐					
		6390	6391	6392	6393	6394					
	6400	燹	燿	爍	爐	爛	爍				
		6401	6402	6403	6404	6405	6406				
	6400							爭	爬	爰	
								6407	6408	6409	
	6410	爲									
		6410									
	爻	6410	爻	爻							
			6411	6412							
	月	6410		月	牀	牆					
				6413	6414	6415					
	片	6410				牋	牋				
牛						6416	6417				
	6410							牝	牝		
								6418	6419		
	6420	犁	犁	犇	犇	犇	犇	犇			
		6420	6421	6422	6423	6424	6425	6426			
	6430						犹	豺	狙		
							6427	6428	6429		
	6440	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	
		6430	6431	6432	6433	6434	6435	6436	6437	6438	6439
	6450	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	
		6440	6441	6442	6443	6444	6445	6446	6447	6448	6449
	6460	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	獒	
		6450	6451	6452	6453	6454	6455	6456	6457	6458	6459
	玉	6460	珈	玳	玳	玳	珀	珥	珥	珥	璫
石			6461	6462	6463	6464	6465	6466	6467	6468	6469

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
玉	6470	琅	瑯	琥	瑀	琲	玳	瑕	琿	瑟	璫
		6470	6471	6472	6473	6474	6475	6476	6477	6478	6479
	6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞
		6480	6481	6482	6483	6484	6485	6486	6487	6488	6489
	6490	璧	瓊	瓏	璦	琰					
		6490	6491	6492	6493	6494					
	瓜	6500	瓠	瓣							
			6501	6502							
	6500			舄	舄	舄	舄	舄	舄	舄	舄
				6503	6504		6505	6506	6507	6508	6509
	6510	瓷	甄	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃	甃
		6510	6511	6512	6513	6514					
	甘	6510									甬
											6519
	生	6520									
		6520									
	用	6520	甬								
田				早	畱	畱	畱	畱	畱	畱	畱
				6522	6523	6524	6525	6526	6527	6528	6529
	6530	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎
		6530	6531	6532	6533	6534	6535	6536	6537	6538	6539
	6540	畎	畎	畎							
		6540	6541	6542							
	6540			疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
				6543	6544	6545	6546	6547	6548	6549	
	6550	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
		6550	6551	6552	6553	6554	6555	6556	6557	6558	6559
	6560	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
		6560	6561	6562	6563	6564	6565	6566	6567	6568	6569
	6570	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
		6570	6571	6572	6573	6574	6575	6576	6577	6578	6579
	6580	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
疒		6580	6581	6582	6583	6584	6585	6586	6587	6588	6589
	6590	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
		6590	6591	6592	6593	6594					
	6600	疒									
		6601									
	6600	疒	癸	癸	癸	癸					
			6602	6603	6604						
	6600					皀	皀	皀	皀	皀	皀
						6605	6606	6607	6608	6609	
	6610	皀	皀	皀	皀						
		6610	6611	6612	6613						
	皮	6610			皀	皀	皀	皀	皀	皀	皀
					6614	6615	6616	6617	6618		
	皿	6610									孟
目											6619
	6620	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
		6620	6621	6622	6623	6624	6625	6626	6627	6628	
	6620										盼
											6629
	6630	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
		6630	6631	6632	6633	6634	6635	6636	6637	6638	6639
	6640	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
		6640	6641	6642	6643	6644	6645	6646	6647	6648	6649
	6650	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
		6650	6651	6652	6653	6654	6655	6656	6657	6658	6659
	6660	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
		6660	6661	6662	6663	6664	6665				
	矛	6660					矜				
矢							6666				
	6660							矣	矮		
								6667	6668		
	6660									疒	
										6669	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
石	6670	砌	砒	礪	礪	礪	硅	碎	砒	礪	礪
		6670	6671	6672	6673	6674	6675	6676	6677	6678	6679
	6680	砒	砒	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
		6680	6681	6682	6683	6684	6685	6686	6687	6688	6689
	6690	礪	礪	礪	礪	礪					
		6690	6691	6692	6693	6694					
示	6700	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
		6701	6702	6703	6704	6705	6706	6707	6708	6709	
示	6710	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
		6711	6712	6713	6714	6715	6716	6717	6718	6719	
示	6720	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
		6720	6721	6722	6723	6724	6725	6726			
禾	6720						禹	禹			
							6727	6728			
	6730	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝
		6730	6731	6732	6733	6734	6735	6736	6737	6738	6739
	6740	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝	秝
		6740	6741	6742	6743	6744	6745	6746	6747	6748	6749
穴	6750	穢	穢	穢	穢	穢					
		6750	6751	6752	6753						
	6760	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢
		6760	6761	6762	6763	6764	6765	6766	6767	6768	6769
立	6770	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6771	6772	6773	6774	6775	6776	6777	6778	6779	
竹	6780	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6780	6781	6782	6783	6784	6785	6786	6787	6788	6789
	6790	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6790	6791	6792	6793	6794	6800	6801	6802	6803	6804
	6810	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6810	6811	6812	6813	6814	6815	6816	6817	6818	6819
	6820	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6820	6821	6822	6823	6824	6825	6826	6827	6828	6829
	6830	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6830	6831	6832	6833	6834	6835	6836	6837	6838	6839
米	6840	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6840	6841	6842	6843	6844	6845	6846	6847	6848	6849
	6850	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6850	6851	6852	6853	6854	6855	6856	6857	6858	6859
糸	6860	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6860	6861	6862	6863	6864	6865				
	6870	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6870	6871	6872	6873	6874	6875	6876	6877	6878	6879
糸	6880	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6880	6881	6882	6883	6884	6885	6886	6887	6888	6889
	6890	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6890	6891	6892							
糸	6900	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6901	6902	6903	6904	6905	6906	6907	6908	6909	
糸	6910	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓	𡵓
		6910	6911	6912	6913	6914	6915	6916	6917	6918	6919

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
糸	6920	經	綉	條	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6920	6921	6922	6923	6924	6925	6926	6927	6928	6929
	6930	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6930	6931	6932	6933	6934	6935	6936	6937	6938	6939
	6940	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6940	6941	6942	6943	6944	6945	6946	6947	6948	6949
糸	6950	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6950	6951	6952	6953	6954	6955	6956	6957	6958	6959
糸	6960	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6960	6961	6962	6963	6964	6965	6966	6967	6968	6969
糸	6970	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6970	6971	6972	6973	6974	6975	6976	6977	6978	6979
糸	6980	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6980	6981	6982	6983	6984	6985	6986	6987	6988	6989
缶	6990	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		6990	6991	6992							
缶	7000	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7001	7002	7003	7004	7005					
网	7000	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7010	7011	7012	7013	7014	7015	7016	7017	7018	7019
羊	7020	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7020									
羽	7030	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7030	7031	7032	7033	7034	7035	7036	7037	7038	7039
老	7040	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7040					7045	7046	7047		
未	7040	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7040					7048	7049			
耳	7050	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7050	7051	7052	7053	7054	7055	7056	7057	7058	7059
聿	7060	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7060	7061	7062	7063	7064	7065	7066	7067	7068	7069
肉	7070	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7070									
	7080	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7080	7081	7082	7083	7084	7085	7086	7087	7088	7089
	7090	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7090	7091	7092	7093	7094					
	7100	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7101	7102	7103	7104	7105	7106	7107	7108	7109	
	7110	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7110	7111	7112	7113	7114	7115	7116	7117	7118	7119
臣	7120	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7120	7121	7122	7123	7124	7125	7126	7127	7128	7129
至	7130	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7130	7131	7132	7133	7134	7135	7136	7137	7138	7139
至	7140	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
		7140									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
白	7140					史 7144	昇 7145	春 7146	舅 7147	與 7148	舊 7149
舌	7150	舍 7150	舐 7151	鋪 7152							
舟	7150			舩 7153	舫 7154	舸 7155	舯 7156	舰 7157	舱 7158	舲 7159	
	7160	舳 7160	舴 7161	舵 7162	舶 7163	舷 7164	舸 7165	舯 7166	舰 7167	舱 7168	
艮	7160									艱 7169	
色	7170	艷 7170									
艸	7170	艸 7171	艾 7172	芍 7173	芒 7174	荒 7175	茈 7176	芻 7177	芬 7178	苾 7179	
	7180	芑 7180	苟 7181	苒 7182	苕 7183	莓 7185	莓 7186	范 7187	苻 7188	苹 7189	
	7190	苞 7190	茆 7191	苜 7192	茱 7193	苙 7194					
	7200	茵 7201	茴 7202	荅 7203	茲 7204	茱 7205	荀 7206	茹 7207	苻 7208	荅 7209	
	7210	茯 7210	茫 7211	茗 7212	荔 7213	莛 7215	莪 7216	荅 7217	莢 7218	莖 7219	
	7220	莫 7220	莎 7221	苳 7222	莊 7223	菟 7225	荳 7226	苾 7227	莠 7228	莉 7229	
	7230	苙 7230	菴 7231	萱 7232	萑 7233	菽 7234	苳 7235	苳 7236	苳 7237	菁 7239	
	7240	蒂 7240	蓑 7241	菠 7242	菲 7243	范 7245	萌 7246	芥 7247	莧 7248	菱 7249	
	7250	林 7250	葭 7251	莉 7252	萑 7253	茈 7255	葦 7256	胡 7257	莧 7258	葭 7259	
	7260	蒂 7260	葩 7261	葆 7262	萬 7263	施 7265	蒿 7266	蓊 7267	葢 7268	兼 7269	
	7270	蒿 7270	蒟 7271	蒞 7272	著 7273	蓍 7275	蓍 7276	葵 7277	蓍 7278	萑 7279	
	7280	蒟 7280	蔡 7281	蒨 7282	蓴 7283	蓴 7285	蔬 7286	蒨 7287	蓴 7288	蒨 7289	
	7290	蓴 7290	蓴 7291	蓴 7292	蓴 7293	蓴 7294					
	7300	蓴 7301	蓴 7302	蓴 7303	蓴 7304	蓴 7305	蓴 7306	蓴 7307	蓴 7308	蓴 7309	
	7310	蓴 7310	蓴 7311	蓴 7312	蓴 7313	蓴 7315	蓴 7316	蓴 7317	蓴 7318	蓴 7319	
	7320	蓴 7320	蓴 7321	蓴 7322	蓴 7323	蓴 7325	蓴 7326	蓴 7327	蓴 7328	蓴 7329	
	7330	蓴 7330	蓴 7331	蓴 7332	蓴 7333	蓴 7335	蓴 7336	蓴 7337	蓴 7338	蓴 7339	
虎	7340	虎 7340	虎 7341	虎 7342	虎 7343	虎 7344					
虫	7340					虱 7345	虱 7346	虱 7347	虱 7348	虱 7349	
	7350	蚋 7350	蚌 7351	蚶 7352	蚯 7353	蛄 7354	蛆 7355	蚰 7356	蛉 7357	螭 7358	蛇 7359
	7360	蚶 7360	蛭 7361	蛭 7362	蛭 7363	蛟 7364	蛛 7365	蛇 7366	蛭 7367	蛭 7368	蛭 7369
	7370	蜀 7370	蜃 7371	蛭 7372	蛭 7373	蛭 7374	蛭 7375	蛭 7376	蛭 7377	蛭 7378	蛭 7379
	7380	蛭 7380	蛭 7381	蛭 7382	蛭 7383	蛭 7384	蛭 7385	蛭 7386	蛭 7387	蛭 7388	蛭 7389
	7390	蛭 7390	蛭 7391	蛭 7392	蛭 7393	蛭 7394					
	7400	蛭 7401	蛭 7402	蛭 7403	蛭 7404	蛭 7405	蛭 7406	蛭 7407	蛭 7408	蛭 7409	
	7410	蛭 7410	蛭 7411	蛭 7412	蛭 7413	蛭 7415	蛭 7416	蛭 7417	蛭 7418	蛭 7419	
	7420	蛭 7420	蛭 7421	蛭 7422	蛭 7423	蛭 7425	蛭 7426	蛭 7427	蛭 7428	蛭 7429	
	7430	蛭 7430	蛭 7431	蛭 7432	蛭 7433	蛭 7434	蛭 7435	蛭 7436	蛭 7437	蛭 7438	蛭 7439

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
虫	7430	蝶 7430	蝶 7431	蠕 7432	蠢 7433	蠢 7434	蠱 7435	蠱 7436	蠱 7437	蠱 7438	蠱 7439
血	7440	衄 7440	衄 7441								
行	7440		衙 7442	衙 7443	衙 7444	衙 7445					
衣	7440						衫 7446	袁 7447	衾 7448	衾 7449	
	7450	衾 7450	衾 7451	衾 7452	衾 7453	衾 7454	衾 7455	衾 7456	衾 7457	衾 7458	衾 7459
	7460	袍 7460	裘 7461	裘 7462	裘 7463	裘 7464	裘 7465	裘 7466	裘 7467	裘 7468	裘 7469
	7470	裘 7470	裘 7471	裘 7472	裘 7473	裘 7474	裘 7475	裘 7476	裘 7477	裘 7478	裘 7479
	7480	裘 7480	裘 7481	裘 7482	裘 7483	裘 7484	裘 7485	裘 7486	裘 7487	裘 7488	裘 7489
	7490	裘 7490	裘 7491	裘 7492	裘 7493	裘 7494	裘 7501	裘 7502	裘 7503	裘 7504	
冫	7500	冫 7501	冫 7502	冫 7503	冫 7504	冫 7505	冫 7506	冫 7507			
	7500						冫 7508	冫 7509			
見	7510	覷 7510	覷 7511								
	7510		覷 7512	覷 7513	覷 7514		覷 7515	覷 7516	覷 7517	覷 7518	覷 7519
角	7520	覺 7520	覺 7521	覷 7522	覷 7523						
	7520					觚 7524	觚 7525	觚 7526	觚 7527	觚 7528	觚 7529
言	7530	訃 7530	訃 7531	訃 7532	訃 7533	訃 7534	訃 7535	訃 7536	訃 7537	訃 7538	訃 7539
	7540	詈 7540	詈 7541	詈 7542	詈 7543	詈 7544	詈 7545	詈 7546	詈 7547	詈 7548	詈 7549
	7550	誨 7550	誨 7551	誨 7552	誨 7553	誨 7554	誨 7555	誨 7556	誨 7557	誨 7558	誨 7559
	7560	誨 7560	誨 7561	誨 7562	誨 7563	誨 7564	誨 7565	誨 7566	誨 7567	誨 7568	誨 7569
	7570	誨 7570	誨 7571	誨 7572	誨 7573	誨 7574	誨 7575	誨 7576	誨 7577	誨 7578	誨 7579
	7580	誨 7580	誨 7581	誨 7582	誨 7583	誨 7584	誨 7585	誨 7586	誨 7587	誨 7588	誨 7589
	7590	誨 7590	誨 7591	誨 7592	誨 7593	誨 7594					
	7600	誨 7601	誨 7602	誨 7603	誨 7604		誨 7605	誨 7606	誨 7607	誨 7608	誨 7609
	7610	讓 7610	讓 7611	讓 7612	讓 7613						
	7610					𠂔 7614	𠂔 7615	𠂔 7616			
谷	7610										
豆	7610								豈 7617	豈 7618	豈 7619
	7620	豐 7620									
豕	7620	豕 7621	豕 7622	豕 7623							
豕	7620					豕 7624	豕 7625	豕 7626	豕 7627	豕 7628	豕 7629
	7630	豕 7630	豕 7631	豕 7632	豕 7633	豕 7634					
貝	7630						賤 7635	賤 7636	賤 7637	賤 7638	賤 7639
	7640	貳 7640	貳 7641	貳 7642	貳 7643	貳 7644	賤 7645	賤 7646	賤 7647	賤 7648	賤 7649
	7650	賤 7650	賤 7651	賤 7652	賤 7653	賤 7654	賤 7655	賤 7656	賤 7657	賤 7658	賤 7659
	7650	賤 7650	賤 7651	賤 7652	賤 7653	賤 7654	賤 7655	賤 7656	賤 7657	賤 7658	賤 7659

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
貝	7660	賍 𧸗 𧸘 𧸙									
赤	7660	赧 赧 赧 赧									
走	7660					𧸚 𧸛 𧸜 𧸝					
足	7660									𧸞	7669
	7670	𧸟	𧸠	𧸡	𧸢	𧸣	𧸤	𧸥	𧸦	𧸧	7679
	7680	𧸨	𧸩	𧸪	𧸫	𧸬	𧸭	𧸮	𧸯	𧸰	7689
	7690	𧸱	𧸲	𧸳	𧸴	𧸵					
	7700	𧸶	𧸷	𧸸	𧸹	𧸺	𧸻	𧸼	𧸽	𧸾	7709
	7710	𧸿	𧹀	𧹁	𧹂	𧹃	𧹄	𧹅	𧹆	𧹇	7719
	7720	𧹈	𧹉	𧹊	𧹋	𧹌	𧹍	𧹎	𧹏	𧹐	7729
身	7720									𧹑	7729
	7730	𧹒	𧹓	𧹔	𧹕						
車	7730	𧹖				𧹗	𧹘	𧹙	𧹚	𧹛	7739
	7740	𧹜	𧹝	𧹞	𧹟	𧹠	𧹡	𧹢	𧹣	𧹤	7749
	7750	𧹥	𧹦	𧹧	𧹨	𧹩	𧹪	𧹫	𧹬	𧹭	7759
	7760	𧹮	𧹯	𧹰	𧹱	𧹲					
辛	7760					𧹳	𧹴	𧹵			
	7770	𧹶	𧹷								
辶	7770	𧹸	𧹹	𧹺	𧹻	𧹼	𧹽	𧹾	𧹿	𧺀	7779
	7780	𧺁	𧺂	𧺃	𧺄	𧺅	𧺆	𧺇	𧺈	𧺉	7789
	7790	𧺊	𧺋	𧺌	𧺍	𧺎					
	7800	𧺏	𧺐	𧺑	𧺒	𧺓	𧺔	𧺕	𧺖	𧺗	7809
	7810	𧺘	𧺙	𧺚	𧺛	𧺜	𧺝	𧺞	𧺟	𧺠	7819
	7820	𧺡	𧺢	𧺣							
邑	7820	𧺤	𧺥	𧺦	𧺧	𧺨	𧺩	𧺪	𧺫	𧺬	7829
	7830	𧺭	𧺮	𧺯	𧺰	𧺱	𧺲				
酉	7830					𧺳	𧺴	𧺵	𧺶	𧺷	7839
	7840	𧺸	𧺹	𧺺	𧺻	𧺼	𧺽	𧺾	𧺿	𧻀	7849
	7850	𧻁	𧻂	𧻃	𧻄	𧻅					
采	7850					𧻆	𧻇				
里	7850									𧻈	7858
金	7850									𧻉	7859
	7860	𧻊	𧻋	𧻌	𧻍	𧻎	𧻏	𧻐	𧻑	𧻒	7869

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
金	7870	鈕	鈑	鈔	鈔	鉅	鉉	鉉	鉉	鉉	7879
	7880	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7889
	7890	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉					
	7900	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7909
	7910	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7919
	7920	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7929
	7930	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7939
門	7940	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7949
	7950	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	鉉	7959
阜	7950								𧻓	𧻔	7959
	7960	𧻕	𧻖	𧻗	𧻘	𧻙	𧻚	𧻛	𧻜	𧻝	7969
	7970	𧻞	𧻟	𧻠	𧻡	𧻢	𧻣	𧻤	𧻥	𧻦	7979
	7980	𧻧	𧻨	𧻩	𧻪	𧻫					
隶	7980	𧻬	𧻭	𧻮	𧻯	𧻰	𧻱	𧻲	𧻳	𧻴	7989
	7990	𧻵	𧻶	𧻷	𧻸	𧻹	𧻺	𧻻	𧻼	𧻽	7999
	8000	𧻾	𧻿	𧼀	𧼁	𧼂	𧼃	𧼄	𧼅	𧼆	8009
隹	8010	𧼇	𧼈	𧼉	𧼊	𧼋	𧼌	𧼍	𧼎	𧼏	8019
	8020	𧼐	𧼑	𧼒	𧼓	𧼔	𧼕	𧼖	𧼗	𧼘	8029
雨	8030	𧼙	𧼚	𧼛	𧼜	𧼝	𧼞	𧼟	𧼠	𧼡	8039
	8040	𧼢	𧼣	𧼤	𧼥	𧼦	𧼧	𧼨	𧼩	𧼪	8049
青	8040									𧼫	8048
非	8040									𧼬	8049
革	8050	𧼭	𧼮	𧼯	𧼰	𧼱	𧼲	𧼳	𧼴	𧼵	8059
	8060	𧼶	𧼷	𧼸	𧼹	𧼺	𧼻	𧼼	𧼽	𧼾	8069
	8070	𧼿	𧽀	𧽁	𧽂	𧽃					
韋	8070					𧽄	𧽅				
韭	8070								𧽆	𧽇	8078
音	8070									𧽈	8079
	8080	𧽉	𧽊								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
頁	8080		頌	頌	頌	頤	頤	頤	頤	頤	頤
			8082	8083	8084	8085	8086	8087	8088	8089	
	8090	顏	顚	顚	顚	顚					
		8090	8091	8092	8093	8094					
	8100	顚	顚	顚							
		8101	8102	8103							
風	8100				颯	颯	颯	颯	颯	颯	
					8104	8105	8106	8107	8108	8109	
	8110	颯									
		8110									
食	8110	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	
		8111	8112	8113	8114	8115	8116	8117	8118	8119	
	8120	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	餽	
		8120	8121	8122	8123	8124	8125	8126	8127	8128	8129
	8130	餽	餽	餽	餽	餽	餽				
		8130	8131	8132	8133	8134	8135				
首	8130					馘	馘				
						8136	8137				
香	8130								馥		
									8138		
馬	8130									馭	
										8139	
	8140	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	
		8140	8141	8142	8143	8144	8145	8146	8147	8148	8149
	8150	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	
		8150	8151	8152	8153	8154	8155	8156	8157	8158	8159
	8160	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	
		8160	8161	8162	8163	8164	8165	8166	8167	8168	8169
	8170	馭	馭	馭	馭	馭	馭				
		8170	8171	8172	8173	8174	8175				
骨	8170					骹	骹	骹	骹	骹	
						8176	8177	8178	8179		
	8180	骹	骹	骹	骹						
		8180	8181	8182	8183						
高	8180				髡						
					8184						
髡	8180				髡	髡	髡	髡	髡	髡	
					8185	8186	8187	8188	8189		
	8190	髡	髡	髡	髡	髡					
		8190	8191	8192	8193	8194					
	8200	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡		
		8201	8202	8203	8204	8205	8206	8207			
鬥	8200					鬥	鬥				
						8208	8209				
	8210	鬥	鬥	鬥	鬥						
		8210	8211	8212	8213						
鬯	8210				鬯						
					8214						
鬯	8210				鬯						
					8215						
鬼	8210					魄	魄	魄	魄	魄	
						8216	8217	8218	8219		
	8220	魍	魍	魍							
		8220	8221	8222							
魚	8220			魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	
				8223	8224	8225	8226	8227	8228	8229	
	8230	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	
		8230	8231	8232	8233	8234	8235	8236	8237	8238	8239
	8240	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	
		8240	8241	8242	8243	8244	8245	8246	8247	8248	8249
	8250	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	
		8250	8251	8252	8253	8254	8255	8256	8257	8258	8259
8260	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	
	8260	8261	8262	8263	8264	8265	8266	8267	8268	8269	
8270	魴	魴	魴	魴							
	8270	8271	8272	8273							

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鳥	8270					鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬
						8274	8275	8276	8277	8278	8279
	8280	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	
		8280	8281	8282	8283	8284	8285	8286	8287	8288	8289
	8290	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬					
		8290	8291	8292	8293	8294					
	8300	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	
		8301	8302	8303	8304	8305	8306	8307	8308	8309	
8310	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	
		8310	8311	8312	8313	8314	8315	8316	8317	8318	8319
8320	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	
		8320	8321	8322	8323	8324	8325	8326	8327	8328	8329
8330	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬	鳬					
		8330	8331	8332	8333	8334					
鹵	8330						鹵	鹵	鹵		
							8335	8336	8337		
鹿	8330								麋	麋	
									8338	8339	
	8340	麋	麋	麋	麋	麋	麋				
		8340	8341	8342	8343	8344	8345				
麥	8340						麥	麥	麥	麥	
							8346	8347	8348	8349	
	8350	麴									
		8350									
麻	8350										
黃	8350					覺					
						8352					
黍	8350					黎	黏	黏			
						8353	8354	8355			
黑	8350						黔	黠	黠	黠	
							8356	8357	8358	8359	
	8360	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	
		8360	8361	8362	8363	8364	8365	8366			
黠	8360						黠	黠	黠	黠	
							8367	8368	8369		
黠	8370	黠	黠	黠							
		8370	8371	8372							
鼓	8370					鼓	鼓				
						8373	8374				
鼠	8370						鼠	鼠			
							8375	8376			
鼻	8370						鼻				
							8377				
齊	8370						齊				
							8378				
齒	8370									齒	
										8379	
	8380	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	
		8380	8381	8382	8383	8384	8385	8386	8387	8388	8389
	8390	齒	齒								
		8390	8391								
龍	8390					龕					
						8392					
龜	8390					龜					
						8393					
龕	8390					龕					
						8394					
8400		堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯			
		8401	8402	8403	8404	8405	8406				

記号・カナなど

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記 号	0100	(スペース)	0101	0102	0103	0104	0105	0106	0107	0108	0109
	0110	!	〃	°	′	〃	…	^	—	—	〃
	0120	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	0130	-	/	\	~			...	..	‘	’
	0140	“	”	(	)	[	]	[	]	{	}
	0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】
	0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤
	0170	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	〃	℃	¥
	0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆
	0190	★	○	●	◎	◇					
	0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	
	0210	→	←	↑	↓	=					
	0220					∈	∋	⊆	⊇		
	0230	⊂	⊃	⊄	⊅						
	0240	∠	⊥	∩	∪	⇒	⇔	∇	∃		
	0260	∞	∞	∴	∫	≡	≠	≪	≫	√	
	0270	∞	∞	∴	∫						
	0280	Å	%	#		b	♪	†	‡	¶	
	0290										
英・ 数 字	0310						0	1	2	3	
	0320	4	5	6	7	8	9				
	0330	A	B	C	D	E	F	G			
	0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	0360	a	b	c	d	e					
	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	0390	z									
ひ ら が な	0400	あ	い	う	え	お					
	0410	か	き	く	け	こ					
	0420	さ	し	す	せ	そ					
	0430	た	ち	つ	て	と					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひ ら が な	0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	0450	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ
	0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	や	ゆ
	0470	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん	う	か	け			
カ タ カ ナ	0500	ア	イ	イ	イ	イ	ウ	エ	エ	オ	
	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ツ	ヅ	テ	デ	
	0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ
	0570	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
	0580	キ	エ	ヲ	ン	ヅ	カ	ケ			
ギ リ シ ヤ 文 字	0600	A	B	Γ	Δ		E	Z	H	Θ	I
	0610	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T
	0620	Υ	Φ	X	Ψ	Ω					
	0630						α	β	γ	δ	ε
	0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロ シ ア 文 字	0700	A	Б	В	Г		Д	Е	Ё	Ж	З
	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	0730	Ь	Э	Ю	Я						
	0740										а
	0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я								
8 9 5 0	8950	財団法人	学校法人	医療法人	宗教法人						
	8960	財団法人	学校法人	医療法人	宗教法人						
	8980					TEL	FAX	No.	(株)	(有)	(社)
	8990	(財)	(学)	(医)	(宗)	(代)					

■ 索 引

あ

預り入力	76
圧縮印字	96、102
後レシート	24
後レシートキー	18
アフターサービス	126
一連番号	94
印字形式	96
内税	15
売上回収金	26
売上回収金キー	19
売上データの書き込み	112
売上登録	22
売上登録印字形式	100
売上の確認	42
営業記録	13、24、49、96
英字	55
エラー処理	122
オーバーフロー	124
オープン登録	34、65、69
お買い上げ	22
置数キー	18
お客様ご相談窓口	127
お客様番号	33
音訓キー	55

か

カーソルキー	55
解除キー	19
各種メッセージ	90
確定キー	55
掛け売り	35
掛け売りキー	19
カスタマサポートツール	5、106
課税方法	63、72
カタカナ	55
紙送りキー	18
紙づまり	119
簡易日付設定	14
管理者鍵(MA)	16
キートップ	116
キーボード	16
キーラベル	116
期間集計	47
機能キー	70
機能キー番号表	80
機能切りかえスイッチ	16
機能名	71、76
機能名の設定	79
客側表示部	17

切替キー	54
金額キー	18
金銭収納箱	120
区点コード	57、131
グラフィック店名ロゴ	5
グラフィック店名ロゴ作成依頼書	5、126
クリア	36、124
クリアキー	18、55
クレジットカード	30、33
警告音	122
桁数制限	63、74、77
現金/預りキー	19
現金単品売り	33、63
券売	30
券売キー	19
コインケース	120
交換	118
合計額の丸め	95
更新日	86
小切手	30
固定金具	10
コマーシャルメッセージ	90
困ったときは	122

さ

最低購入金額	79
時間帯別	43、46
時刻	14、93
時刻・日付表示キー	18
指定訂正	36、37
自動バックアップ	104
自動変更予約機能	86
支払いキー	18
紙幣仕切板	120
ジャーナル	13
集計レポート	102
収入印紙	31、100、101
修理	126
仕様	129
小計額	28
小計キー	19
乗算	17、25
乗算キー	18
小数数量(小数点)	25、29、95
小数点キー	18
省電力	17、103
消費税	63、72、81
消費税の端数処理	82
商品券	30
ショートカット	54

信用	30
信用売りキー	19
数字	55、56
スリープモード	17、103
税関連印字	83
精算	43
税率	85
責任者	24
責任者キー	19
責任者別	43、45
責任者名	89
設置	10
設定	52
設定データの書き込み	110
設定データの読み込み	111
設定内容の印字	59
設定モード	52
前候補キー	55
全項目取消	36、38
全部門	43、45
操作メニュー	53
外税	15

た

濁音	56
単位金額	78
単価	62、63
単価読み出し	34
担当者鍵(OP)	16
長音	56
直前訂正	36
通信タイムアウト時間	92
つけ	30、35
つり銭	22
つり銭準備金	26
釣銭準備金キー	19
訂正	36
訂正キー	18
訂正一部門の登録	37
訂正-PLU	38
停電	122
点検	43
電源スイッチ	16
電子ジャーナル	49、102
電子ジャーナルの印字	114
電子ジャーナルの書き込み	113
店名ロゴ	5、90、99、112
登録モード制限	94
取引限度額	73、77
取引後訂正	36、39

な

日計全項目	43、44
入金キー	18
入力モード	55
値引額	71
値引き	27
値引キー	18

は

パーセントキー	18
倍文字キー	54
端数処理	95
バックアップ	114
半濁音	56
非課税	15
引出し	16、120
引出し錠	16
日付	14、93
表示部	16、17
ひらがな	55
フォーマット	110
不加算コード	33
不加算登録キー	18
復元	115
符号	63、71
フッタ	76、98
部門キー	19、62
部門別	43、45
部門名	63
プリセット登録	34、65、69
プリンタ	121
プリンタアーム	12
プリンタ印字濃度	92
プリンタカバー	12、16
プログラムリセット	122
ペーパーガイド	12
別売品	126
変換キー	55
返品	29
ポイント券	32、77
ポイント券メッセージ	90
補修用性能部品	126
保証	126
ポップアップ式回転表示部	16

ま

マグネットプレート	16
マスターリセット	11
万札キー	19
メッセージ	98、99
メモリーフル	102
免税点	85
文字の修正	57
文字の入力	54
戻品	29
戻品キー	18

や

予約券	32
予約券キー	19
予約券メッセージ	90

ら

リピート	17、25
両替	26
両替キー	19
領収証	31、101
領収証発行キー	19
領収証ロゴ	31、90、112
レシート	12、16、23
レシート発行停止	17、24
レジスタ番号	93
練習データクリア	40
ロール紙	12、117

わ

割引	28
割引率	71
割増	28
ワンタッチ点検	42

数字

1行クリアキー	55
1日の流れ	20
1万円札	23、26

英字

ECR文字コード	57、130
PLU	34
PLUキー	18
PLU別	43、46
SDカードスロット	16
SDメモリーカード	109
USBポート	16

コピーを
の側面
に貼っ
ておく
と便
利です。

形 名	消耗品の ご用命は 店名 TEL		
	消耗品名	品番	外径
ロール紙		RL140T	70mm
		RL130T	80mm
ロール紙(高保存タイプ)		RL141T	70mm
		RL131T	80mm

(5巻1パック)
紙質:感熱紙
紙幅:57.5mm±0.5mm

■ レシートから見る逆引き検索

◆ レシート印字例

日付 設定(☞14、93ページ) 印字(☞96ページ)	お買上票 毎度ありがとうございます またの御来店を お待ちしております ありがとうございました 2006年 1月15日 10:35 1 000123#0038 田中	店名ロゴ 設定(☞5、90、98、106、112ページ) 印字(☞98ページ)												
レジスタ番号 設定(☞93ページ)		コマーシャルメッセージ 設定(☞90ページ) 印字(☞98ページ)												
一連番号 設定(☞93ページ) 印字(☞96ページ)	時刻 設定(☞14、93ページ) 印字(☞96ページ)	責任者番号 設定(☞24ページ)												
部門名 設定(☞63ページ)	責任者名 設定(☞89ページ)	部門単価 設定(☞62、63ページ)												
PLU名 設定(☞68ページ)	<table border="0"> <tr><td>部門01</td><td>外¥1,000</td></tr> <tr><td>部門01</td><td>外¥1,500</td></tr> <tr><td>**小計</td><td>¥2,500</td></tr> <tr><td>PLU0001</td><td>外¥1,000</td></tr> <tr><td>PLU0001</td><td>外¥1,000</td></tr> <tr><td>**小計</td><td>¥4,500</td></tr> </table>	部門01	外¥1,000	部門01	外¥1,500	**小計	¥2,500	PLU0001	外¥1,000	PLU0001	外¥1,000	**小計	¥4,500	PLU単価 設定(☞66、68ページ)
部門01	外¥1,000													
部門01	外¥1,500													
**小計	¥2,500													
PLU0001	外¥1,000													
PLU0001	外¥1,000													
**小計	¥4,500													
課税方法 設定(☞63ページ)	<table border="0"> <tr><td>部門01</td><td>外¥1,000</td></tr> <tr><td>部門02</td><td>内¥2,500</td></tr> <tr><td>部門03</td><td>非¥3,000</td></tr> <tr><td>**小計</td><td>¥11,000</td></tr> </table>	部門01	外¥1,000	部門02	内¥2,500	部門03	非¥3,000	**小計	¥11,000	小計キーで印字 設定(☞100ページ)				
部門01	外¥1,000													
部門02	内¥2,500													
部門03	非¥3,000													
**小計	¥11,000													
外税課税小計 印字(☞83ページ)	<table border="0"> <tr><td>部門01</td><td>外¥2,500</td></tr> <tr><td>部門02</td><td>内¥1,600</td></tr> <tr><td>部門03</td><td>非¥3,200</td></tr> <tr><td>**小計</td><td>¥18,300</td></tr> </table>	部門01	外¥2,500	部門02	内¥1,600	部門03	非¥3,200	**小計	¥18,300	外税の記号 印字(☞83ページ)				
部門01	外¥2,500													
部門02	内¥1,600													
部門03	非¥3,200													
**小計	¥18,300													
内税額 印字(☞83ページ)	<table border="0"> <tr><td>外税小計</td><td>¥8,000</td></tr> <tr><td>外税</td><td>¥400</td></tr> <tr><td>内税小計</td><td>¥4,100</td></tr> <tr><td>(内税)</td><td>¥195</td></tr> </table>	外税小計	¥8,000	外税	¥400	内税小計	¥4,100	(内税)	¥195	内税の記号 印字(☞83ページ)				
外税小計	¥8,000													
外税	¥400													
内税小計	¥4,100													
(内税)	¥195													
合計前紙送り 設定(☞100ページ)	<table border="0"> <tr><td>非課税の記号 印字(☞83ページ)</td></tr> <tr><td>外税課税小計</td><td>¥8,000</td></tr> <tr><td>外税</td><td>¥400</td></tr> <tr><td>内税課税小計 印字(☞83ページ)</td></tr> <tr><td>内税小計</td><td>¥4,100</td></tr> <tr><td>(内税)</td><td>¥195</td></tr> </table>	非課税の記号 印字(☞83ページ)	外税課税小計	¥8,000	外税	¥400	内税課税小計 印字(☞83ページ)	内税小計	¥4,100	(内税)	¥195	買上点数 印字(☞100ページ)		
非課税の記号 印字(☞83ページ)														
外税課税小計	¥8,000													
外税	¥400													
内税課税小計 印字(☞83ページ)														
内税小計	¥4,100													
(内税)	¥195													
ポイント名 設定(☞77ページ)	<table border="0"> <tr><td>個数</td><td>10個</td></tr> <tr><td>現金</td><td>¥18,700</td></tr> </table>	個数	10個	現金	¥18,700									
個数	10個													
現金	¥18,700													
	<table border="0"> <tr><td>ポイント</td><td>180</td></tr> </table> 1ポイント1円で値引します。 次回レシートから切り離さずにお出ください。	ポイント	180	ポイント券メッセージ 設定(☞90ページ)										
ポイント	180													
		収入印紙用余白 設定(☞100ページ)												

◆予約券印字例

* 予約券 *	
様 次回のご予約は下記の日時 となっております。	予約券メッセージ 設定(☎90ページ)
9月 1日 (水) 11時00分	予約券の日付 (☎32ページ)

◆領収証印字例

* 領収証控 *		
領収証一連番号 設定(☎101ページ)	No. 0002 様 ￥50,000 (税抜金額 ￥47,620) (消費税等 ￥2,380) 但し	領収証控え 設定(☎101ページ)
領 収 証 No. 0002 2006年 1月15日 様 金50,000円 但し		
任意額内税印字 設定(☎101ページ)		
上記正に領収致しました (税抜金額 ￥47,620) (消費税等 ￥2,380) 大阪市阿倍野区長池町 和菓子のお店		
領収証ロゴ 設定(☎90、101ページ)		
収 入 印 紙	印	収入印紙貼付枠印字の金額 設定(☎101ページ)

■ 部門設定用シート

部門設定の際にこのシートをコピーしてご使用ください。

部門 番号	部門名 *1	符号プラス/ マイナス	単 価	消費税1/ 消費税2	内税/外税/ 非課税	単価の 登録方法	登録単価の 桁数制限	現金単品 売り

*1：最大16文字（半角文字サイズ）

■ PLU設定用シート

PLU設定の際にこのシートをコピーしてご使用ください。

PLU 番号	PLU名 *1	所属部門	単 価	単価の登録方法 オープン/プリセット/削除	備 考

*1：最大16文字（半角文字サイズ）



使い方のご相談など

【レジスタ相談窓口】



0120 - 212 - 003

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～18:00
(祝日および年末年始を除く)

■ IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：03 - 6740 - 6012

FAX：03 - 3810 - 8617



修理のご相談など

【カスタマーセンター】(沖縄地区を除く)



0570 - 00 - 5008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～17:40
(祝日および年末年始を除く)

■ 〈PHS・IP電話をご利用〉または〈沖縄地区の方〉は…

東日本地区 PHS／IP電話：03 - 3810 - 8604

西日本地区 PHS／IP電話：06 - 6794 - 9676

沖縄地区 「那覇サービスセンター」 098 - 861 - 0866(月～金 9:00～17:30)

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2007.2)

「よくあるご質問」などはホームページを
ご活用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/ecr/>

シャープ株式会社

本 社
情報通信事業本部

〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

お客様へ…お買い上げ年月日、お買い上げ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買い上げ年月日	年	月	日
お買い上げ店名			
	電話番号		